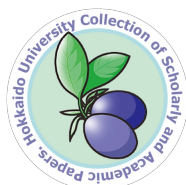




HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	札幌農学校所属博物館における鳥類標本管理史（4）： 標本ラベルの変遷からみた管理史
Author(s)	加藤, 克; 市川, 秀雄; 高谷, 文仁
Citation	北大植物園研究紀要, 14, 1-44
Issue Date	2014-12-22
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/57716
Type	departmental bulletin paper
File Information	BBG14_001.pdf



札幌農学校所属博物館における鳥類標本管理史（4） －標本ラベルの変遷からみた管理史－

加藤 克ⁱ・市川 秀雄ⁱ・高谷 文仁ⁱ

はじめに

過去3回にわたって、開拓使札幌博物場、札幌農学校所属博物館から現在の北海道大学植物園・博物館⁽¹⁾に至る期間の鳥類標本管理台帳、標本目録、資料（史料）類を整理しながら、現存標本との対応関係について検討を行ってきた（加藤他 2009, 2010, 2012 以下それぞれを旧稿 1、2、3 と略記）。この検討の中で、鳥類標本管理台帳・カードと評価できるものは現行の標本台帳を含めて以下に示す5種類が現存しており、また、各台帳の情報には様々な問題点が存在することが明らかとなった。

(1) 「採集日記」：札幌博物場が札幌農学校の所属となった1884年ごろに運用が開始された台帳。ただし(2)の台帳1の運用と並行して利用され、かつ台帳1が終了した後の1912年まで利用されていた。なお、現存する台帳は後世の写しである可能性がある（旧稿1・2）。

(2) 台帳1：1890年代半ばに「採集日記」による運用の混乱を修正するために、新しい標本番号に基づいて運用が開始された台帳と分類用のカード。台帳は整理終了時点で運用が停止し、その後は「採集日記」とカードによって運用が行われていたと考えられる。カードは1900年ごろから情報に混乱が見受けられ、1910年ごろに運用が停止した（旧稿1・2）。

(3) 台帳2：1920年代前半に所蔵標本管理を目的として、新たな標本番号を付与しながら作成された台帳と分類用のカード。ただし未登録標本が多く、標本情報にも混乱がみられる。また、継続して新規標本の受入れに運用された形跡はない（旧稿3）。

(4) 台帳3：1950年ごろに作成された台帳。台帳2に登録されていない標本を含め、全標本を管理するために作成されたと評価されるが、台帳1・台帳2を転記して作成されたため標本の重複登録が多数確認される。また、台帳2の標本情報の混乱も継承している（旧稿3）。

(5) 現行台帳：1961年に運用が開始された台帳。現行の標本番号に基づく基礎台帳であり、全標本が登録されているが、これまでの標本情報の混乱を継承している可能性が高い。

博物館における標本管理の実態、変遷を示す上では、標本台帳がもたらす情報の重要性は改めて述べる必要はないが、上に示したように北大植物園・博物館の標本台帳には少なからず問題が存在する。また、標本管理は標本台帳だけでなく、収蔵庫、標本ケースや標本ラベルなどの多様なツールを利用して成立するものであり、標本管理の全体像を明らかにするためには、台帳だけでなく、多面的な考察が必要であると考えられた。本稿は、この課題に対する取り組みの一つである。

1. 研究目的と手法、研究対象

1-1. 本稿の目的

これまでの検討の結果、過去の台帳情報を参照することで、現存標本に付属する採集情報の誤読、誤解や判断を保留していた情報について修正・追加することが可能であることが示された。また、各台帳の運用時期が推定されたことから、採集に関する詳細情報を明らかにすることができない標本についても「台帳に登録されている」という事実に基づいて、博物館の管理下に置かれた時期の下限を明らかにしえたことは一応の成果であると考えている。しかしながら、台帳2および台帳3は、未登録標本を登録し、混乱を修正するために作成された台帳と評価されたものの、当該期の全標本が登録されているわけではないこと、あるいは重複して記載されていることから、台帳運用時期の標本群全体を把握する材料としては利用しがたく、「台帳に登録されていない」ことがその時代の管理標本ではないということの証明にはつながらないという問題がある。また、複数の標本管理台帳が存在するということは、標本管理に混乱がたびたび生じていたことを示し、特に新たな台帳が作成された時期の直前は、管理が不徹底であったことが想定され、その影響を受けて作成された台帳の情報を無批判に用いることはできない。特に、混乱修正を

ⁱ 北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園

目的として作成された台帳2や台帳3に記載されている標本情報は同時代の情報ではなく、遡及して登録されたものである。旧稿でも触れたように、台帳の作成にあたって、過去の標本情報に対する適切な検証を行わなかったことで数多くの標本情報の誤りを生み出し、現在までその誤りは引き継がれている。旧稿1でも示した事例であるが、「廿六年九月購入」という共通のラベル記載のあるオグロシギ【05410】（本稿において【 】で括った数字は、現行台帳における標本番号である）およびソリハシギ【05489】が「明治26年」と「昭和26年」という異なる受入れ年次で管理されてきたことや、同じ様式のラベルに「1/9/25」という共通の採集日情報を持つキビタキ【01281】（写真1）とノゴマ【01963】（写真2）が、前者は「1892年9月1日＝明治25年9月1日」、後者は「1912年9月25日＝大正1年9月25日」という形で管理されてきたごとくである。「廿六年」の情報については、同時代情報を持つ台帳1に当該標本の記載が確認されることから「明治26年」であると確定することができたが、後者の問題についてはいずれが妥当な記載であるかについて、現存する標本台帳からは確たる根拠に基づいて断定することができない状況にある。

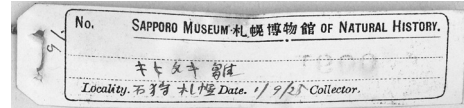


写真1 キビタキ【01281】付属ラベル（ラベル5）

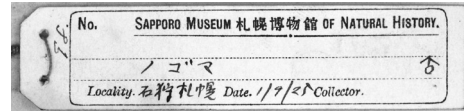


写真2 ノゴマ【01963】付属ラベル

130年以上の歴史を持つ鳥類標本コレクションを研究資源として信頼できる標本とするためには、これらの情報について再検証する必要があるが、ここまでみてきたように現存する標本台帳のみに基づく検証には限界がある。そこで、本稿ではこれまでの台帳を対象とした考察ではなく、標本に付属するラベルを材料に標本管理の歴史の解明を試みることにしたい。

1-2. 検討手法

本稿においては、標本に付属する標本ラベルについて、二つのアプローチにより検討を進めることとする。一つ目のアプローチは標本ラベルをその様式ごとに分類し、その利用年代、利用目的、管理方法を明らかにするものである。このアプローチは、過去に北大植物園・博物館所蔵民族資料の調査において用いた手法を基礎とするものである。民族資料の調査においては、特定のラベルの利用時期を明らかにすることで、当該資料が採集情報を持たないものであっても、そのラベルが付属することにより明治期に収集・管理された資料であると位置付けることが可能となった（加藤 2004,2008）。鳥類標本は生物学標本であることから、その多くに採集年次記載があり、ラベルの利用年代の絞り込みがより詳細になることが期待されるだけでなく、博物館所蔵標本の中心的役割を担ってきたことから、各年代に利用されていた複数の標本ラベルが付属していることが予想される。鳥類標本分野の管理史の解明は多様なラベルの利用実態を示し、その成果は他分野の標本・資料の管理史を明らかにする上での基礎情報ともなりうると期待できるのである。この検討の方法について、モデル図を利用して解説することとしたい。

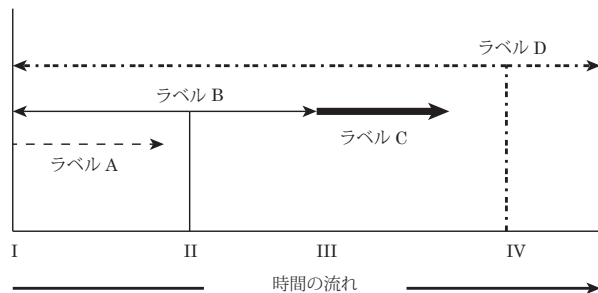


図1 標本ラベル付与のモデル図

このモデル図（図1）は、コレクターによるラベルではなく、博物館において標本を管理するためのラベルがどのように付与されてゆくかを示したものである。

本来、博物館における標本管理は設置段階（I）から継続されるべきものであるが、何らかの理由で、管理方法を改める必要が生じたとして（II）。この場合、新たに付与される標本番号は、それまでに付属していたラベル（ラベルA）に記載するという方法も考えられるが、数字のみを書き加えることは混乱を引き起こす可能性が高いため、ここでは新しいラベル（ラベルB）に新規管理番号を記入し、これまでの管理標本に付与するものと仮定する。IIの時点以降に受入れられた標本は、ラベルBを用いて管理されることになる。この管理体制が継続する中で、ラベルBが枯渇したり、ラベルの様式に修正が必要になった場合には、新たな様式のラベル（ラベルC）が利用されることになる（III）。この場合は、管理方法そのものには変更が生じないためラベルCはそれまでの管理標本に遡及して付与されることはない。その後、再び何らかの理由により管理方法の刷新が必要となった場合（IV）、新しいラベル（ラベルD）がすべての標本に付与されるとともに、それ以降の標本管理においても利用されることになる。

このラベルの変遷はあくまでもモデルであり、実際にはラベルの欠落や取り外し、過去のラベルへの新番号の記

載など例外も想定されるが、このようなモデルが成立した場合、ラベル A・B・D が付属する標本は I-II 期、ラベル B・D が付属する標本は II-III 期、ラベル C・D が付属する標本は III-IV 期、ラベル D が付属する標本は IV 期以降の受入れ標本であることが把握される。ラベルの利用年代が明らかになれば、採集年代の記載がない、あるいはラベル記載からは判断できない標本であってもおおその年代を明らかにすることができることが期待される。また、より重要なことであるが、I-II 期受入れ標本に付属するラベル B、I-IV 期受入れ標本に付属するラベル D は、遡及して付与されたラベルであり、そこに記載されている情報は「二次情報」として評価されなければならない。一方、ラベル A、II-III 期のラベル B、ラベル C、IV 以降のラベル D の記載は受入れと同時代に記載された「一次情報」であり、「二次情報」と比較してより信頼できる情報となる。旧稿で示したように、ある標本に付属するラベル間で採集地や採集日の記載に齟齬・矛盾が生じている場合、このモデル図のようにラベルの前後関係を明らかにしておくことで、「一次情報」として信頼できるラベルの情報を利用することができるようになるのである。本稿では、このラベルの変遷を明確にするために、検討対象標本に付属するラベルを調査し、その実態を示すこととする。

二つ目のアプローチは、ラベルに記載されている番号である。旧稿で示したように、標本に付属するラベルには過去の標本台帳の管理番号に対応する番号が記載されており、その照合によって当該標本の過去の管理情報を把握することができる。しかし、ラベルには現存する標本台帳に対応しない番号も多く確認され、それらには関連が認められるものもある。たとえば、上述した標本情報の混乱があると考えられるキビタキ【01281】とノゴマ【01963】に付属するラベルの欄外に「91」と「98」という記載がある（写真1・2）。これらの番号は、特定のコレクターの標本番号であることを示すものであるのか、あるいは現存しない標本台帳の管理番号であるのか、または標本管理の混乱期の仮番号であるのか、様々な可能性があるが、共通の様式をもつ標本群はある時期に、ある目的をもって管理されていた標本群であることは間違いないだろう。第一のアプローチによるラベルの利用年代の把握は10年、20年のスパンでの把握になるものと予想されるが、標本に付属するラベルを記載の特徴ごとに仕分けることで、長期間にわたるラベル利用期間の中でも、特定の時期に受入れられた標本であることを示すことができるのではないか。もしこの仮説が実証できるのであれば、標本採集情報の再検討などにも有益なものとなろう。以上を目的として、特定のラベルに共通の記載を持つ標本を抽出し、その特徴を明らかにする。

1-3. 検討対象

本稿で対象とする標本は旧稿で示したように、北大植物園・博物館所蔵鳥類標本約12,000点のうち、筆者の一人である市川が管理にあたることになった1980年以前に採集・受入れ・管理された標本である。ただし、T. W. ブラキストン採集標本（加藤2012a）、アメリカ自然史博物館との交換標本（加藤・市川2004）、折居彪二郎採集標本（加藤・市川2001）など、その採集年代、受入れ年代などが明らかになっているコレクションについては、考察の参考とすることはあるが、煩雑さを避けるため、検討対象からは除外する。この結果、検討対象となる標本点数は7,692点となる。

検討対象となる標本を、現行台帳の採集年次に基づいて年次ごとの点数をグラフ化したものを図2に示す。ただし、このデータには以下の留意点がある。第1点として、台帳の採集年次に誤りが含まれている可能性が高いことが挙げられる。このデータのうち、明治期の採集標本が昭和期の採集標本として扱われていたものやラベルの採集年月日「25-11-21」（台帳1では明治25年11月21日）を台帳2以降の台帳において「明治21年11月25日」と誤読しているような事例については、標本ラベルの記載管理番号とそれに対応する台帳1とを照合し、台帳1の情報に基づいて修正しているが、上述したキビタキ【01281】とノゴマ【01963】の事例のように、確たる根拠が存在しない採集情報については、現行台帳の記載に従っており、少なからず誤りが含まれている可能性がある。第2点として、このグラフにおいては標本に採集年次の記載がないもの、および写真3のように現行台帳において数字のみを列記して採集年次を確定していないもの2,182点を除外している。この2,182点のうち何らかの採集日情報記載を持つ標本は650点を超える。

本稿の課題は、ここで挙げた留意点に関与する標本、つまり現行台帳に誤った採集情報が記載されている標本の情報を修正するための根拠を見出すこと、および図2に含まれなかった採集年次未確定の標本

キレンギヤク				B.P. 3号	
標本番号	原簿番号	種	産地	採集年月日	所在
1	000588	キレンギヤク	札幌	27.5.6	F-7
2	000589	キレンギヤク	札幌	27.12.7	・
3	000590	キレンギヤク	札幌	16.2.15	・
4	000591	キレンギヤク	道内	42.2.21	・
5	000592	キレンギヤク	石狩 樺川	38.12.13	・
6	000593	キレンギヤク	札幌	1912.2.1	・
7	000594	キレンギヤク	札幌	27.6.23	・
8	000595	キレンギヤク	不明	不明	・
9	000596	キレンギヤク	不明	不明	・
10	000597	キレンギヤク	不明	不明	・
11	000598	キレンギヤク	札幌	27.5.6	・
12	000599	キレンギヤク	道内	42.2.21	・
13	000600	キレンギヤク	札幌	1912.2.1	・
14	000601	キレンギヤク	苫小牧	38.3.13	・
15	000602	キレンギヤク	札幌	1912.2.1	・
16	000603	キレンギヤク	札幌	45.5.13	・
17	003251	キレンギヤク	札幌	42.4.26	・
18	003252	キレンギヤク	函館	—	・

写真3 現行台帳における年次未確定の例

の採集年次を確定し、グラフに含めることができるようにすること、採集年次に関する記載がない標本であっても、おおよその管理年代を明らかにすることである。図2は本稿によって修正すべき現状であるということをあらかじめ確認しておく。

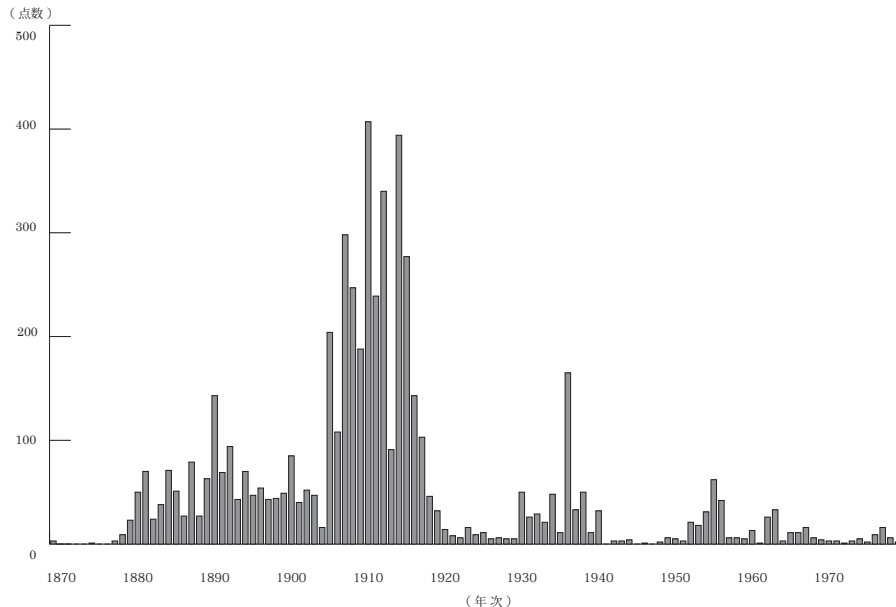


図2 採集年次ごとの所蔵鳥類標本点数

2. 北大植物園・博物館所蔵鳥類標本付属ラベル

2-1. 長期間の標本管理に利用されたラベル

北大植物園・博物館に所蔵されている全分野の標本・資料には、現在確認されているだけで180を超える種類のラベルが用いられている。それらの多くは、博物館の標本管理のために付与されたものではなく、採集者や旧蔵機関によって付与されたラベルである。本稿では、これらのラベルではなく、博物館によって付与されたと評価できるものを主たる検討対象とする。はじめに、多くの標本に用いられているラベル、換言すれば長期間にわたって標本管理に利用されてきたと考えられるラベルに着目してその特徴を把握することとしたい。

旧稿においてもいくつかの標本ラベルについて言及してきたが、本稿における検討にあたってラベルの種類、呼称について改めて整理・定義しておく。

[ラベル1] (写真4) 9×2センチの標本ラベルである。厳密には生物学標本の管理を目的としてラベル裏面に計測値を記入するための印刷があるものと、人文学資料の管理を目的とした裏面白紙のものがあるが、本稿では同一のものとして扱う。

ラベル1は、1961年の現行台帳の運用にあたって利用されるようになったラベルである。このため、鳥類標本の大部分にこのラベルが付属し、現行の標本番号が記載されている。

[ラベル2] (写真5) 10×2センチの標本ラベルである。ラベル1の在庫が枯渇したこと、ラベル1に博物館の名称が印字されておらず標本の帰属が明確にならないことから、2005年に運用を開始した現用のラベルである。

検討方法において利用したモデル図に基づけば、ラベル1＝ラベルB、ラベル2＝ラベルC、(I)＝1877年（博物館設置年）、(II)＝1961年、(III)＝2005年という位置付けになり、1961年以前から管理されてきた標本に付属するラベル1の記載は「二次情報」となる。しかしながら、ラベル1は現行台帳の運用を目的として付与されたため、1961

No.	000202	
Name		
Loc.		
Date	Coll.	
T.L.	B.W.	
T.	Sex	
W.		
H.F.		
E. (B.)		

写真4 ラベル1

No.		
Name		
Loc.		
Date	Coll.	
Hokkaido University Museum		

写真5 ラベル2

年以前採集という情報を持つ標本に付属するラベル1の大部分には、標本番号の記載があるのみである。この二つのラベルについては、利用年次が明らかとなっているため、今後の検討からは除外する。

[ラベル3] (写真6) 6×2.5センチの標本ラベルである。表面上部に「第 号 札幌農学校所属博物館」の印が捺されている。このラベルは赤色の紐を用いて標本に結びつけられており、仮にラベルが欠落しているとしても紐が残存している場合は当該ラベルが付属していたことが判明する。しかしながら、赤色の紐は色落ちが著しく標本を痛めることから、2012年以降順次紐を取り換えている(2008年時点での付属状況の写真は保存済み)。採集年次未詳、未確定を含め、931点の標本にラベル3は付属している。

旧稿で明らかにしたように、ラベル3は台帳1を用いた標本管理に利用されていたものである。

[ラベル4] (写真7) 6.5×3センチの標本ラベルである。表面に薄い青色で枠線と「第 号 札幌農学校所属博物館」の記載が印刷されている。このラベルの多くは青と白の撚紐で標本に結び付けられていることが多いが、厳密なものではない。採集年次未詳、未確定を含め、982点の標本に付属している。

ラベル3と同様にラベル4にも台帳1の管理番号が記載されている例が多く、ラベル3を引き継いだものとみられるが、番号記載のないものも多く確認されている。

[ラベル5] (写真1) 8.5×2センチの標本ラベルである。表面に黒インクで「No.、札幌博物館 SAPPORO MUSEUM OF NATURAL HISTORY、Locality、Date、Collector」の印刷が施されている。採集年次未詳、未確定を含め、3,279点の標本に付属している。

ラベル5の裏面の多くには、台帳2に対応する管理番号の朱書きおよび押印がみられる。また、台帳3の新規管理番号を付与するための「仮No.」の記載がある場合もある(旧稿3)。1点の標本に複数のラベル5が付属している例もあり、長い期間にわたって利用されてきた可能性がある。また、標本情報の問題点として例示したキビタキ【01281】とノゴマ【01963】の記載がラベル5にあること、旧稿3で示したように1930年代初頭の標本目録編集時に付与された誤りもラベル5に記載されており、採集情報の確定を困難にしているラベルということもできる。

[ラベル6] (写真8) 10×3センチの標本ラベルである。表面に「No.、Sex、Name、Loc.、Alt.、Date、Cool. (ママ)」の印刷があり、裏面に計測値の記載欄と「Natural History Museum of the Hokkaido University」の印刷がある。このラベルは緑色の紐で標本に結び付けられている場合が多い。なお、筆者らは2000年以降にラベル1が枯渇したために代用品としてこのラベルを用いて現行の標本番号を付与したことがある。このラベルに標本の採集地・採集日などの情報と現行の標本番号とが同筆で記載されている場合は、この時期の整理標本である場合がある。この場合、ラベル6付属が過去の管理標本であることを示すものではないため、個別に検討する必要があることをあらかじめ断わっておく。

以上の整理に基づいて、各ラベルがどの年代の標本に付属しているのかを確認することとする。

図3に標本の採集年次ごとに付属するラベルの状況を示した。このグラフを作成するにあたっては、以下の処理を行った。(1) 年次ごとの採集標本数にばらつきが存在するため、単純な付属点数ではなく、当該年次の採集標本総数に対して各ラベルが付属する標本点数の割合で示した。(2) 採集標本がない年次についてはすべてのラベルが存在しないため、グラフからあらかじめ当該年次を除外した。留意点としては、(a) 当該年次の採集点数が少ない場合、グラフの値が極端に振れること、(b) 1点の標本に複数のラベルが付属する場合が多いため、各ラベルのデー

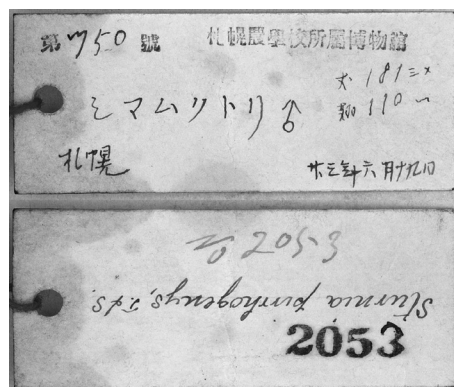


写真6 ラベル3

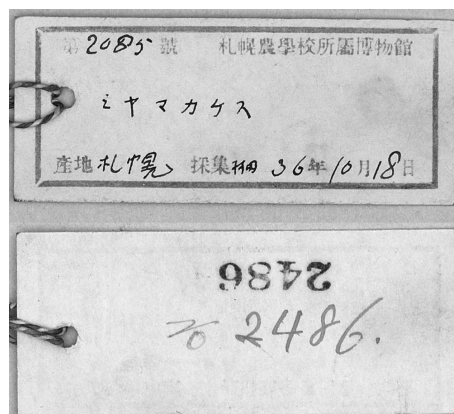


写真7 ラベル4

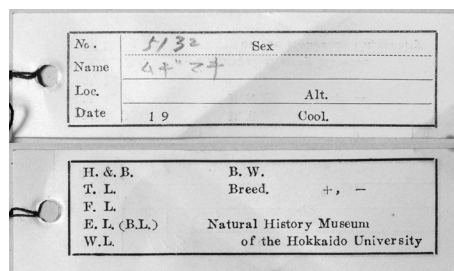


写真8 ラベル6

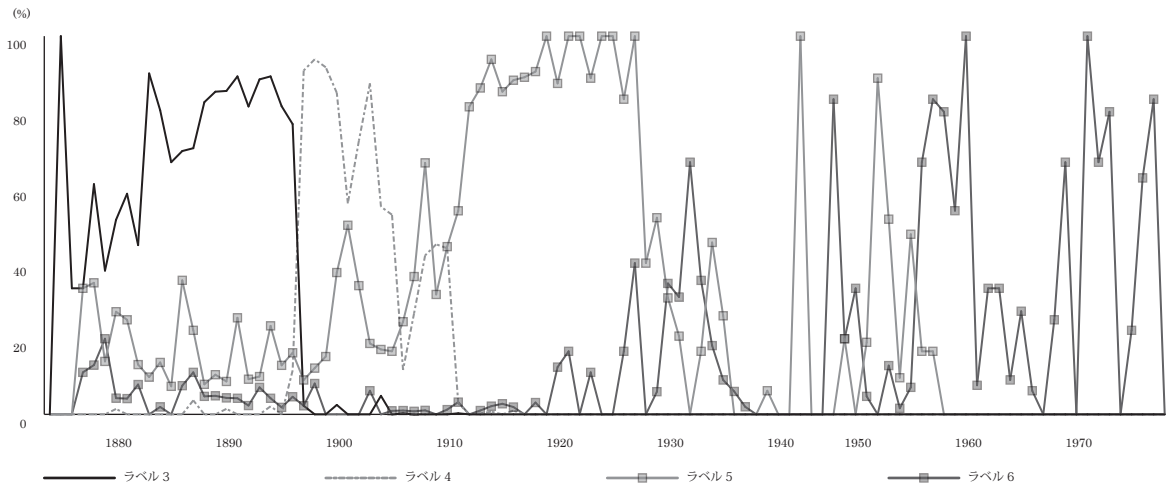


図3 採集年次ごとにみた長期間利用ラベルの付属状況

タを積算した場合には100%を超えること、(c) ラベル1のみで明治期の標本情報が管理されている場合など、検討対象としたラベル以外で管理されている標本もあること、が挙げられる。以上をふまえてこのグラフから読み取るべき事項を確認してゆく。

グラフを概観して明らかなことは、各ラベルが重複することなく特定の時期の標本に集中して付属しているということである。モデルによる仮定では、古い時代の標本であるほど多様なラベルが付属していると考えられたが、必ずしもそのような傾向はみられない。これは、モデル図におけるラベルB→ラベルCへの転換のように、ラベルのみが変更されたと評価するべきなのだろうか。ここで、旧稿において確認した過去の標本台帳と標本との照合方法を振り返ってみることにしよう。

台帳1は、1890年ごろに運用が開始された標本台帳で、「採集日記」とともに1912年ごろまで継続して利用されていたものである。この台帳と標本とはラベル3とラベル4および若干のラベル5の番号欄に記載されている標本番号によって照合が可能である。ラベル3のピークが1890年前後から1890年代半ばにあることは、台帳1とラベル3による標本管理が構築され、継続していたことをうまく示している。ついで、1890年代後半からラベル4が付属する標本がラベル3付属標本と入れ替わるように急増し、10年ほど継続する。この台帳運用の継続とラベルの切り替わりはモデル図におけるラベルB→ラベルCへの転換と共通であると評価できる。一方、台帳1の運用開始時期と評価できる1890年以前の標本にもラベル3が付属していることは、これらのラベルが遡及して付与されたことを示している。ただし、必ずしもすべての標本に付属しているわけではない。これは、旧稿1で示したように古い時代のラベルに台帳1の標本番号を記載するなどの方法によって再登録したことによるものである。

ラベル4からラベル5への転換も、ラベル4の利用減少に伴う形でラベル5が利用されるようになってきている。しかし、ラベル3から4への転換のように急に切り替わるのではなく、1900年代末に再度ラベル4が利用されており、その境界は不明瞭である。この点について確認してみたい。

ラベル5が間違いなく利用されていた時代を示す材料としては、1908年から2回にわたって行われたアメリカ自然史博物館との標本交換（加藤・市川2004）で送られた博物館旧蔵標本を利用することができる。日本からアメリカに送られた標本のうち、1908年に送られた標本にはラベル5が付属しており、その運用が1908年には開始されていたことが確認できる（旧稿2）。ラベルが変更されることになった契機としては、従来のラベル3・4の標本情報および機関名称「札幌農学校所属博物館」が日本語で記載されていたため、アメリカに送付する上で適切でないと判断されたということも想定しうるが、もっとも大きなものは1907年に札幌農学校が東北帝国大学農科大学へと昇格したことであろう。組織名称の変更により、札幌農学校の印字を持つラベル4の利用を停止することになったと考えることが妥当である。

台帳1の管理番号に対応する番号が記載されているラベルも、1906年ごろを境にラベル4からラベル5へと移行しており、組織名称の変更に伴うラベルの更新が読み取れる。しかしながら、図3に示されるようにラベル4の利用自体が完全に停止されているわけではない。これは、1906～10年採集、受入れの台湾産標本の台帳1登録にラベル4が利用されていること、台帳1に登録されていない1910および1912年度の村田莊次郎による樺太動物調査（村田1912）の採集標本にラベル4が付属していること（加藤2012b）が影響している。標本管理ツールがラベル5へ

と移行したにもかかわらず、なぜ古いラベルが用いられていたのかについて考察しなければならない。また、後述するように、1900年代末のラベル4の再利用だけでなく、ラベル5が採集標本の90～100%に付属するようになる1920年ごろまでの間は、ラベル5ではなく別の標本ラベルが利用されていたことが確認される。この点からも、ラベル5の運用開始時期、運用方法については、慎重に検討する必要がある。また、ラベル5の運用時期については留意すべき点がほかにもある。

ラベル5は、ラベル4と完全に入れ替わるように運用が開始されたのではなく、1800年代採集標本にも付属している。これは、ラベル5がラベル3と同様に、新しい標本管理体制を構築するために、古い時代から管理されていた標本に遡及して付与されたことによるものと考えられる。旧稿3で示したように、台帳2は、1920年代前半に作成された標本管理台帳である。この台帳では、ラベル3・4や、それ以前の標本ラベルの裏面に朱書きとスタンプによって標本番号を追記して管理していた（写真6・7）が、スタンプの標本番号の半数以上はラベル5の裏面に確認される。この中には、台帳2の標本管理番号を記載することを目的として新たに標本に付与されたラベルとみなしうるものも含まれており、これらのラベルの利用時期は採集年次とは合致しないことになる。つまり、1920年以前の標本に付属するラベル5には、ラベルが利用されるようになった1907年以降の受入れと同時に付与されたものと、台帳2の作成時期に遡及して付与されたものが混在している可能性があるのである。さらに、状況を複雑にする要因が存在する。台帳3は、1950年代半ばごろに作成された台帳である。この台帳では、台帳1・台帳2に掲載されていないと判断された標本に対して、ラベル5を付与して「仮番号」を記載して標本を追加登録する方法をとっていた。つまり、台帳2の運用が終了した後、台帳1・2未登録標本および1930～40年代の受入れ・未登録標本にもラベル5が付与された可能性があるのである。このように、ラベル5には実際の受入れ・管理に用いられたラベルと、台帳2のために遡及して利用されたラベルと、台帳3のために遡及して利用された3種類が存在する可能性があるのである。

ラベル5の利用時期の中心は、図3からみてとれるように1910～20年代であることは間違いないだろう。しかし、以上の問題点から、採集年次未確定や不明の標本の受入れ・採集年代を推定する際に、ラベル5が付属することのみに基づいて、1910～20年代の標本であると評価することは避けるべきである。

ラベル6は1930～40年代にかけて、ラベル5の利用数が減少するにつれて利用が開始されているようにみえるが、ラベルに印字されている「Natural History Museum of the Hokkaido University」の記載から、戦前の北海道帝国大学時代ではなく戦後に用いられるようになったラベルであるとみなされる。ラベル6が付属する1930年代および40年代の採集標本は、近年にいたるまで未登録のまま保存されていた標本群であり、本章冒頭でのラベルの定義でふれたように、ラベル1の枯渇によりこのラベル6を用いて2000年ごろに登録作業を行ったためにこのような分布を示すことになったものである。旧稿3で示したように、実際にラベル6が利用されるようになったのは、台帳3の運用が始まった1950年代半ば以降である。上述したように台帳3に当時の未登録標本を記載するにあたっては、ラベル5の裏面に「仮番号」が与えられたが、その管理番号の末尾になるとラベル6に台帳3の管理番号が記載されるようになっている。これがラベル6の利用開始時期である。なお、ラベル6が19世紀の標本にも付属していることは、ラベル5による台帳3の遡及登録が完全なものではなく、ラベル6への移行後も継続して遡及登録作業を行ったため、古い標本にもラベル6が付属しているのだろう。以上のことから、ラベル6はモデル図におけるラベルB→Cへの転換という形をとりつつ、ラベル5が残した未登録標本の遡及登録の役割を果たすラベルであるとみなされる。

ここまで、北大植物園・博物館における鳥類標本管理の変遷を、長期間利用されてきた標本ラベルの付属状況を参考に概観してきた。これにより、特定のラベルが用いられてきた時期をある程度絞り込むことができた。しかしながら、これらのラベルの変遷だけで各標本の管理年代を確定することは以下に述べる点から危険である。

管理ラベルの変更は、台帳1とラベル3の場合を除き、モデル図に示したII・IV時点のような標本管理体制の刷新とは関連していない可能性が示された。特に、ラベル5は、台帳2および台帳3における標本管理で用いられていること、ラベル5の運用開始年代が明確になっていないことも検討を困難にしている。繰り返しになるが、ラベル5が果たしている可能性のある役割を以下に列記して整理する。

○運用が開始された可能性のある1907年ごろから台帳2の運用が開始された1920年ごろまで標本受入れ時に付与された「一次情報」

○台帳2の運用によって付与された1920年ごろ以前の標本に付属する「二次情報」

○台帳2運用後に受入れられた標本に付属する「一次情報」

○台帳3の運用によって付与された1950年代半ば以前の標本に付属する「二次情報」

○台帳3運用後に受入れられた標本に付属する「一次情報」

○1930年代に山階芳麿を中心に作成された目録編集時に付与された整理ラベルの「二次情報」（旧稿3）

現行台帳に散見される問題は、その大部分がラベル5に記載されている情報をどのように理解するかに起因している。上記したラベル5の情報の多様性をどのように整理するかが次の課題といえよう。この問題を整理するにあたっては、長期間にわたって利用されてきた標本ラベルだけに基づく検討では不十分で、ラベル5に記載されている「二次情報」の根拠となる「一次情報」を標本がどのように保持しているのか、逆にラベル5の記載情報が「一次情報」であると評価するために、ラベル5によって受入れ・管理が行われていた時期はいつなのか、そしてその管理方法の特徴を明確にする必要がある。そこで、次に検討対象の標本群に相当数付属し、かつ一時期に集中してみられる標本ラベルに着目することにしたい。

短期間に集中して利用されるラベルは、コレクターのコレクション管理ツールとしての役割、管理ラベルの枯渇や更新にあたっての一時的代用品としての役割、台帳管理が停滞していた時期の管理ラベルとしての役割などの可能性が考えられるが、以下に検討するラベルはコレクターのラベルではなく、現存する台帳と対応する管理番号を持たないものが大部分であることから、一時的代用品としての役割を果たすラベルでもない。つまり、台帳管理停滞期の管理ツールである可能性がある。この推測が妥当であれば、ラベルに記載されている情報は台帳停滞期の標本管理の状況を示す「一次情報」であり、最も信頼されるべき情報となる。また、利用されていた時期が短期間であればある程、採集年次未確定・不明標本の受入れ年代を絞り込む材料として有益なものとなるだろう。

2-2. 短期間に集中して利用されたラベル

はじめに、検討対象とする4種類のラベルについて整理・定義しておく。

〔ラベル7〕（写真9）2.5×2センチのラベルである。表面に「年 月 日 産」という印字があり、採集日、採集地が記載できるようになっている。考古資料や民族資料に貼り付けられている類似のラベルがあり、この場合はラベル上部に管理番号を記入するスペースが確保されているが、ラベル7の場合は紐で縛りつける様式になっているので、管理番号は裏面の白紙部分に記入されている。



写真9 ラベル7

このラベルは旧稿1や民族資料の検討（加藤2004, 2008）で明らかにしたように、1882年ごろに運用が開始された標本管理用ラベルであり、ラベル3以前に用いられていたものである。台帳1以前の管理番号が記載されているもの、台帳1や台帳2の番号が追記されている場合がある（旧稿1）。検討対象標本のうち341点に付属し、採集年次不明、未確定の標本は85点である。

〔ラベル8〕（写真10）5.5×2センチのラベルである。表面上部に「明治 年 月 日」、下部に「産地」が押印されている。ラベル3や4のように管理番号を記入する欄は設けられておらず、現存する台帳に対応する管理番号は記載されていない。マミチャジナイ【02220】に付属するラベル8の裏面には、「歩兵中■」の印刷の一部分と鉛筆による記述の残画が確認されることから、何らかの用紙の再利用である可能性が高い。

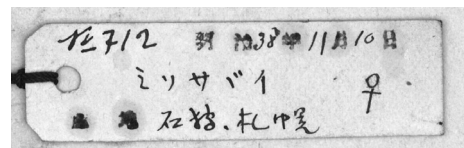


写真10 ラベル8

ラベル8は111点に付属し、このうち採集年次不明、未確定は7点である。

〔ラベル9〕（写真11）1.5×2センチのラベルである。ダルマのような形をしている。基本的に無地だが、ゴジュウカラ【00875】やルリビタキ【02051】などに付属するラベル9には「博物」や「産地」の印字があり、何らかのラベルの再利用である可能性が高い。厳密な照合は難しいが、ラベル4と同じ様式で赤枠、黒文字印刷のラベルが元ラベルの候補として挙げられる。ラベル9は611点に付属し、このうち41点が採集年次不明、あるいは未確定である。



写真11 ラベル9

〔ラベル10〕（写真12）9.5×2.5センチのラベルである。ラベル表面には「名称、産地、採集期、採集者」欄、裏面には「北海道帝國大學農學部動物學教室」が印刷されている。裏面の印字にあるように、こ

のラベルは博物館の標本管理ラベルではなくコレクターグループの標本ラベルであるが、標本は存在するもののラベルの付属状況を示すグラフに表れない1930年代から40年代の標本を示すために取りあげることにした。292点に付属し、うち26点が採集年次不明、あるいは未確定である。

図4にこれらのラベルが付属する標本の採集年次の状況を示した。ここから読み取ることができる点について検討してゆく。

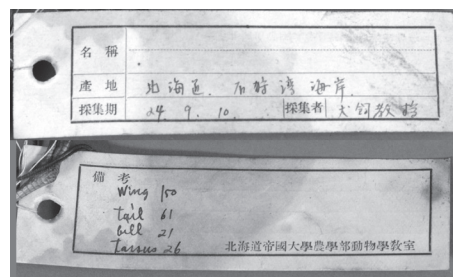


写真12 ラベル10

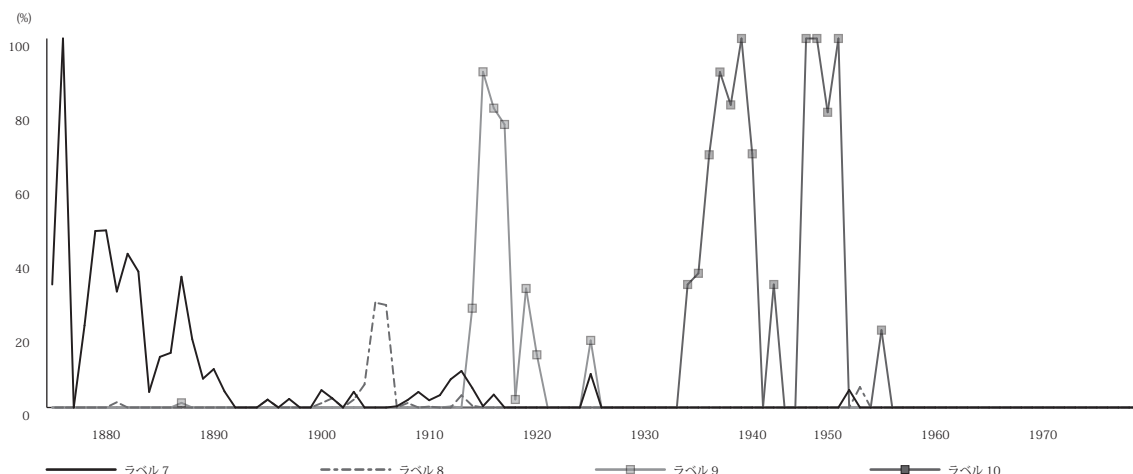


図4 採集年次ごとにみた短期利用ラベルの付属状況

ラベル7は従来の考察結果通り、博物館の設置以降からの標本に付属し、台帳1の運用が開始された1890年前後には減少する。ただし、このグラフに示しているほかのラベルと異なり、のちの時代に採集・受入れられた標本にも若干ではあるが確認される。これが何らかの理由により、ラベルが継続して利用されていたのか、あるいは採集年次情報に誤りがあるのかについては検討を要する点である。この点については後述する。また、ラベル7は、台帳1以前の標本管理である「採集日記」の第1期(旧稿1)の標本管理に用いられていたラベルであり、本来であれば1890年以前の全標本に付属しているべきものであるが、多い年であっても50%を超えることはほとんどない。これは、台帳1とラベル3による標本管理体制への移行に際して、多くのラベル7が取り外されたことを示唆する。

ラベル8が付属する標本の大部分の採集年次は、1905年前後に集中している。これは、ラベル4が付属する標本が一時的に減少する時期に対応している。ラベル8の様式は博物館名称などが印刷されていない簡略化、あるいは手製のラベルであることから、この時期にラベル4が枯渇したために仮に用いられていた可能性が考えられるが、台帳1に対応する番号を持たないため、代替品としての役割を果たしていない。このラベルの位置付けについては、後段で検討する。

ラベル9は1910年代半ばに集中して付属していることが確認される。この時期は前節で確認したように管理ツールがラベル5へと移行し、その利用が増加する時期でもあり、なぜこのような形でラベル9が利用されているのか検証する必要があるだろう。この点についても後段で検討することにした。

ラベル10は1930年代半ばから60年代にかけて利用されていることがみとれる。また、ラベル5やラベル6と入れ違うように利用されているのも特徴といえるだろう。ラベル10は印字からも把握できるように、博物館における標本管理用ラベルではなく、北海道帝国大学農学部動物学教室で利用されていたラベルである。旧稿1で整理したように、1930年代以降の博物館で標本管理にあたっていたのは、考古・民族学に主たる関心を寄せていた名取武光である。博物館には動物学者の犬飼哲夫が館長として兼任していたが、ラベルの利用実態から評価する限り、動物学の調査、特に標本収集に関しては、犬飼の軸足は動物学教室にあったものとみてよいだろう。これらの収集標本が古い時代に博物館に移管されていたならば、ラベル5やラベル6がともに付属していた可能性が高いが、これらの標本は現行台帳の運用開始後に移管され、ラベル1によって登録・管理されているために、図3にその存在が示されていない。

2-3. 短期間利用ラベルの採集年次の再検討

図3に示した継続利用の管理ラベルと、図4に示した特定の時期に集中して利用されていたことが確認されるラベルの間には、何らかの関係性がありそうである。特に、ラベル5の運用開始時期やその安定した運用が明瞭に見出せない時期に現れるラベル8や9の存在は、当該時期の標本管理のあり方を見出す材料となりうるのではないだろうか。そこで、ラベル5とその他のラベルの関係について検討することとしたいが、それに先だってこれらのラベルの情報の信頼性について確認しておくこととしたい。

これまで幾度となく触れてきたが、現行台帳の標本情報、つまり本稿の基盤となっている標本の採集情報には誤りが含まれている可能性が高い。これらの誤りに従ったまま検討することは、その検証の妥当性にも疑念が生じることになる。ここまでの検討では、対象となる標本点数の多さや情報の精度を検証する上での材料が不足していたこともあり、現状把握の意味を込めて誤りを含んだ形で検証を進めてきた。しかし、ラベルの付属状況別に標本群を分類し、その採集年代情報を読み解くことにより、採集情報の再検討が必要な標本が前面に現れてきた。博物館において長期間にわたって標本管理に利用されてきたラベル、特にラベル3や5、6のように新しい標本管理体制を構築するために用いられていたラベルは、運用が開始された時期よりも古い時代に受入れられていた標本に遡及して付与されることがあり、様々な採集年代の標本に付属する。しかし、特定の時期に集中して用いられていたラベルは、その運用目的にもよるが、ラベルの運用時期を遡る標本に付与されることはないし、運用されなくなった後の時代の標本にも付与されることはないものと考えられる。また、継続して標本管理に用いられてきたラベルにおいても、何らかの理由がない限り、運用が終了した後に受入れられた標本に付与されることはないはずである（モデル図Ⅱ期以降にラベルAが、Ⅳ期以降にラベルA・B・Cが用いられることは考えにくい）。特定のラベルは、特定の年代の標本に付属するという前提から図4を確認した場合、1890年前後にはその利用が終了したはずのラベル7が1890年代後半、1910～20年代、1925年ごろ、1950年過ぎの採集標本にも確認されることなどの問題点が散見される。これらは、全体を検討するためのデータとしてみればノイズとして除去できる程度の問題ではあるが、個々の標本情報の再検討を最終的な目的と位置付ける本研究にとっては、標本情報に誤りがあることを示すこれらの“ノイズ”の検出こそが重要である。この“ノイズ”が標本情報に誤りがあることによって生じているものなのか、逆にこれまでのラベルの利用年代の推定に誤りがあるのかを確認しておくことは、ラベルを用いた標本管理史の解明の上では重要である。以下、ラベル7、8、9付属標本について、異質な採集年次を持つ標本の情報を再検討する。

2-3-1. ラベル7付属標本の採集情報再検討

北大植物園・博物館は1877年の博物館設置ののち、1882年に開拓使の廃止に伴い農商務省博物局の管理下に入った。この時期に田中芳男ら博物局の指導を受け、標本管理体制を整えたとされる（関1975）。ラベル7はこの標本管理体制のために利用されるようになったラベルと考えられる（加藤2004,2008）。これらの背景から、ラベル7の利用年代は1882年からラベル3の運用が開始された1890年代前半から半ばごろまでに絞り込むことができる。ただし、農商務省の指導を受ける以前の標本管理は厳密ではなかったといわれることから、ラベル7による標本管理は1877年の博物館設置以降の体制とみなし、ここでは1877年から1894年（「採集日記」に台帳1の標本番号が記載されるようになった1894年11月を境とする）をラベル7付属標本が含まれる時期とみなす。

表1はラベル7付属標本のうち、上記した期間以外の採集情報を持つ標本を抽出したものである。推定されるラベルの利用時期から外れるこれらの標本情報について検討してみたい。

1-a) クマゲラ【39973】 1869年1月11日採集

この標本については、1-iのグループとあわせて検討を行う。

1-b) イソヒヨドリ【02212】 1874年6月採集

本稿で検討対象となる標本のうち、1877年の博物館設置以前の1874年に採集された標本はイソヒヨドリ【02212】のみである。この標本にはラベル3、ラベル4が付属しており、図3および図4において両ラベルの1874年の付属割合が100%の値を示す異質な存在である。

標本にはラベル1（標本番号のみ）、「916 7-6、函館<7-6 および函館は異筆>」の記載のあるラベル3、表面に「渡島国産<年月日記載なし>」、裏面に「(127) <数字は朱書>」、異筆で「除ク」と記載のあるラベル7が付属している。ラベル3に対応する台帳1は台帳と標本カードによって成立しているが、台帳には「イソヒヨドリ 損ジ、渡島国

函館、＜年次記載なし＞」、カードには「七年六月、渡島函館」の記載がある。これらの点から、この標本は古くから1874（明治7）年採集標本と評価されてきたものと評価される。このような博物館設置以前の標本が存在する理由は以下の経緯によるものと考えられる。

旧稿で示したように、明治期の博物館の所蔵標本は、開拓使の札幌博物館が収集した標本と札幌農学校の標本室に所蔵されていた標本が統合されて成立していた。農学校の標本には、開拓使東京出張所が1875年から1881年まで設置していた東京仮博物館旧蔵標本が移管されたものが含まれており、現存標本のラベル7に「廿年 本校ヨリ」という記載がある標本の多くは東京仮博物館由来のものと考えられる。ここで台帳1を確認すると、イソヒヨドリ【02212】の管理番号「916」の直前、「906」から「911」の標本には「本校ヨリ」の記載がある。また、「912」のマヒワには「本校ヨリ」の記載こそないが、採集年次は「九年」となっている。台帳1には「本校ヨリ」の記載のある標本に対して、標本ラベルに採集年次の記載のない場合であっても採集年次、特に「九年（＝1876年）」など1877年以前の年次が記載されている例があり、この記載の根拠は農学校から移管された時点で東京仮博物館時代の採集情報が付属していた、あるいは台帳1の作成者と推測される村田莊次郎が東京仮博物館の管理者でもあったこと、場合によっては当該標本の製作者であることによって得られたものと推測される。イソヒヨドリ【02212】もこれらの標本と同じように、1874年に開拓使関係者によって採集され、東京仮博物館に送られた後、札幌農学校を経由して博物館に移管された標本である可能性が高い。つまり、他の東京仮博物館、札幌農学校由来標本と同様にこの標本も1887（明治20）年に博物館に移管された際にラベル7が付与され、その後ラベル3が付与されたものであって、1874年にラベル7が付与されたわけではないと考えられる。台帳1にしか記載が存在しない「九年」といった採集情報は現行台帳には引き継がれていないため、図3・4に反映されていないが、この標本にはラベル3に採集年次が追記されたために採集年次が後世の台帳に記載されて特異な分布を示したものであり、ラベルの利用年代の理解の上では他の「廿年」受入れ標本と同じく1887年の標本とみなしうる。

1-c) ヒヨドリ【03288】 1895年11月採集

標本にはラベル1、ラベル3、ラベル7が付属している。また、ブラキストン標本を整理するために1908年以降に博物館によって付与されたラベルが付属している。このラベルの記載はラベル3の記載に基づいており、ラベルそのものは混入したものではなく、この標本をブラキストン標本と誤認して付与したものである（加藤2012a）。

ラベル3には、「1405 號 ヒヨドリ」および「28-11」（明治28＝1895年11月）の採集情報、「丈280、翅125」の計測値が記載されている。一方、ラベル7には「廿四（明治24＝1891）年二月十四日」という記載があるものの抹消されている。ラベル裏面には「940」の番号と「2.80、1.25」の計測値が記載されている。計測値の合致から、2枚のラベルの関連性が推測されるものの、採集年次に食い違いがみられる。以下、当該標本について、旧稿までに整理した旧台帳群の情報を確認してゆくこととする。

台帳2および3には、ブラキストン標本は掲載されておらず、ブラキストン標本と「誤認」されてきたヒヨドリ【03288】の記載はない。一方、台帳1には「1405 ヒヨドリ 28-11」の記載があり、ラベル3と合致する。ラベル7裏面の数字である「940」は、「採集日記」に掲載されている台帳1以前の管理番号とみられるが、当該標本採集日の可能性のある「廿四年」＝1891年ごろは「採集日記」による標本管理が停滞した時期であり、「940」の番号を持つヒヨドリは見出せない。また、ラベル7の採集日である「1891年2月14日」採集という情報を持つヒヨドリの記載もない。一方、旧稿で示したように「採集日記」には台帳1の記載も含まれており、「1405」の番号をもつヒヨドリが確認される。ただし、「採集日記」には採集日の記載がなく、ここからはこの標本が1891年採集標本なのか、1895年採集標本であるのかは明らかにならない。

計測値の合致を高く評価してこれらの情報を整合的に考えるとすれば、(1) 1891年に採集されたヒヨドリに対し「940」の旧管理番号を与えて管理することとしたが、標本管理には混乱が生じており「採集日記」の基となった台帳への記載はされなかった。(2) 台帳1による標本管理体制が整備された段階で、当該標本も登録されることになり「1405」の管理番号が与えられたが、標本ラベル及び台帳1には「登録日」である「28-11」の日付が誤って記載された。(3) 標本管理の歴史の中で、採集日情報の混乱が確認され、台帳1と合致する「28-11」の情報を残し、「廿四年二月十四日」が抹消された、という流れを想像することはできる。しかし、この想像が妥当なものであると評価するには根拠が乏しいだろう⁽²⁾。これまでの標本管理を尊重し、ヒヨドリ【03288】は1895年11月採集として管理するべきであると評価したい。ただし、台帳上の「標本の採集年代」ではなく、ラベル7の利用年代としては「廿四年二月十四日」の記載があることから、グラフの範囲内に含まれるものと評価するべきである。

1-d) イスカ【39876】 1897年1月2日採集

標本には、ラベル1とラベル7が付属している。ラベル1には「明治30（1897）.1.2」の採集日記載がある。一方、ラベル7には「大正三年十月十日 イスカ」の記載があり、現行台帳はラベル1の記載を根拠として管理していることになる。1961年以降に利用されることになったラベル1の記載の根拠は不明であり、なぜこのような混乱が生じているのか、にわかには判断しがたい。しかし、当該標本を観察すれば、ラベル7は標本の脚にくぐらせているだけであり、もともと標本に付属していたかどうかは疑わしいことがわかる。そこで関連標本を検索すると、イスカ【39877】を見出すことができる。この標本にはラベル1のみが付属し「大正2.10.10」の採集日記載がある。年次こそ異なっているが、漢数字で記載された「三」は「二」や「元」と誤読される例が散見されることから、合致するものとみなしてよいのではないかと推測される。この推測が妥当であれば、【39876】に付属するラベル7は本来【39877】に付属していたものであり、ラベル1の記載はラベル7の記載に基づいていることになる。一方、【39876】の採集情報「1897年1月20日」採集は、台帳1において「1500」の管理番号をもつイスカが該当する。現存標本には「1500」の番号を持つものが確認されないため、1961年以降のある時点までに【39876】には「1500」の番号と採集日記載があるラベル3あるいはラベル4が付属していたのではないかと考えられる。

以上のようなラベルの混入や取り違えについては、さらに検討が必要であろうが、当該ラベル7の記載採集年次は「大正三（1914）年十月十日」であり、ラベル7の利用年代として推定される範囲から外れることは間違いない。この記載に対する判断については、他の1914年前後の採集年次記載を持つ標本群（1-i）と合わせてさらに検討することとする。

1-e) 1900年11月採集標本 オオセグロカモメ【09113】、ミコアイサ【06680】、【06682】、スズガモ【06751】

採集日、採集地がほぼ共通するこれら4点の標本には、ラベル4とラベル7が付属している。オオセグロカモメ【09113】に付属するラベル4は「1766号、オオセグロカモメ（ワシカモメ抹消）、石狩、33（明治33＝1900）年11月3日」という記載があるのに対しラベル7には「卅三年十一月十一日、小樽内川」とあり、相違がみられる⁽³⁾が、他の3点についてはラベル間に相違点はない。この4点に付属するラベル7の特徴としては、裏面に写真13にみるような番号記載があることである。【09113】には「116」、【06751】には「117」、【06682】には「118」、【06680】には「119」と連続している。この点から、フィールドでの採集、標本化にあたってラベル7を用いて採集情報の記録と仮番号を与え、博物館における標本登録にあたってはラベル4を利用していた、あるいは博物館標本としての登録仮番号としてラベル7を付与していた可能性が高い。つまり、1900年の採集標本に付属するラベル7は、博物館に保存されていたラベルを再利用した仮ラベルであり、標本管理ラベルではないことから、この付属をもって採集年代に誤りがあるとみなすべきではない。



写真13 ラベル7裏の「116」

1-f) ハシボソガラス【09089】 1901年3月30日採集

標本にはラベル1（標本番号のみ）とラベル7が付属している。ラベル7には「卅四年三月三十日」の記載があり、裏面に「1941」の番号記載がある。この「1941」は台帳1の番号であり、採集情報も合致することから、本来はラベル4によって管理されるべき標本である。この前後の番号を持つ標本にはラベル4が付属しており、この標本のみラベル7が用いられている理由は明確にならないが、1900年採集標本と同様に仮ラベルとして付与されたラベル7がそのまま転用されたものと評価しておく。

1-g) ハリオアマツバメ【02073】 1903年9月6日採集

標本にはラベル1（標本番号のみ）、ラベル5、ラベル7が付属している。ラベル7には「卅六年九月六日」の記載とともに台帳1の管理番号と合致する「2066」の番号がある。記載されている採集日に問題点はないことから、ハシボソガラス【09808】と同様に仮ラベルがそのまま転用されたものと評価しておく。

1-h) クマゲラ【04609】 1903年12月5日

標本にはラベル1（標本番号のみ）、ラベル4、ラベル5、ラベル7が付属している。ラベル7は記載が全くなく、

このラベルが仮ラベルとして利用されたのか、あるいは混入したのかを判断することはできないが、ラベル4の記載は台帳1と合致しており、当該標本の採集年次に疑いはない。

1-i) 1907～1916年採集標本および1-a) クマゲラ【39973】

これらの標本には、「四十年」、「四十三年」や「元年」、「大正元年」、「大正二年」などの記載があるラベル7が付属している。これらのラベルの多くには1920年代には運用されていた台帳2の管理標本であることを示すスタンプ・朱書きの番号が記載されていることから、記載の「四十年」が、「昭和」40年の採集標本の情報を誤認したものではなく、ラベル7は「明治」40年代から大正初期にも何らかの形で利用されていたとみなされる。

なお、ここに含まれる標本のラベル7はいくつかのグループに分類することができるようである。一つ目のグループは1913年ごろまでの採集情報を持つラベル7であり、すべてのラベルではないものの、裏面に三桁の数字が記載されている（写真14）。この番号は「採集日記」や台帳1の管理番号ではない。二つ目のグループは1913年から1914年の採集情報を持つラベル7であり、四桁の数字が記載されている（写真15）。これらの番号は台帳1や「採集日記」の管理番号を引き継ぐ番号である可能性もあるが、照合することはできない。上述したイスカ【39876】（1-d）に付属するラベル7もこのグループに含まれるもので「3096」の番号記載がある。第三のグループは1915から16年の採集情報を持つラベル7であり、これらには上述した番号の記載はない。これらの番号が仮ラベルとしての利用を示すのか、あるいは管理ラベルとしての利用を示すのかについては、記載されている番号の意味を検討する必要があるが、これについては次章で検討することとする。



写真14 ラベル7裏の3桁数字 (565)



写真15 ラベル7裏の4桁数字 3039

1-a) クマゲラ【39973】 1869年1月11日採集

博物館設置を遡る1869（明治2）年採集という情報を持つこの標本には、「1869-1-11」の記載を持つラベル1、「二年一月十一日」、裏面に「2963」の記載を持つラベル7が付属している。1-iに含まれる標本で確認したように、ラベル7の裏面の四桁の番号は、1913（大正2）から1914年の採集標本に共通してみられるものである。現行台帳の「1869年」という採集情報は、ラベル7が台帳1以前の古い時代に付属するという誤った認識に基づく評価であり、「1913年」採集と修正されるべきものである。

1-j) ハリオアマツバメ【02077】 1925年5月10日採集

標本にはラベル1（標本番号のみ）、「14.5.10」の記載のあるラベル5、「十四年五月十日」、裏面に「(24 あるいは 25, 28)」の記載のあるラベル7が付属している。この標本には、台帳1, 2の管理番号に該当する番号記載がなく、また、台帳には明治14（1881）年や1914年に採集されたハリオアマツバメの記載もないため、ラベルが欠落したものとも思われない。台帳2はすべての標本を登録したものではないため、この標本の採集年次は、現行台帳の採集年次である1925（大正14）年、あるいは1939（昭和14）年の可能性もある。しかしながら、いずれの時期においてもラベル7は利用されていないこと、また当該標本のラベル7の記載が墨による楷書であり、この様式は明治10年代の採集標本に特異的にみられること、裏面の括弧書きの数字は台帳1以前の管理標本の番号である可能性が考えられることから、この標本は「1881（明治14）年」採集標本が何らかの理由により台帳1に登録されないまま保管されてきたものとみなしたい。

1-k) ムクドリ【01095】 1952年5月16日採集

標本にはラベル1（標本番号のみ）、ラベル6（昭和27.5.16）、ラベル7（27年5月16日）が付属している。この標本は、台帳1, 2に対応する管理番号はなく、台帳3の管理番号「5113」があるのみである。この標本に付属するラベル7は、写真16にみるように、鉛筆書きで採集情報が記載されている点に特徴がある。この特徴は、採集年次未確定となっている33点のハシブトガラス・ハシボソガラス（表2：記載年次が26-27年とのみある）と共通である。

これらのカラス標本は、犬飼・芳賀（1953）の研究のために採集された標本とみなされることから、鉛筆書きで記載のあるラベル 7 は戦後の物資不足の中で、残されていたラベル 7 を利用したものと推測される。



写真 16 鉛筆書きのラベル 7

以上に確認したように、いくつかの採集情報の誤認、誤記、終戦直後における再利用などを見出されたが、1900～10年代採集鳥類標本に付属するラベル 7 は何らかの標本管理に利用されていたものと評価すべきである。ラベル 7 が台帳 1 以前の標本にのみ付属するという予断は修正されるべきものであって、採集年代不明・未確定のラベル 7 付属標本の採集年次を検討する上では、1900～1916 年前後が含まれる可能性も考慮にされる必要がある。

2-3-2. ラベル 8 付属標本の採集情報再検討

ラベル 8 は、1905 年前後の標本に集中してみられるが、1880 年代や 90 年代末、1910 年代、50 年代の採集標本に付属していることが図 4 から把握できる。1904～06 年採集標本に含まれないこれらの標本を表 3 に示した。

3-a) モズ【00951】 1881 年 5 月 12 日採集

標本にはラベル 1（標本番号のみ）、ラベル 8 が付属している。通常であれば、1881 年採集標本にはラベル 3、取り外されていなければラベル 7 が付属しているはずであるが、確認することができない。台帳 1 には 1881 年採集のモズが 2 点確認されるが、採集日は 4 月 16 日（モズ【00970】に該当）、12 月 20 日（現存標本に該当なし）であり、この標本には合致しないためラベル 3 が欠落したと考えることもできない。詳細は不明であるが、1882 年に札幌博物場が農商務省に移管された際の移管標本目録にはモズが 4 点確認されるのに対し、台帳 1 では 1882 年以前の採集標本が 2 点しか登録されていない。このことから、モズ【00951】は台帳 1 作成時に登録から漏れ、ラベル 8 が利用されるようになった時期に再発見されたのではないか⁽⁵⁾。その際にラベル 7 が付属していたのか、それ以外のラベルが付属していたのかは明らかにはならないが、そこに記載されていた情報がラベル 8 へと転記されたものと考えたい。なお、この標本に付属するラベル 8 の「No.46」という番号がこの推測を補強する可能性があるが、この点については次章で検討する。

3-b) エゾコゲラ【04453】、【04481】1894 年 3 月 2 日採集、【04472】1897 年 3 月 2 日採集

これらの標本については 3-h のグループとともに考察する。

3-c) コアカゲラ【04428】 1895 年 7 月 18 日採集、ウソ【03731】 1900 年 3 月採集

標本にはラベル 1（標本番号のみ）、ラベル 8 が付属している。これらの標本にもラベル 3 あるいはラベル 4 が付属していておかしくないが、台帳 1 に合致する記載はなく、もともとラベルは付属していなかった可能性が高い。考え方の一つとしては、他のラベル 8 付属標本と同様に、本来明治「38」年と記載すべきところを誤って「28」や「33」と記載してしまったというもの、もう一つの考え方としては、モズ【00951】と同様に、未登録のまま保管されていた標本が 1905 年ごろに登録されたというものである。後者の場合は、採集日や採集地の情報をどのように継承してきたのか、という疑問点が生じるが、ここではモズ【00951】と同様に未登録標本がラベル 8 の利用時期に登録されたものと位置付け、次章で詳細に検討することとする。

3-d) クロツグミ【01576】 1901 年 10 月 10 日採集

現行台帳の採集年次記載は「1901（＝明治 34）年」となっているが、付属するラベル 8 には「明治 38 年」と明記されている。現行台帳作成時の単純ミスである。

3-e) ヒバリ【05100】 1903 年 4 月 4 日採集

現行台帳の採集年次記載は「1903（＝明治 36）年」となっているが、ラベル 8 には「明治 37 年」と明記されており、これも台帳作成時の単純ミスである。

3-f) モズ【00979】、エゾコゲラ【04450】、【04451】 1908年4月2日採集

1908年4月2日採集という情報を持つ3点の標本は、いずれも「陶氏」から受入れたものであること、他のラベル8にみられる番号記載がないことから、1905年ごろの標本管理に用いたものとは位置付けが異なるラベルと考えるべきであろう。

3-g) ハギマシコ【02597】 1910年2月6日採集

標本にはラベル1（標本番号のみ）、ラベル8（番号記載なし）が付属している。「明治43年」という記載には問題はなく、1910年採集標本のうち、なぜこの標本のみラベル8が用いられているのか明確にはしえないが、この時期はラベル4、ラベル5、ラベル7などが混在して利用されている時期でもあり、特別の意図なく手元にあったラベル8が用いられたものではないだろうか。

3-h) 1912-1913年採集標本および3-b) エゾコゲラ【04453】、【04481】、【04472】

これらの標本はいずれも樺太軍川で「中嶋氏」⁽⁶⁾によって採集された標本である。ラベルには、他のラベル8にある「明治 年 月 日」の印字はないが、「大正二」と明記されていることから、改元に従って従来の印を利用しなくなったものと評価できるだろう。これらの標本が1913（大正2）年採集標本であることは、（1）ラベルの記載、（2）ラベル4、5が付属する中嶋採集標本（ケイナ【01801】など）の採集日として、43、44（明治43、44＝1910、1911）年の記載があること、（3）1910年および1912年に博物館スタッフの村田莊次郎が行った樺太動物調査との関連性がうかがわれること、などから疑いの余地はない。なお、1912年採集という情報を持つエゾコゲラ【04461】および【04469】は現行台帳において誤記されたものであり、正しくは1913年採集である。ただし、中嶋採集標本の全てにラベル8が付属しているわけではないので、これまでにみたようにラベル8は標本情報の記録用の仮ラベルとして利用され、ラベル4や5に更新されていったのではないかと推測される。

ここで中嶋採集標本の採集年次の確認に紙幅を費やした理由は、3-bにまとめた「樺太軍川」産のエゾコゲラ【04453】、【04481】、【04472】および表4に示した採集年次未確定のラベル8付属標本のうち「樺太軍川」産の採集年次の検討を行うためである。エゾコゲラ【04481】のラベル8には「27/3/2」の記載があり、現行台帳はこれを「明治27（1894）年3月2日」と登録している。また、エゾコゲラ【04453】および【04472】に付属するラベル8には「30/3/2」の記載があり、現行台帳ではこれを「明治30（1897）年3月2日」と登録している。しかし、ラベル8の利用年代と採集年次未確定標本のラベル8の記載年次とを勘案するならば、ラベル8が付属する中嶋採集標本の大部分は大正2（1913）年の採集とみなすべきである。つまり、エゾコゲラ【04453】、【04472】の「30/3/2」は「2年3月30日」と読み、現行台帳の採集年次は修正しなければならない。あわせて、採集年次を確定しないまま管理されてきた標本についても、その採集年月日を確定することが可能である。

3-i) エゾフクロウ【05936】 1953年1月7日採集

この標本にはラベル5、ラベル8が付属し、記載採集日はいずれも「明治38年2月9日」となっている。「明治38年」を「昭和38年」と誤読し、1953年としたことは受入れられるものの、なぜ現行台帳が「2月9日」を「1月7日」と記載しているのかは不明である。標本情報の取り扱いについては検討を要するものの、ラベル8そのものは1905（明治38）年の記載があることから想定される利用年代の範囲内に含んでよいものである。

以上のように、いくつかの例外と考えられる事例はあるものの、ラベル8は1904年～06年の間の標本管理に用いられ、のち1910年代に中嶋採集標本など一部の標本の管理に用いられたものと評価される。ただし、正式な管理ラベルとして位置付けられるものではなく、おそらくは仮ラベルとして利用されていたものが、正式のラベルへの変更が行われないうまう伝わってきたものだろう。この考えを補足するものとして、以下の事例を挙げるができる。1905年ごろの標本管理においては、これまでにみたようにラベル4が主に利用されていたが、台帳1の管理番号2115から2170、採集年次として1905年4月から7月の情報を持つ標本にはラベル4ではなくラベル3を用いて番号登録されている。この事実、この時期にラベル4が枯渇し、ラベル3の残部やラベル8のような代用品が利用されていたことを示唆するのではないだろうか。

2-3-3. ラベル 9 付属標本の採集情報再検討

ラベル 9 は、1910 年代の採集標本に集中してみられる。1914 ～ 19 年の範囲から外れるラベル 9 付属標本の状況について確認する。

5-a) ムクドリ【01086】 1887 年 7 月 6 日採集

標本には、ラベル 1（標本番号のみ）、ラベル 3、ラベル 5（白紙、裏面に台帳 3 登録の仮番号あり）、ラベル 9 が付属している。ラベル 3 には、台帳 1 と合致する「463 号」の管理番号とともに「廿年七月六日」の採集日記載があり、現行台帳はこのデータに基づいて登録している。一方、ラベル 9 には「大正四年八月十一日」の記載があり、混乱がみられる。おそらくは、標本管理の中でラベル 3 あるいはラベル 9 が混入したものと推測されるが、どちらがもととも付属していたラベルであるのかは現時点では明らかにならず、この標本の採集年月日は「保留」とするべきであろう。しかしながら、ラベル 9 の運用年代からみた評価としては、記載の通り「大正四」（＝ 1915）年として範囲内に含まれることになる。

5-b) マガモ【06612】 1912 年 8 月採集

標本には、ラベル 1（標本番号のみ）、ラベル 3（「マガモ？ 欧州」、採集年次記載なし）、ラベル 9 およびコレクターのラベルが付属している。この標本の採集年次としてはラベル 9 の「大正三年八月、ムンステル」という記載のみが根拠となっている。写真 17 にみるようにラベルの記載は「元」とも読めることから、これを誤読したもののだろう。ムンステルの標本が「三年」受入れ標本であることは後述する。



写真 17 ラベル 9 の年次「三」と「元」の判断困難

5-c) カワラヒワ【02381】 1920 年 5 月 5 日採集

標本に付属するラベル 5 には「大 9.5.5」の採集年次記載があり、現行台帳はこれを根拠として登録している。一方、ラベル 9 の記載は「大正六年五月五日」である。ラベル 5 が付与された年次を明確にすることは難しいが、1950 年代の台帳 3 作成時に散見される鉛筆書きの記載であることから、ラベル 9 の記載を誤読して転記したものであろう。採集地の「夕張楓山」で採集した他の標本の多くには「大正 6 年 5 月 5 日」の採集日記載があることはこの推測を裏付ける。

5-d) エゾオオアカゲラ【04574】 1920 年 12 月 9 日採集

付属するラベル 5 およびラベル 9 の記載年次はいずれも「大正六」年である。現行台帳への登録時に誤記したものと推測され、ラベル 9 の利用時期に含まれる標本である。

5-e) タカブシギ【05545】 1925 年 5 月 12 日採集およびタカブシギ【05546】 1925 年 5 月 11 日採集

この 2 点の標本にはラベル 1（標本番号のみ）、ラベル 5（1925.5.12【05545】、1925.5.11【05546】の採集年次記載）、ラベル 9（「大正三年八月、ムンステル」の記載）、上述したマガモ【06612】にも付属するコレクター（ムンステル）によるものと考えられるラベルが付属している。ラベル 5 は、裏面に台帳 3 の登録番号が同筆で記載されており、1950 年代に付与されたものとみられる。ラベル 9 の記載をみれば、この標本が 1925 年採集とみなすことができないことは明らかであるが、ラベル 5 の記載者は付属するコレクターのラベルにある「23-V-12」【05545】、「25-V-11」【05546】を採集日ととらえ、かつ【05546】の「25」につられ、【05545】の採集年次「23」を「25」と誤記したもののだろう。ムンステル寄贈という情報を持つ他の標本は、大正 3（1914）年 8 月や同年 11 月受入れという記載のあるラベル 9 が付属しており、これらタカブシギも同時期に受入れられたものである。このことから、コレクターラベルの採集年次は「1912 年 5 月 23 日」【05545】、「1911 年 5 月 25 日」【05546】と理解すべきであり、現行台帳の採集年次記載は修正されなければならない。また、付属するラベル 9 の利用年代も 1914 年とみなすべきである。

以上の検討から、ラベル 9 は 1913 年から 1919 年までの間のみ利用されていたラベルと評価される。このように限定できることで、シジウカラ【00317】の「七年三月二日」やエゾアカゲラ【04513】の「六年三月」のような記載がラベル 9 にある年次未確定標本（表 6）の採集年次は大正期であるとする根拠が得られたこと、また採集年次記載の無い標本であってもこの時期の標本である可能性が極めて高いといえることができる。

2-4. ラベル利用変遷のまとめ

ここまで標本管理ラベルの利用年代について、誤りとみなされる情報を修正しつつ整理を行ってきた。この結果を、旧稿までに確認した標本台帳の運用年代、管理スタッフの変遷と重ね合わせたものが図5である。これを用いながら、標本管理の変遷を標本ラベルの利用を中心ににおいてまとめてみたい。

1877年の開拓使札幌博物場設置から程無く、農商務省博物局の指導を受けて「採集日記」の前半部分に一部が確認される標本管理が始まり、その情報管理にラベル7が用いられることになった。この管理体制は博物場の札幌農学校移管後も継続していたが、1880年代末には鳥類標本だけでなく、諸分野の標本・資料も含め管理に停滞が生じはじめていた。その原因は定かではないが、標本管理にあたっていた吉川昌則の異動や1887年ごろに札幌農学校の標本室所蔵資料類が移管され、登録管理に過度の負担が生じていた可能性が高い。

1880年代末に管理者となった村田莊次郎は、開拓使東京仮博物場の標本製作・管理者としての経験や情報を生かしながら台帳1の運用を開始し、鳥類標本の管理にはラベル3を利用することとした。この標本管理体制の刷新は鳥類標本のみにとどまらず、所蔵全分野に及んでいたことは、台帳1と同様の各分野の台帳が現存していること、標本管理に用いられたラベル3が民族資料にも付与されていること、民族資料の管理に併用された貼り付け型のラベルが考古資料やライマンコレクションなどの地質資料にも確認されることから明らかである。大規模な標本の再登録・管理は相当の期間を要したものと考えられ、安定した運用の開始は1894年末ごろであったことが「採集日記」の記載から推測される。この管理に用いられたラベルは、1890年代末にラベル3からラベル4へと移行したが、台帳管理そのものには変更はなく収集と管理が継続されていた。

1900年を過ぎたあたりから、台帳1による管理に混乱が見受けられ始める。ラベル4による標本管理も不十分で、ラベル7による仮登録や1905年前後のラベル8による管理などが行われるようになっていく。この要因は、日露戦争の影響によるラベル4の在庫不足を想定することも可能だが、札幌農学校の帝国大学への昇格運動が「札幌農学校所属博物館」の印字を持つラベルの安定供給に何らかの影響を及ぼした可能性も考えられる。

1907年に札幌農学校は東北帝国大学農科大学へと昇格し、その翌年にアメリカ自然史博物館との間で鳥類標本の交換が行われた。日本から送られた標本には、ラベル5が付与されており、この時点までにラベル5が利用されるようになっていたことが確認される。1910年に刊行された展示案内の名称が「札幌博物館案内」であることからわかるように、新しい博物館の標本管理ツールとしての役割を担うために作成されたものと考えられる。しかしながら標本に付属するラベルの分布からみる限り、ラベル5は1907年以降の標本管理において中心的役割を果たしてはいない。1910年代に受入れられた標本の多くには、ラベル7やラベル9、ラベル4が付属しており、ラベル5が受入れ標本の管理に利用されていたとみなしうる時期は1920年前後になってからである。

ラベル5が1907年時点で利用されていたにもかかわらず、標本管理に用いられなかった理由は、この時期に博物館が置かれていた以下の要因が組み合わさったものと推測される。

- 500点余りの台湾産標本が農学校動物学教室から移管されたこと
- 1,300点余りのブラキストン採集標本が移管されたこと
- アメリカ自然史博物館との交換により550点余りの標本が増加し、同時に管理標本の一部が送付により減少したこと
- 村田莊次郎による1910年および1912年の樺太動物調査により500点弱の標本が増加したこと、あわせて中嶋らから樺太産標本の寄贈を受けたこと

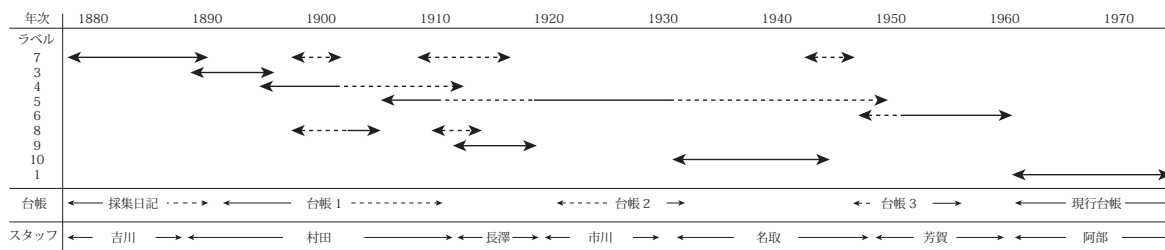


図5 標本ラベルと台帳、管理スタッフの変遷

○村田莊次郎は1916年に定年により退職し、後任となった長澤安太郎は標本管理の専門家ではなかったこと

この時期に増加した標本は、それまでに博物館において管理していた標本に匹敵する点数であり、管理ラベルをあらかじめ準備することは容易ではなかっただろう。また、海外産の標本が中心であることから整理・登録にも時間を要したに違いない。台湾産標本は、台帳1や「採集日記」にも一部確認することができるが、ラベル4や5が付属しているものはごく一部であり、標本番号はコレクターが付与したラベルに直接記入されている場合が多い。ブラキストン標本については、村田や当時の博物館長であった八田三郎らによって、学名や収集地、収集日と、シーボームとブラキストン・プライヤーの種番号の記載のあるラベルが付与され、あわせて「ブラキストン標本」印を捺すという整理（加藤2012a）は行われているが、博物館標本として他の標本と同様に扱おうとした形跡はない。樺太動物調査標本についても、樺太庁への報告のために整理した形跡はあるものの、博物館標本としての整理には至っていない（加藤2012b）。アメリカ産標本にいたっては、ラベルの付与や番号記載などの形跡もなく、受入れられた時点のまま管理されてきた（加藤・市川2004）。

以上のような受入れ標本の急増とともに、村田の助教授就任（1897年）やそれとともなう『動物学雑誌』等への論文投稿、樺太庁からの調査依頼などが標本管理の優先順位を低下させ、仮ラベルのみが付属する未登録標本の増加と台帳1の運用停滞を生じさせたものと推測される。これらの未登録標本の整備を終えることなく村田は退職することになり、引き継いだ長澤もその混乱を整備しないままラベル9などの再利用ラベルを用いた仮登録の状態が続いたということが、ラベルの付属状況から推察されるのである。

1919（大正8）年になり、市川申平が標本管理者に就任した。ラベル7や9が用いられなくなり、標本管理がラベル5に一本化された時期と合致することは、偶然ではないだろう。市川によって、標本管理の停滞を終了させることを目的として台帳2の運用が開始され、標本に朱番号とスタンプの番号が記述されて標本管理が行われるようになった。多くの旧蔵標本についてはラベル3や4の裏面に朱書きやスタンプの番号が記載されているが、ラベル7やラベル9のように小型のラベルしか付属していない場合にはラベル5が新たに付与されたものと推測される。しかし、1930年の市川の急死の影響もあり、ブラキストン標本やアメリカ産標本、台湾産標本の大部分が台帳2に記載されていないだけでなく、台帳1に登録されていた北海道産標本の一部も登録されないまま台帳2の運用は途絶えている。また、市川の死後に山階芳麿を中心として編集された標本目録（Yamashina & Mukasa 1934, Yamashina & Ikeda 1935）は、標本管理者不在の中で情報が整理されたために、採集情報には多くの誤りが含まれている（旧稿3）。台帳1以降に生じたこれらの採集情報の混乱は現行台帳へと引き継がれている。

市川の死後、博物館の標本管理の中心は考古学、民族学を主たる研究対象とする名取武光となった。このため、博物館においては鳥類標本の採集・管理活動は縮小し、研究活動の中心は犬飼哲夫館長を中心とした農学部動物学教室へと移った。のちに博物館へと移管された1930年代以降の採集標本の多くには、博物館の標本ラベルではなく、ラベル10などの動物学教室のラベルが付属しており、博物館に受入れられた時期によってラベル1やラベル6が博物館標本としての管理用に用いられている。

1940年代末になって動物学者である芳賀良一が名取の後任として就任し、運用が止まっていた標本台帳の整備が行われ、台帳3が作成された。台帳3の整備には残存していたラベル5を利用しながらすめられ、最終的にはラベル6を用いた標本管理が行われるようになったが、台帳そのものには多数の混乱が存在し、この台帳による標本管理は定着しなかったと考えてよい。芳賀の異動後、阿部永が1961年に現行の標本台帳の運用を開始し、ラベル1を利用しながら博物館所蔵全標本・資料の登録をすすめることになった。

以上が鳥類標本管理台帳と標本ラベル、管理スタッフを総合的にみた標本管理の変遷である。このようにしてみると、北大植物園・博物館における標本情報の問題は、1900年から1920年の間、台帳1の運用が停滞し、複数のラベルが混在した形で仮管理が継続していた時期にその遠因が存在することは明らかである。本稿冒頭で触れたキビタキ【01281】とノゴマ【01963】に共通してみられる「1/9/25」の採集日も、おそらくはこの期間に含まれる大正11（1912）年の採集標本と考えられるが、それを裏付けるための台帳などが現存していないことが台帳2から現行台帳へと混乱を継承させたのである。ラベルの採集日「1/9/25」を「大正元年9月25日」ではなく、「明治25年9月1日」と読解していることに対しては、その標本が台帳1に確認できないという消極的な根拠により修正することができる可能性はあるし、ここまで確認してきたようなラベルの付属状況から当該標本の受入れ時期を絞り込み、検討を行うことも可能かもしれない。しかし、これらの評価手法は問題を含む可能性のある標本を抽出することはできず、1点1点の標本の調査を必要とするし、ラベルの欠落や取り外しという事象が生じていればその根拠も薄

弱なものになりかねない。採集年次未確定として管理されている標本群についても、何らかの根拠を提示しなければ信頼できる採集年次を標本に付与することはできず、有益な研究資源とはなりえないであろう。これらの課題を解決するためには、この混乱期の受入れ標本群に共通してみられる特徴を明らかにし、その記載年次が示す情報を確たるものとするのが求められる。次章において、この課題を解決するための見通しを提示することとしたい。

3. 標本ラベル記載の管理番号に関する検討

3-1. ラベル記載番号検討の目的

本章では、北大植物園・博物館において台帳 1 の運用が滞り、台帳 2 が整備されるまでの期間、1900 年ごろから 1920 年ごろまでの標本管理の実態を、標本ラベルに記載されている番号の考察を通して把握する。

北大植物園・博物館の鳥類標本ラベルには、台帳 1、2、3、あるいは現行台帳の標本番号が記載されているが、それ以外にも採集者によって記載されたコレクター番号も散見される。また、写真 1・2 で示した番号や、前章でみたラベル 7 裏面の 3 桁の番号のように、現存する台帳の管理番号とは対応しない番号が記載されている場合もある。これらの番号は、標本台帳やデータベースの備考欄に記載されている場合もあるが、それらすべてが登録されているわけではない。また、台帳やデータ上においては「単なる数字」でしかなく、その数字がコレクターの番号であるのか、何らかの管理用の番号であるのかは明らかにはならないため、それぞれの数字の関係性は不明なままであった。本研究において、所蔵鳥類標本のすべてに付属するラベルごとにその記載情報の調査を行ったことで、特定のラベルの特定の場所に記載されている番号のみを抽出して利用することができるようになった。つまり、単なる数字の比較ではなく、複数の標本を同じ標本管理下にあるコレクションとして評価し、その記載番号の意味を理解することがある程度可能となったといえる。

ただし、現存台帳に対応しないこれらの番号の大部分は、単なる番号記載のみであり、その番号が持つ意図は一見ただけでは明確にはならない。また、記載されている番号は同じ種類のラベルであっても重複している場合があることや、記載番号が抹消されている場合もあり、複数の整理の反映であることが予想される。逆に、異なるラベルであっても共通の整理を目的として記載された番号である可能性もあり、その区分は容易なものではない。特に、現行台帳の採集年次情報に誤りが含まれている可能性があることや採集年次が確定していない標本が多いことから、採集年次をもとにその番号の配列や関係性を見出すことはさらに困難である。このため、番号が持つ意味を区分する上ではある程度の見通しを持って検討する必要がある、以下の検討には少なからず恣意性が含まれている恐れがある。また、記載されている番号のうちごくわずかではあるが、全体の中での関連性を見出すことができなかったものについては、検討から除外していることをあらかじめ断っておく。

3-2. ラベルごとの記載番号

3-2-1. ラベル 8 記載番号

はじめに、独立した整理番号であることが明確なラベル 8 の記載番号について述べる。この番号はラベル 8 の上部に記載されているものである（写真 10）。記載されている番号の多くは表 7 にみるように後述する他のラベルに記載されている番号と重複しており、別目的の記載であると評価できる。

これらの記載を番号順に配列してみれば、冒頭の 5 点のうち、採集年次の明らかな 4 点は 1900 年以前の採集標本であり、台帳 1 にその存在を見出すことができない標本であることがわかる。これに対し、それ以降はほぼ 1905 年および 1906 年の採集標本であり、分類群ごとにまとめて番号を振った形跡はあるが、その配列はおおむね受入れの順になっているものと評価できる。前章で考察したように、ラベル 8 は台帳 1 への標本登録の前段階として 1904 年ごろから利用されたものと考えられるが、記載番号の配列からみて、当該期の標本台帳である台帳 1 に未登録の状態であった標本の管理にまず用いられ始め、その後採集・受入れ標本の仮登録に用いられたものであることが推察される。現存する管理番号のうち最大の番号は「769」であるが、ラベル 8 に管理番号を持つ標本は 89 点にすぎない。1904～06 年の採集標本は台帳 1 に多数確認されることから、登録済み標本にはある時点でラベル 8 が付属していたが、台帳登録にあわせて取り外されたのではないだろうか。前章まではラベルの現存数を基礎として検討を進めてきたが、「記載番号」を用いて検討することにより、その管理体制がどの程度の数の標本に適用されていたのか、現在確認することができなくとも推察することが可能である。なお、ラベル 8 にはあらかじめ「明治 年 月 日」の印が捺されていることもあり、標本採集年次は表 7 に示したように誤記・誤読を除けば誤りを含む余地はない。

3-2-2. ラベル 5 記載番号

次に、ラベル 5 の記載番号について整理する。ラベル 5 には番号を記載する欄があらかじめ設けられているが、その欄をあえて利用することなく番号が記載されている事例が多く、また一部それらの記載が抹消されている場合もある。はじめに、これらの記載をグループ分けしておくこととする。

(1) 番号欄 4 桁の記載

ラベル 5 の番号欄に、4 桁で管理番号が記載されている例が確認できる（写真 18）。この記載は、台帳 1 および「採集日記」で用いられている管理番号と共通のものであるが、台帳類にはこれに対応する番号がないものである。

(2) 番号欄 1-2 桁の記載

ラベル 5 の番号欄に 1 桁ないし 2 桁で番号が記載されている例が確認できる（写真 19）。この番号は、上述した台帳 1 および「採集日記」の番号とは対応しないもので、何らかの整理に用いられたものと考えられる。

(3) 欄外の番号記載

ラベル 5 の欄外には 2 桁ないし 3 桁の番号が記載されている場合がある（写真 1・2）。この番号は (2) から続くものである可能性もあるが、記載場所が異なっていることもあり、別の管理番号として扱う。また、欄外の番号記載が 2 件あるラベルも確認できる（写真 20）。一方の番号記載が抹消されている場合もあることから、別系統の整理番号が併記されている可能性と、ある整理において、番号重複などの混乱が確認されたために不適切な番号を抹消した可能性との二つの考え方が成り立つ。この点については後段で検討することとする。

これらの番号記載の持つ意味について検討を進める。



写真 18 ラベル 5 の 4 桁番号



写真 19 ラベル 5 の 1 桁番号

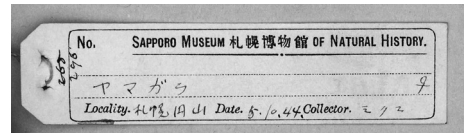


写真 20 ラベル 5 の欄外番号、抹消有

3-2-3. ラベル 5 番号欄の 4 桁番号

ラベル 5 の番号欄に 4 桁の数字が記載されている標本と、共通して用いられていると推測されるラベル 7 およびラベル 8 に似てはいるが、印字などの特徴を持たないラベルに 4 桁の番号をもつ標本を表 8 にまとめた。

台帳 1 で用いられていた管理番号は最終的に「採集日記」のみで利用されることになり、その末尾の番号は「2925」であった。その標本は中嶋から送付された樺太軍川産の「1912 年 12 月 14 日」採集という情報を持つものである（旧稿 1）。表 8 に掲載されている標本は「採集日記」掲載標本に年代的にも継続するものであって、その運用に用いられていた台帳の現存は確認できないものの、この標本管理が 1914 年ごろまでは継続していた、あるいは継続しようとしていたことがうかがわれる。ただし、統一したラベルでの標本管理が徹底されていなかったため、あるいは台帳管理が停滞し、場当たり的に番号を付与したためか、番号重複も少なからず見受けられる。また、後述するように同時期の標本の多くには台帳 1 に接続する管理番号が与えられておらず、この標本管理体制は厳密なものではなかったと評価せざるをえない。

台帳 1 に接続する 4 桁の番号を持つ標本は、「採集日記」の運用停止後から 1914（大正 3）年末ごろまでに採集された標本であることが表 8 から明らかである。これを前提として現行台帳の採集情報を確認するならば、表 8 に示したようにラベル 5 の採集日記載の不統一、元号の不記載により、多くの採集年次の誤解が生じていることがわかる。また、年次を確定しないまま管理されてきた標本も若干留保しなければならないものはあるが、おおむね確定できることがわかる。

3-2-4. ラベル 5 番号欄の 1-2 桁番号

ラベル 5 の番号欄に 1-2 桁の数字が記載されている標本は 42 点確認され、このうち 18 点はその番号が抹消されている。抹消されていないものであっても、欄外に別の番号が記載されているものもあり、この番号の存在自体は上書きされている可能性が高い。これらを表 9 および 10 にまとめた。なお、抹消されている番号のうち、44 と 45 は連番記載時のミスの修正と考えられるため、表 9 に含めて検討する。

表 9・10 の標本にみられる特徴は、1900 年代の後半の標本と 1890 年代の標本が混在していることである。1900 年代後半の標本はラベル 8 による整理が行われていた 1905～06 年以降のものが大部分であり、ラベル 8 による仮

登録を引き継いだものではないかと推測される。一方、1890年代の標本の大部分は記載番号が抹消されていることが特徴であり、表10にみるように番号が抹消されている標本のうち、いくつかの例外を除き台帳1の管理番号がラベル5に追記されていたり、追記されていないものであっても台帳1にその標本の存在が確認できるものであることがわかる。これらの管理番号はこれまで確認してきたように、本来ラベル3や4に記載されているものであるが、これらの標本にはラベル3あるいは4は付属していない。

以上のラベル記載の傾向から考えられる標本管理の動きは、ラベル8による標本仮管理の体制は1907年ごろには終息し、このころに利用されるようになったラベル5を用いて、この時期までに仮登録が終わっていない標本や、ラベル3・4の欠落により台帳管理から漏れていた標本を1から始まる番号で仮に管理することになった。その後、台帳1や「採集日記」に登録されている標本であることが確認された場合には、仮番号を抹消して管理番号を記載することとした。この作業は、台帳1の運用が継続していた1914年ごろまでに行われたのではないかと考えられる。一方、台帳1に登録されていない標本は仮番号の形で管理が継続されていたものと思われるが、欄外にある600番台の番号や追記されている800番台の番号の存在から、後述する別の標本管理の中に組み込まれていた可能性が高い。

3-2-5. ラベル5 欄外記載番号

ラベル5には管理番号の記載欄があるが、そこに記載されている例は、上述した台帳1に対応する管理番号か、1-2桁の番号のみである。ラベル5に確認できる番号の大部分は番号記載欄ではなく、欄外に記載されている。これは、番号記載欄が果たすべき役割が博物館における管理番号の記載であって、未登録標本の仮番号を番号記載欄に記入することで、標本管理に混乱をきたす恐れがあることに気付いたためだろう。この推測が妥当なものであるならば、表9・10の記載番号と欄外の番号は継続することになる。しかし、現時点でそれを裏付ける確実な根拠は見出しえていないので、ひとまず別の管理体制として扱うこととする。

ラベル5の欄外に記載されている2-3桁の番号は、上述したように2種類の番号が併記されている場合があり、2種類の管理体制が存在していたか、多くの修正が施されていた可能性がある。併記されているものがすべて抹消されていれば、その傾向を読み取ることは不可能ではないだろうが、抹消されていない事例もあること、また併記されていない事例も多く、2種類の管理体制が存在していたとしても、確認できる番号がどちらの管理体制に含まれるものであるかを明確に区分することは不可能である。しかし、記載されている番号には重複している例も多く、一括して検討することもまた不適切である。そこで、まず欄外に記されている番号のうち、抹消されているもののみを抽出して表11にまとめた。これを利用しながら、欄外記載番号の特徴を整理することとした。

表11に掲載されている標本は、ウグイス【01434】のように現行台帳上ではラベル記載の「5.10.11」を「大正11(1922)年10月5日」と読み取っている場合やコヨシキリ【01759】のように、同じ表記を「大正5(1916)年10月11日」と読み取っている場合があり、採集年代にばらつきがみられるが、抹消されている番号の連続性からみて、いずれも1910～11(明治43～44)年の採集標本と読み取ることができないわけではない。なぜ明治44年と西暦1911年とが混在しているのかという問題はあがあるが、1908年のアメリカ自然史博物館との標本交換以降、海外の博物館向けの標本管理を意図し始めたためか、ラベルの採集年次を西暦で記入する傾向が増加しているように見受けられ、この時期に記載方法に揺らぎが生じていたのではないかと推察できる。表11掲載標本の採集年次の約半数に修正を施した結果に基づくものであるが、ラベル5欄外の番号のうち、抹消されているものは明治期の標本のみである。このことは、明治期に行われていた標本管理に修正が施されたことを示唆している。この仮説に基づいて、ラベル5に欄外番号記載がある標本のうち、明治期の採集情報を持つ標本を表12に、大正期の採集情報を持つ標本を表13にまとめた。

表12と13を比較すると、表の冒頭部分にあたる2桁から100番台までに番号の重複が相当数確認される。この点から、ラベル5欄外の番号を用いた明治期と大正期の標本管理の間に断絶があることは明らかである。しかし、3桁の番号については重複する件数が激減している。これは、表12の160番以降に過去の番号が抹消されている事例が増加していることからみて、重複する番号をもつ明治期の整理がこのあたりで解消されていることによるものだろう。また、140から200、240から300、510から650などにまとまって明治期の標本が位置することから、3桁の番号については、明治期の番号が抹消されないまま残されているなどの例外は存在するだろうが、おおむね一連のものとして評価してよいのではないかと。

この時期の標本管理のあり方を明確に示す材料が存在しないため確たる証拠には欠けるが、残された情報を整合

的に評価した場合、次のような流れが存在していたのではないかと考えられる。1907 年ごろから、表 9・10 に示されたようにラベル 5 の番号欄、のちに欄外に仮番号が記載され、未登録標本の整理が行われていた。この整理においては、表 11 に示された抹消番号がこの整理による記載であると評価するならば 300 点ほどの標本が管理されていたものと判断される。これらの未登録標本は、同時期に運用されていた台帳 1・「採集日記」の管理番号が与えられて登録されたが、登録に至らなかった標本もあり、それらが表 11 や表 12 の冒頭部分に示されているものと考えられる。その後、大正期に入って同様の仮番号による整理が始められた。明治期の仮番号は表 12 の冒頭部分のようにそのまま放置されたものもあるが、抹消された上で大正期の番号が追記された場合もあったと考えられる。ただし、抹消件数の少なさと、現存する明治期標本の 3 桁の仮番号が大正期標本の仮番号と重複しないことから考えて、明治期標本の整理は完全には行われておらず、大正期の整理の時点で初めて仮登録された標本が多かったのではないだろうか。この結果、現在ラベル 5 の欄外に確認できる番号の大部分、少なくとも 3 桁の番号については大正期以降に与えられた番号として評価することができるものと位置付けておきたい。なお、ここでは便宜上明治期と大正期に分けて標本整理が行われていたものと位置付けたが、表 13 掲載標本の配列は大正元年から 3 年へとおおむね継続し、表の末尾になると大正元年の標本が再度現れることから、明治末年から始まった整理は大正初期までは継続していたことがうかがわれる。

以上のように、ラベル 5 の欄外番号を一連のものとして評価することとしたが、ラベルにおける年次記載のあり方を理解する上では、明治期の標本と大正期の標本とを分けて評価することが簡便である。表 12 と表 13 とを利用しながら、現行台帳の採集年次情報の妥当性を確認してみたい。

まず、明治期の採集標本と評価しうる表 12 掲載標本を確認してゆく。現行台帳では「43」や「44」などの採集年次について、明治であるのか昭和であるのかを判断しないまま管理してきた事例が多いが、ラベル 5 の付属と欄外番号が存在することから、これらの標本はすべて明治期の標本であることが確定する。また、表 12 掲載標本の大部分が明治末の標本であるとみなしうること、番号の連続性からラベルの採集年次の誤記の可能性を見出すこともできる。欄外番号 260 のルリビタキ【01983】と 263 のルリビタキ【02040】はいずれもラベル 5 に「21.10.11」という採集日の記載を持つ。ラベルのみに従えば、「(明治) 21 (1888) 年 10 月 11 日」あるいは「11 (1911 年) 10 月 21 日」のどちらかの解釈をとることになり、現行台帳では「明治 21 年」と解釈している。しかし、欄外番号 261・262 ルリビタキの採集日のラベル記載が「11/10/41」とあることを考慮に入れるならば、「21.10.11」の「21」は「41」の誤記とみなすこともできるのではないか。もちろん、欄外番号の配列が同一採集日を示すものではなく、またラベルの採集日記載の様式にも違いがあるので、単純に誤記とみなすことは危険ではある。しかし、明治 20 年代の標本であるかのような記載を持つ標本が表に表れることの異質さは、慎重な検討を導く上では有益である。欄外番号 263 のルリビタキ【02040】のラベル 5 には採集者として「三国」という記載がある。「採集日記」においては、管理番号 2724 から 2767 にかけて「1912 年 3 月 20 日」に「区内三國直吉ヨリ買入」れた標本が登録されている。これらの標本の採集年次は 1908 年から 1911 年であり、ルリビタキ【02040】のラベル記載「21.10.11」に誤りがないとするならば、少なくとも標本の採集年月日は「1911 年 10 月 21 日」と評価する必要があることが判明する。

ついで、大正期の採集標本と評価しうる表 13 掲載標本について確認する。この時期の採集標本のラベル 5 には、キセキレイ【00734】のように採集年次として「1/8/20」などの記載がある。標本によっては「大」を追記し、大正期の採集標本であることが示されている場合もあるが、大部分は現行台帳においては採集年次が確定されていない。また、本稿でたびたび言及しているキビタキ【01281】の「1/9/25」が現行台帳において「1892 (明治 25) 年 9 月 1 日」と登録されているように、誤解・誤認している場合も多い。しかし、欄外番号の順に標本を配列してみれば、冒頭に大正元年、次いで大正 2 年、末尾には大正 3 年から 5 年ごろの採集標本が確認される。この配列によって、多くの標本について採集年次を誤認している場合の修正、また年次の確定が可能になる。

なお、表 12 および表 13 から明らかなように、この時期に行われていた標本採集年次の記載方法には「年 / 月 / 日」と「日 / 月 / 年」の記載が混在しており、一貫性がみられない。また、西暦と和暦記載も混在しており、ラベルの記載のみをもって採集年月日を確定することは危険であることも確認された。

3-2-6. ラベル 4、ラベル 7、ラベル 9 記載番号

最後に、ラベル 5 以外のラベルに確認される 3 桁の番号について触れておく。

表 14 はラベル 4 に記載されている番号のうち、現存する台帳に対応しない番号を持つ標本をまとめたものである。ラベルの採集年次には誤解を引き起こす記載はなく、大きな問題はないが、記載番号の重複と標本の採集年次から、

表の前半部分は明治末年の整理が、300番台以降の標本については、大正期以降の整理が示されている可能性が高い。

表15はラベル7裏面に台帳1および「採集日記」やそれ以前の台帳番号と照合できない番号を持つ標本の一覧である。これらも明治末年の整理と大正に入ってから開始された整理の番号が混在している可能性が高いが、採集年次記載に誤解をもたらすようなものではなく、大きな問題とはならない。

表16はラベル9に番号記載のある標本の一覧である。ラベル9の利用は1914年ごろから確認されるようになっており、表13の末尾の番号とも整合性が取れることから、一連の整理番号と評価しうる。現行台帳の採集年次の情報の上でも問題は発生していない。

3-2-7. ラベルに番号が記載されていない標本の取り扱い

ここまで、1900～1920年ごろという博物館において標本管理に停滞が生じていた時期の標本整理方法についてラベルに記載されている番号を用いて考察し、画然と区分することは難しい部分があるものの、明治後期（1900～1906年ごろ）、明治末期（1907～1912年ごろ）、大正初期（1912～1914年ごろ）という3種の標本仮管理体制が存在していたことを示してきた。これにより、従来からの懸案事項であったノビタキ【01281】が、大正初期に受入れ、管理されていた標本であることを明確に示すことができた。また、ラベル記載番号の番号順に標本を配列することで、これまで解釈が困難だった「1/9/25」といったラベル採集日記載の意味を明確にすることが可能となり、相当数の採集年次未確定標本の年次を確定することができた。しかし、標本群全体をみればシジュウカラ【00276】（写真21）のように、大正初期の採集・受入れ標本と同様のラベル記載方法であるにもかかわらず、ラベル5の欄外に番号が記載されていない事例も少なからず確認できる。記載の類似性から、この標本の採集年次が「1912（大正元）年9月10日」であることは容易に予想できるが、明治末から大正初期の短期間に複数の仮管理体制が運用されてきたことは、安定した標本管理が実施されていなかったことの裏返しであり、この標本のように管理から漏れた標本も多数存在している可能性が高い。標本群全体の採集情報の検討、確定のためにはラベル番号に着目するだけでは不十分で、補足的な考察が必要である。そこで、ラベル5の利用方法をさらに細かく分類してみたい。

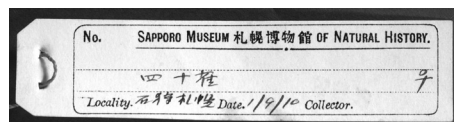


写真21 シジュウカラ【000276】のラベル5

3-2-3. で確認したように、台帳1と「採集日記」の管理番号を用いた標本管理は1914年ごろには断絶していたものと考えられる。また、3-2-5および3-2-6でみたように、大正期の仮管理の番号を持つ標本も、若干の例外はあるものの1914年ごろまでの採集標本である。その後1914年以降1920年ごろまでの採集標本はラベル9によって管理されてきたことは図3・4でみたとおりであり、博物館の標本管理において1914年末が分水嶺であったことが予想される。一方、ラベル5は、1907年ごろから利用されるようになるとともに、1920年代の台帳2の管理、1950年代の台帳3の管理にも用いられており、図3のように1914年以降の採集標本にも付属していることが確認されるが、1914年末に標本管理体制に大きな変化が生じていたとするならば、この時期を境にラベル5の利用方法にも何らかの変化が生じていたことが予想される。

ここで、ラベル5の特徴を改めて確認しておきたい。ラベル5はその記載方法から、いくつかのグループに分けることができる。その一つは、写真1にみるように、標本名や採集地、採集日がペンで記載されているものであって、表12・13掲載標本はすべてこのタイプである。もう一つは写真22のような情報が鉛筆で記載されているタイプである。このラベルの裏面には、台帳2に対応する朱書きやスタンプの番号ではなく、台帳3の管理番号に対応する仮番号が表面と同じ筆跡と考えられる鉛筆で記載されており、1950年代に台帳3の管理をするために遡及して付与されたラベルであると推測される。また、表面に標本情報の記載がないものもあり、これらには裏面に台帳2に対応するスタンプ番号があるもの、台帳3に対応する鉛筆書きの仮番号が記載されているものがある。これらも遡及して付与されたものとみなすべきラベルである。そこで、現行台帳において、1913年から1916年という採集情報を持つ標本を抽出し、年次ごとにどの特徴のラベル5が付属しているかを図6に示した。一見して明らかなように、ペン書きによるラベル5は1914年までに利用が終了し、15年以降のラベル5は、台帳2、台帳3の整理時に遡及して付与されたラベルであることが示される。なお、この結果は現行台帳の採集年次に基づいており、3-2-5. で「4.10.11」や「5.10.11」という採集日情報を大正4（1915）年や5（1916）年ではなく、1911年とみなすべきとした標本は修正しておらず、これが修正されるならば、1915年および16年のペン書きラベルの標本割合はさらに低下することに

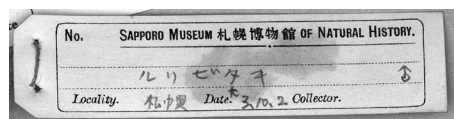


写真22 鉛筆書きで記載されたラベル5

なる。

以上の結果から、ラベル5に管理番号がないものであっても、標本情報がペン書きで記載されているものは1914年以前の採集標本とみなしうるのではないかと推測される。そこで、ペン書きのラベル5付属標本のうち、採集年次が未確定かつ番号記載がないものを抽出し、表17にまとめた。

表17のようにしてみると、ペン書きのラベル5付属標本には、欄外番号記載のある標本と同じく明治40年代、大正初期の標本であることが想定できるものと、「5/11 11」（シジウカラ【00320】など、写真23）や「24/12 10」（エゾライチョウ【01825】など）のように採集

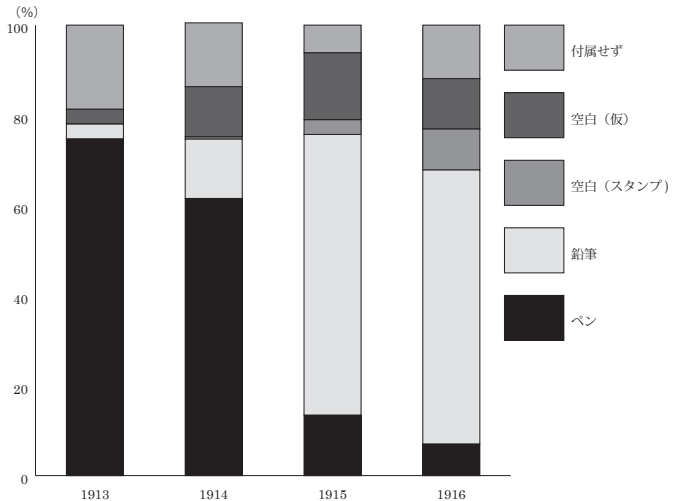


図6 大正初期採集標本に付属するラベル5の種類

年次と月日が分かれている記載を持つ、これまでに確認してきた標本群とは記載方法が異なる標本が多数含まれていることがわかる。また、採集年次が分かれてはいないものの、イスカ【02919】の「30/4/9」のように、欄外番号を持つ標本群が含まれると推測された明治末から大正3年までの年次とはみなしえない記載のある標本もある。つまり、単純に「ラベル5のペン書き」という区分のみをもって1914（大正3）年以前の採集標本であるとは評価できないことになる。シジウカラ【00320】に付属するラベルの「5/11 11」の採集日記載が、「11年11月5日」を示していることはまず間違いないが、これが「1911年」、「大正11年」、あるいは「明治11年」、「昭和11年」のいずれを示すのかについて明確になっていないため、現行台帳では年次未確定標本として扱われてきた。まず、この年次について確認する必要があるだろう。

表17に掲載されている標本のうち、アナツバメ【02116】⁽⁷⁾ およびチョウゲンボウ【08954】を除けば、図6で評価できたようにペン書きを用いたラベル5には1914年末からの断絶があることは間違いない。その後、1919（大正8）年9月11日と評価しうるトウネン【05452】

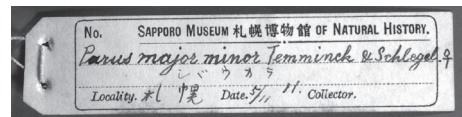


写真23 採集年次と月日を分けて記載するラベル5

以降から再びペン書きのラベル5付属標本が出現することになる。1919年以降採集標本のうち、採集年次を絞り込む上で参考となる採集者名の記載がある標本は、チュウシャクシギ【05271】（11/9/8採集）の「S. I.」、ミユビシギ【05659】（14/9 10採集）の「市川」、エリグロアジサシ【05232】（13/9 14採集）の「市川」、エリグロアジサシ【05233】（同前）の「犬飼」の4点である。「S. I.」および「市川」は市川申平と考えられ、「犬飼」は犬飼哲夫である。旧稿1の職員一覧において、市川申平の博物館就職を「北海道帝国大学一覧」の記載に基づいて1920（大正9）年としたが、旧稿3で示したように市川は1919（大正8）年7月に博物館事務取扱となり、翌年9月から雇（博物館勤務）となっている。市川が博物館で勤務し始めるようになった翌月にペン書きのラベル5の運用が再開したのは偶然ではなかろう。つまり、「ペン書き」で標本情報が記載されているラベル5のうち、欄外あるいはそれに類する番号を持たないものには、番号記載による仮管理から漏れたものと、1919年7月以降に市川申平によって整理されたものの両者が含まれており、採集情報を評価する上では、両方の可能性を念頭に置く必要があるのである。この結果に基づく採集年代を表17の修正欄に示した。なお、筆跡による分類は確実なものではないので、取扱いについては慎重になるべきではあるが、1914年以前のペン書きは黒か色褪せにともなう茶系のインクで、非常に細い文字で記入されているのに対し、1919年以降と考えられるペン書きは青系のやや太い文字で記入されているという傾向があることを特徴として提示することは可能である。

表17の例外としては、クマガラ【43764】（9.12.19）が挙げられる。「ペン書き」という区分では、大正9（1920）年採集標本とみなしうるが、採集者（入手者）欄に「犬飼先生」という記載がある。犬飼が教員として就職したのは、大正11（1922）年であり、このクマガラだけは「昭和9年」の入手標本と考える必要がある。

以上のように、ラベル5の欄外にある番号記載や、ラベルの標本情報がペン書きであるのか、あるいは鉛筆書きであるのかによって、ラベルの利用年代を振り分け、採集年次の絞り込みを行ってきた。しかし、この評価方法のみをもって採集年次を確定することは難しい部分がある。上述したように、明治末期から大正後期にかけては厳然とした整理が行われていたわけではなく、同一時期の採集・受入れ標本であっても欄外番号の有無にばらつきが生

じている。また、ペン書きの情報記載がある特定の日をもって終了したはずもないので、特定のルールによって年次を評価することは危険である。また、これまでにみた欄外番号や1910年代の複数のラベルによる標本管理に対応する台帳が現存しないこと、採集年次記載方法が一貫していないことから、マダラウミスズメ【05865】の記載採集日「2/8/4」のように、「大正2年8月4日」あるいは「大正4年8月2日」いずれとも理解することができる年月日記載についてはあいまいにならざるを得ないという問題も残されている。

総括と課題、今後の展望

本稿では、鳥類標本に付属するラベルを題材に、標本の採集年次の状況からラベルの利用年代を把握し、またラベルに記載されている管理番号の検討により、ラベル記載の採集年次をさらに絞り込み、現行台帳における採集年次記載の解釈を再検討してきた。厳密な解釈が難しいという部分は残しつつ、標本ラベルという博物館の管理ツールを主眼に置いた標本管理史の解明により、これまで採集年次を確定することができなかった相当数の標本について、ラベル記載の採集年次を確定・推定、あるいは台帳登録情報を修正する上での一応の根拠、基準というものを提示できたことを成果と考えている。

4回にわたって北大植物園・博物館に現存する鳥類標本管理台帳やカード、ラベルという標本管理ツールを対象に検討を行った。不十分な点は多々あるが、博物館のスタッフがどの時期にどのような形で管理を行ってきたのかという鳥類標本管理史の整理・検討を通して、標本に付属しているラベルの利用年代の把握、ラベルのどの番号がどの台帳に対応しているのか、という情報が整理され、標本から欠落した情報の復元や適切な理解をするための基盤整備はなされたものと自己評価している。しかしながら、「信頼できる標本情報の整備」という最終目的に照らしてみるならば、いまだ十分な検討を行ったとはいえない。旧稿と同様に、本稿においても、表の形で引用した現行台帳の標本情報が不十分・不適切である場合にはその都度適切と考えられる情報を提示してきたが、本稿を含めた一連の考察は標本管理の変遷という大枠を把握することに主眼を置いており、必ずしもすべての標本について採集情報の再検討を行ったわけではない。古い標本情報を持ちながら、最新の管理ラベルしか付属していない標本など、想定される全体のルールから外れる標本も多く存在している。これまでの検討では、検討対象となる個別の標本について、現存台帳における情報との対応関係やラベルの付属状況、ラベルの記載を確認してきたが、個々の標本が持つ情報を適切に把握するためには、1点1点の標本について、どのようなラベルが付属し、どのような記載があり、当該標本がどの台帳にどのように記載されているのか、また、過去にどのような研究に用いられてきたのか、という情報を総合的に整理する必要がある。これまでの検討で行ってきたような、個別のツールという大枠から標本を評価するのではなく、1点1点の標本を標本管理史の中に当てはめて、標本が所持している研究資源としての情報が適切に付属しているのかを検討しなければならないのである。

標本情報の修正は標本を利用する研究の評価の上でも大きな影響を及ぼすことになるので、その検討の内容、修正結果などを報告する形で進めてゆく必要がある。標本管理者である我々の次のステップとして、所蔵鳥類標本を分類群ごとに整理し、これまでに得られた情報と照合しながら標本情報を再検討してゆくことにしている。この報告は、北大植物園・博物館の正式な鳥類標本目録としての機能を持つことになると考えている。

本稿は、科学研究費補助金（若手研究（B））「札幌農学校所属博物館における標本管理の実態からみた近代博物館史」（課題番号18720159、研究期間2006-2008年度）の成果の一部である。

引用・参考文献

- 犬飼哲夫, 芳賀良一. 1953 : 北海道に於けるカラスの被害と防除の研究 [Ⅲ] 特にカラスの食性と農薬との関係, 北海道大學農学部邦文紀要, 1 (4) : 459-482
- 加藤克. 2004 : 札幌農学校所属博物館のアイヌ民族資料, 北大植物園研究紀要, 4 : 1-54
- 加藤克. 2008 : 北海道大学植物園所蔵アイヌ民族資料について : 歴史的背景を中心に, 北大植物園研究紀要, 8 : 35-91
- 加藤克. 2012a : ブラキストン「標本」史. 北海道大学出版会, 札幌
- 加藤克. 2012b : 標本ラベルからみた樺太動物調査鳥類標本について, 北大植物園研究紀要, 12 : 91-114
- 加藤克, 市川秀雄. 2001 : 折居彪二郎採集標本の歴史的検討, 北海道大学農学部博物館研究紀要, 1 : 1-18
- 加藤克, 市川秀雄. 2004 : 北大植物園・博物館所蔵アメリカ自然史博物館鳥類標本について, 北大植物園研究紀要, 4:65-75
- 加藤克, 市川秀雄, 高谷文仁. 2009 : 札幌農学校所属博物館における鳥類標本管理史（1）- 東京仮博物場から札幌農学校所属博物館初期まで -, 北大植物園研究紀要, 9 : 29-94
- 加藤克, 市川秀雄, 高谷文仁. 2010 : 札幌農学校所属博物館における鳥類標本管理史（2）- 明治期の札幌農学校所属博物館 -, 北大植物園研究紀要, 10 : 9-96
- 加藤克, 市川秀雄, 高谷文仁. 2012 : 札幌農学校所属博物館における鳥類標本管理史（3）- 大正～昭和期の博物館 -, 北大植物園研究紀要, 12 : 1-84
- 村田庄次郎. 1914 : 樺太動物調査報告. 樺太庁, 豊原（樺太）
- 関秀志. 1975 : 明治初期～中期における北海道の博物館 - 札幌を中心に -, 北海道開拓記念館研究年報, 4 : 47-65
- Marquis Yoshimaro Yamashina & Shinjiro Ikeda. 1935 : A List of Birds' Skin Belonging to Anatidae Kept in the University Museum, Trans. Sapporo Nat.Hist.Soc. 14 (1) : 57-67
- Marquis Yoshimaro Yamashina & Kozo Mukasa. 1934 : A List of Birds' Skin Belonging to the Order Accipitres Kept in the University Museum, Trans. Sapporo Nat.Hist.Soc. 13 (3) : 287-297

注

- (1) 正式名称は北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園。
- (2) 「採集日記」に採集年月日の記載がない事例は数多く、この標本に採集年次記載がないことをもって、標本管理の混乱を想定することには無理がある。
- (3) 台帳1では、管理番号「1766」「ワシカモメ」の採集情報が「33年11月3日、石狩」とありラベル4と合致する。一方「1767」「ワシカモメ」の採集情報が「33年11月11日、小樽内」とあり、オオセグロカモメ【09113】のラベル7の情報に合致する。「1767」に合致するワシカモメあるいはオオセグロカモメは現存標本に照合できるものはなく、ラベル間での入れ替わり、もしくはラベル記載での混乱があったのかもしれない。
- (4) 台帳1の採集日は「36年9月10日」、「採集日記」の採集日は「36年9月」と情報に揺らぎが見られることには注意しなければならない。
- (5) この時期に再発見された可能性を示唆する情報としては、1900年から始まる村田による所蔵標本を用いた北海道産鳥類に関する一連の紹介論文の執筆や「採集日記」に「三十四年三月類名変更」という記載があるように、標本管理の更新などにともなう調査が挙げられる。
- (6) 「採集日記」の記載から「中嶋九一郎」であることがわかる。
- (7) アナツバメ【02116】に付属するラベル5の裏面には「支那産 此の鳥は三宅農学士が該地にて永く飼養せしものにて巢は有名なる燕巢と云う同国人貴重食品なり」という注記があり、ラベル9では記載しきれない情報であったためラベル5が用いられた可能性がある。

表 1 採集年次の検討を要するラベル 7 付属標本一覧

グループ	HUNHM#	標本名	採集地	現行台帳採集日	ラベル記載採集日	修正 / 備考	ラベル裏数字
1-a	【39973】	クマゲラ	札幌	1869.01.11	二年一月十一日	> 1913.01.11	2963
1-b	【02212】	イソヒヨドリ	函館	1874.06.00	- (1)		-
1-c	【03288】	ヒヨドリ	札幌	1895.11.00	廿四年二月十四日 (抹消)		940
1-d	【39876】	イスカ	札幌	1897.01.02	大正三年十月十日 (2)	別標本ラベルカ	3096
1-e	【09113】	オオセグロカモメ	石狩	1900.11.03	卅三年十一月十一日 (3)	> 1900.11.11 カ	116
	【06751】	スズガモ	小樽内川	1900.11.11	卅三年十一月十一日		117
	【06682】	ミコアイサ	小樽内川	1900.11.11	卅三年十一月十一日		118
	【06680】	ミコアイサ	小樽内川	1900.11.11	卅三年十一月十一日		119
1-f	【09089】	ハシボソガラス	札幌	1901.03.30	卅四年三月三十日		*1941
1-g	【02073】	ハリオアマツバメ	札幌	1903.09.06	卅六年九月六日		*2066
1-h	【04609】	クマゲラ	札幌	1903.12.05	- (4)		-
1-i	【01650】	オオルリ	札幌	1909.05.12	四十年五月十二日	> 1907.05.12	464
	【06512】	カワセミ	札幌	1907.08.01	四十年 8 月一日<ママ>		-
	【06468】	ニューナイスズメ	札幌	1908.06.12	四十一年六月十二日		535
	【04475】	エゾコゲラ	札幌	1908.09.10	四一年九月 10 日<ママ>		39
	【02638】	シメ	円山村	1908.11.28	四十一年十一月廿八日		526
	【02641】	シメ	円山	1908.11.28	四十一年十一月廿八日		255 < 525 カ>
	【02692】	シメ	円山	1908.11.28	四十一年十一月廿八日		527
	【05872】	マダラウミスズメ	札幌	1909.02.10	四十二年二月十日		767
	【06228】	ホオジロ	札幌	1909.09.20	四十二年九月廿日		293
	【06230】	ホオジロ	札幌	1909.09.26	四十二年九月廿六日		546
	【00500】	ハシブトガラ	札幌	1909.10.13	四十二年十月十三日		768
	【00349】	キクイタダキ	札幌	1909.11.10	四十二年十一月十日		399
	【00378】	ヒガラ	札幌	1909.11.20	四十二年十一月廿日		-
	【00369】	ヒガラ	札幌	1909.11.23	四十二年十一月廿三日		600
	【06244】	ホオアカ	札幌	1910.05.00	四十三年五月 日		-
	【01750】	コヨシキリ	札幌	1910.08.25	四十三年八月廿五日		294
	【01332】	メボソムシクイ	札幌	1910.10.20	四十三年十月二十日		587
	【01347】	センダイムシクイ	札幌	1910.10.20	四十三年十月廿日		588
	【02805】	ウソ	札幌	1910.11.15	四十三年十一月十五日		563
	【02808】	ウソ	札幌	1910.11.15	四十三年十一月十五日		565
	【02881】	ウソ	札幌	1910.11.15	四十三年十一月十五日		547
	【02891】	ウソ	札幌	1910.11.15	四十三年十一月十五日		564
	【02913】	ウソ	札幌	1911.03.05	四十四年三月五日		534
	【06394】	キバシリ	札幌	1911.03.17	四十四年三月十七日		609
	【06074】	アオジ	札幌	1911.05.09	四十四年五月九日		560
	【06108】	アオジ	札幌	1911.05.09	四十四年五月九日		561
	【02370】	カワラヒワ	札幌	1911.05.15	四十四年五月十五日		343
	【02810】	ウソ	札幌	1911.09.02	四十四年九月二日		749
	【00663】	ハクセキレイ	札幌	1911.09.20	四十四年九月廿日		344
	【02813】	ウソ	札幌	1911.10.10	四十四年十月十日		751
	【00256】	シジュウカラ	札幌	1912.01.28	四十五年一月二八日		41
	【02191】	ノビタキ	札幌	1912.05.10	大正元年五月十日		754
	【02369】	カワラヒワ	札幌	1912.05.10	元年五月十日		346
	【02585】	ハギマシコ	札幌	1912.04.27	元年四月廿七日		-
	【00700】	セグロセキレイ	札幌	1912.08.01	元年八月一日		-
	【01805】	ヒクイナ	札幌	1912.08.11	一年八月十一日		764
	【00421】	ヤマガラ	札幌	1912.09.12	元年九月十二日		-
	【08078】	オオモズ	札幌	1912.09.12	元年九月十二日		-
	【39995】	シロハラ	札幌	1912.09.14	元年九月十四日		-
	【01111】	キジバト	札幌	1912.09.18	元年九月十八日		755
	【00887】	ゴジュウカラ	札幌	1912.09.23	元年九月廿三日		-
	【00888】	ゴジュウカラ	札幌	1912.09.23	元年九月廿三日		-
	【01802】	クイナ	札幌	1912.09.25	一年九月廿五日		765
	【08196】	クロツグミ	札幌	1912.09.27	一年九月廿七日		-
	【39994】	クロツグミ	札幌	1912.04.27	元年九月廿七日	> 1912.09.27	-
	【08108】	スズメ	札幌	1912.10.01	元年十月一日		-
	【02011】	ルリビタキ	札幌	1912.10.06	元年十月六日		347
	【00424】	ヤマガラ	札幌	1912.10.10	元年十月十日		348
	【02058】	ルリビタキ	札幌	1912.10.20	元年十月廿日		-
	【08155】	シメ	札幌	1912.11.01	元年十一月一日		-
	【08157】	シメ	札幌	1912.11.02	元年十一月二日		-
	【08144】	ヤマゲラ	札幌	1912.11.07	元年十一月七日		-
	【09045】	ヤマゲラ	札幌	1911.11.07	元年十一月七日	> 1912.11.07	-
	【09044】	エゾオオアカゲラ	札幌	1911.11.10	元年十一月十日	> 1912.11.10	-
	【39879】	キバシリ	札幌	1912.11.22	元年十一月廿二日		-
	【08090】	ミヤマカケス	札幌	1912. 00.20	元年■月廿日		-
	【00584】	シマエナガ	札幌	1913.03.10	大正二年三月十日		3019
	【13304】	ダイサギ	-	1913.05.00	大正二年五月		3045

グループ	HUNHM#	標本名	採集地	現行台帳採集日	ラベル記載採集日	修正 / 備考	ラベル裏数字
1-i	【06600】	マガモ	札幌	1913.05.01	大正二年五月一日		2964 <抹消>
	【06596】	アカツクシガモ	札幌	1913.05.01	大正二年五月一日		2965 <抹消>
	【06605】	マガモ	札幌	1913.05.01	大正二年五月一日		2966 <抹消>
	【06599】	マガモ	札幌	1913.05.01	大正二年五月一日		2967 <抹消>
	【02210】	ノビタキ	札幌	1913.05.07	大正二年五月七日		789
	【05342】	オオジシギ	札幌	1913.08.20	大正二年八月二十日		443
	【13170】	ケープベンギン	南極	1913.12.05	大正二年十二月五日		2952
	【09205】	エゾライチョウ	札幌	1914.02.12	大正三年二月十二日		2960
	【08982】	ハイタカ	-	1914.02.16	大正三年二月十六日		3033
	【08193】	セグロセキレイ	札幌	1914.02.26	大正三年二月廿六日		3018
	【05929】	エゾフクロウ	札幌	1914.00.00	大正三年四月一日	> 1914.04.01	3091
	【07412】	ウソ	札幌	1914.04.15	大正三年四月十五日		3039
	【09393】	ツグミ	札幌	1914.05.14	大正三年五月十四日		3015
	【04416】	アリスイ	札幌	1914.06.02	大正三年六月二日		3010
	【09261】	ムギマキ	札幌	1914.09.12	大正三年九月十二日		3012
	【39873】	コルリ	札幌	1914.09.20	大正三年九月廿日		3021
	【08121】	アオジ	札幌	1914.10.01	三年十月一日		3033
	【07397】	イスカ	札幌	1914.10.10	大正三年十月十日		3093
	【07398】	イスカ	札幌	1914.10.10	大正三年十月十日		3094
	【39947】	イスカ	札幌	1914.10.10	大正三年十月十日		3095
	【07399】	イスカ	札幌	1914.10.10	大正三年十月十日		3099
	【07406】	ヤマガラ	札幌	1914.11.19	大正三年十一月十九日		3025
	【09042】	シメ	札幌	1914.11.28	大正三年十一月廿八日		3038
	【07404】	アトリ	札幌	1914.11.28	大正三年十一月廿八日		3040
	【02459】	マヒワ	札幌	1914.11.28	大正三年十一月廿八日		3041
	【07405】	アトリ	札幌	1914.11.28	大正三年十一月廿八日		3042
	【07544】	オオマシコ	札幌	1914.11.28	大正三年十一月廿八日		3043
	【07523】	オオマシコ	札幌	1914.11.28	大正三年十一月廿八日		3044
	【01397】	ウグイス	札幌	1915.10.00	大正四年十月		-
	【05875】	ウミスズメ	後志忍路	1916.01.06	大正五年一月六日		-
	【05748】	エゾライチョウ	札幌	1916.04.00	大正五年四月		-
	【07671】	エゾライチョウ	札幌	1916.04.00	大正五年四月		-
	【09249】	ミヤマカケス	札幌	1916.04.00	大正五年四月		-
	【09364】	アカゲラ	札幌	1916.04.00	大正五年四月		-
1-j	【02077】	ハリオアマツバメ	札幌	1925.05.10	十四年五月十日	> 1881.05.10 カ	24
	【02192】	ノビタキ	札幌	1925.06.10	十四年六月十日	> 1881.06.10 カ	67
1-k	【01095】	ムクドリ	札幌園内	1952.05.16	27 年 5 月 16 日		-

「グループ」は本文で検討する際のグループ分け、「HUNHM#」は現在の標本番号である。「修正 / 備考」欄は、現行台帳の採集年次が修正を要すると考えられた場合に修正すべきと考えられる情報を記載した。「ラベル裏数字」にある「*」は、当該番号が台帳1の管理番号と対応することを示す。

表1 注

- (1)：ラベル3に「7-6」の採集日記載あり。本文参照。
- (2)：ラベル1に「明治 30.1.2」の採集日記載あり。本文参照。
- (3)：ラベル4に「33 年 11 月 3 日」の採集日記載あり。
- (4)：ラベル4に「36 年 12 月 5 日」の採集日記載あり。

表2 ラベル7に「26 年」および「27 年」の記載を持つ標本一覧

HUNHM#	標本名	現行台帳採集日	修正	HUNHM#	標本名	現行台帳採集日	修正
【07627】	ハシブトガラス	26 年 2 月	> 1951.02.00	【07620】	ハシブトガラス	27 年 2 月 16 日	> 1952.02.16
【07603】	ハシブトガラス	26 年 3 月	> 1951.03.00	【07667】	ハシボソガラス	27 年 2 月 16 日	> 1952.02.16
【07605】	ハシブトガラス	26 年 3 月 13 日	> 1951.03.13	【07664】	ハシボソガラス	27 年 4 月 21 日	> 1952.04.21
【07637】	ハシボソガラス	26 年 3 月 25 日	> 1951.03.25	【07650】	ハシボソガラス	27 年 4 月 24 日	> 1952.04.24
【07638】	ハシボソガラス	26 年 3 月 25 日	> 1951.03.25	【07661】	ハシボソガラス	27 年 4 月 24 日	> 1952.04.24
【07644】	ハシボソガラス	26 年 3 月 25 日	> 1951.03.25	【07640】	ハシボソガラス	27 年 5 月 29 日	> 1952.05.29
【07635】	ハシブトガラス	26 年 10 月 3 日	> 1951.10.03	【07634】	ハシブトガラス	27 年 7 月 5 日	> 1952.07.05
【07643】	ハシボソガラス	26 年 10 月 3 日	> 1951.10.03	【07648】	ハシボソガラス	27 年 7 月 5 日	> 1952.07.05
【07660】	ハシボソガラス	26 年 10 月 3 日	> 1951.10.03	【07622】	ハシブトガラス	27 年 7 月 18 日	> 1952.07.18
【07666】	ハシボソガラス	26 年 10 月 5 日	> 1951.10.05	【07602】	ハシブトガラス	27 年 7 月 28 日	> 1952.07.28
【07624】	ハシブトガラス	26 年 11 月 2 日	> 1951.11.02	【07656】	ハシボソガラス	27 年 7 月 28 日	> 1952.07.28
【07615】	ハシブトガラス	26 年 11 月 8 日	> 1951.11.08	【07662】	ハシボソガラス	27 年 7 月 28 日	> 1952.07.28
【07619】	ハシブトガラス	26 年 11 月 8 日	> 1951.11.08	【07651】	ハシボソガラス	27 年 9 月 2 日	> 1952.09.02
【07611】	ハシブトガラス	27 年 1 月 31 日	> 1952.01.31	【07649】	ハシボソガラス	27 年 9 月 6 日	> 1952.09.06
【07663】	ハシボソガラス	27 年 1 月 31 日	> 1952.01.31				
【07621】	ハシブトガラス	27 年 2 月 6 日	> 1952.02.06				
【07580】	ハシブトガラス	27 年 2 月 16 日	> 1952.02.16				
【07582】	ハシブトガラス	27 年 2 月 16 日	> 1952.02.16				
【07599】	ハシブトガラス	27 年 2 月 16 日	> 1952.02.16				

表 3 採集年次の検討を要するラベル 8 付属標本一覧

グループ	HUNHM#	標本名	採集地	現行台帳採集日	ラベル記載採集日	修正
3-a	【00951】	モズ	石狩札幌	1881.05.12	明治 14 年 5 月 12 日	
	【04453】	エゾコゲラ	樺太軍川村	1894.03.02	27/3/2	> 1913.03.27
3-b	【04481】	エゾコゲラ	樺太軍川村	1894.03.02	27/3/2	> 1913.03.27
	【04472】	エゾコゲラ	樺太軍川村	1897.03.02	30/3/2	> 1913.03.30
3-c	【04428】	コアカゲラ	石狩札幌	1895.07.18	明治 28 年 7 月 18 日	
	【03731】	ウソ	石狩札幌	1900.03.00	明治 33 年 3 月	
3-d	【01576】	クロツグミ	石狩札幌	1901.10.10	明治 38 年 10 月 10 日	
3-e	【05100】	ヒバリ	札幌	1903.04.04	明治 37 年 4 月 4 日	
	【00979】	モズ	札幌	1908.04.02	明治 41 年 4 月 2 日	
3-f	【04450】	エゾコゲラ	札幌	1908.04.02	明治 41 年 4 月 2 日	
	【04451】	エゾコゲラ	札幌	1908.04.02	明治 41 年 4 月 2 日	
3-g	【02597】	ハギマシコ	琴似村	1910.02.06	明治四三年二月六日	
	【04461】	エゾコゲラ	樺太軍川村	1912.03.26	26/3/2	> 1913.03.26
3-h	【04469】	エゾコゲラ	樺太軍川村	1912.03.27	27/3/2	> 1913.03.27
	【06045】	ユキホオジロ	樺太軍川村	1913.00.00	二年	
	【06053】	ユキホオジロ	樺太軍川村	1913.00.00	大正二	
	【06069】	ユキホオジロ	樺太軍川村	1913.00.00	大正二	
	【02335】	シラガホオジロ	樺太軍川村	1913.04.02	2/4/2	
	【06415】	キバシリ	札幌	1914.03.12	大 3.3.12	
3-i	【00391】	ヤマガラ	札幌	1914.04.02	大 3.4.2	
3-j	【05936】	エゾフクロウ	-	1953.01.07	明治 38 年 2 月 9 日	

表 4 ラベル 8 が付属する採集年次未確定、樺太軍川採集標本

HUNHM#	標本名	採集地	現行台帳採集日	ラベル記載採集日	修正
【02438】	マヒワ	樺太軍川村	2 年	二年	
【02456】	マヒワ	樺太軍川村	2 年	二年	
【02332】	シラガホオジロ	樺太軍川村	2/4/2	2/4/2	> 1913.04.02
【02760】	ベニヒワ	樺太軍川村	20/3/29	20/3/29 <20 → 2 もしくは 29 → 2 カ>	> 1913.03.20 カ
【02739】	ベニヒワ	樺太軍川村	27/3/2	27/3/2	> 1913.03.27
【02743】	ベニヒワ	樺太軍川村	27/3/2	27/3/2	> 1913.03.27
【02744】	ベニヒワ	樺太軍川村	27/3/2	27/3/2	> 1913.03.27
【02745】	ベニヒワ	樺太軍川村	27/3/2	27/3/2	> 1913.03.27
【02759】	ベニヒワ	樺太軍川村	27/3/2	27/3/2	> 1913.03.27
【02762】	ベニヒワ	樺太軍川村	27/3/2	27/3/2	> 1913.03.27
【02763】	ベニヒワ	樺太軍川村	27/3/2	27/3/2	> 1913.03.27
【02764】	ベニヒワ	樺太軍川村	27/3/2	27/3/2	> 1913.03.27
【02766】	ベニヒワ	樺太軍川村	27/3/2	27/3/2	> 1913.03.27
【02771】	ベニヒワ	樺太軍川村	27/3/2	27/3/2	> 1913.03.27
【02772】	ベニヒワ	樺太軍川村	27/3/2	27/3/2	> 1913.03.27
【02773】	ベニヒワ	樺太軍川村	27/3/2	27/3/2	> 1913.03.27
【02747】	ベニヒワ	樺太軍川村	29/3/2	29/3/2	> 1913.03.29
【01763】	コヨシキリ	樺太軍川村	15.6.2	15/6/2	> 1913.06.15
【02487】	マヒワ	樺太軍川村	-	-	
【02531】	マヒワ	樺太軍川村	-	-	

表 5 採集年次の検討を要するラベル 9 付属標本一覧

HUNHM#	標本名	採集地	現行台帳採集日	ラベル記載採集日	修正
【01086】	ムクドリ	札幌	1887.07.06	大正四年八月十一日	> 要検討
【06612】	マガモ	欧州	1912.08.00	大正三年八月	> 1914.08.00 (受入)
【02381】	カワラヒワ	夕張	1920.05.05	大正六年五月五日	> 1917.05.05
【04574】	オオアカゲラ	-	1920.12.09	大正六年三月九日 (1)	> 1917.03.09
【05545】	タカブシギ	-	1925.05.12	大正三年八月 (2)	> 1912.05.23、1914.08.00 (受入)
【05546】	タカブシギ	-	1925.05.12	大正三年八月 (3)	> 1912.05.25、1914.08.00 (受入)

表 5 注

- (1)：ラベル 5 に「大 6.12.9」の採集日記載あり。
(2)：コレクターラベルに「23-V-12」の採集日記載あり。
(3)：コレクターラベルに「25-V-12」の採集日記載あり。

表 6 採集年次未確定のラベル 9 付属標本一覧

HUNHM#	標本名	採集地	現行台帳採集日	ラベル記載採集日	修正
【00454】	ハシブトガラ	札幌	2 X1 3	2 X1 3 (抹消)	> -
【09372】	イスカ	札幌	6 年 2 月	六年二月	> 1917.02.00
【04513】	エゾアカゲラ	千歳	6.3.0	六年三月	> 1917.03.00
【00317】	シジュウカラ	札幌	7.3.2	七年三月二日	> 1918.03.02
【05188】	アカショウビン	-	8.9.10	八年九月十日	> 1919.09.10
【05452】	トウネン	銭函	8.9.11	八年九月十一日	> 1919.09.11

表7 ラベル8 記載番号

ラベル記載番号	HUNHM#	標本名	採集地	現行台帳採集日	ラベル記載採集日	修正
*46	【00951】	モズ	石狩札幌	1881.05.12	明治 14 年 5 月 12 日	
*75	【04427】	コアカゲラ	石狩厚別	1906.03.11	明治 39 年 3 月 11 日	
*170	【43831】	シラガホオジロ	石狩札幌	-	-	
*283	【04428】	コアカゲラ	石狩札幌	1895.07.18	明治 28 年 7 月 18 日	
*289	【03731】	ウソ	石狩札幌	1900.03.00	明治 33 年 3 月 日	
*441	【07777】	カッコウ	石狩札幌	1905.09.17	明治 38 年 9 月 17 日	
*443	【01068】	コムクドリ	石狩	1905.09.18	明治 38 年 9 月 18 日	
448	【05094】	オオジュリン	札幌	1905.04.12	明治 38 年 4 月 12 日	
449	【00966】	モズ	石狩札幌	1905.05.10	明治 38 年 5 月 10 日	
450	【04433】	コアカゲラ	石狩札幌	1905.02.20	明治 38 年 2 月 20 日	
*451	【06297】	ヒバリ	石狩札幌	1905.04.20	明治 38 年 4 月 20 日	
452	【05906】	ウトウ	樽川	1905.04.10	明治 38 年 4 月 10 日	
453	【00967】	モズ	石狩花川	1905.08.15	明治 38 年 8 月 15 日	
454	【00959】	モズ	石狩花川	1905.08.15	明治 38 年 8 月 15 日	
455	【00947】	モズ	石狩花川	1905.08.15	明治 38 年 8 月 15 日	
456	【00980】	モズ	石狩花川	1905.08.15	明治 38 年 8 月 15 日	
457	【00960】	モズ	石狩花川	1905.08.15	明治 38 年 8 月 15 日	
458	【00975】	モズ	石狩花川	1905.08.15	明治 38 年 8 月 15 日	
*468	【05936】	エゾフクロウ	-	1953.01.07	明治 38 年 2 月 9 日	> 1905.02.09
*469	【05927】	エゾフクロウ	札幌	1905.10.20	明治 38 年 10 月 20 日	
475	【01550】	アカハラ	石狩札幌	1905.10.09	明治 38 年 10 月 9 日	
477	【01604】	クロツグミ	石狩札幌	1905.10.09	明治 38 年 10 月 9 日	
*506	【02246】	ツグミ	石狩札幌	1905.09.30	明治 38 年 9 月 30 日	
515	【01576】	クロツグミ	石狩札幌	1901.10.10	明治 38 年 10 月 10 日	> 1905.10.10
*526	【02230】	マミチャジナイ	石狩札幌	1905.09.30	明治 38 年 9 月 30 日	
*527	【07392】	マミチャジナイ	石狩札幌	1905.09.30	明治 38 年 9 月 30 日	
530	【02219】	マミチャジナイ	石狩札幌	1905.10.09	明治 38 年 10 月 9 日	
*531	【02220】	マミチャジナイ	石狩札幌	1905.10.14	明治 38 年 10 月 14 日	
532	【02216】	マミチャジナイ	石狩札幌	1905.10.14	明治 38 年 10 月 14 日	
533	【07395】	マミチャジナイ	石狩札幌	1905.10.20	明治 38 年 10 月 20 日	
*534	【02218】	マミチャジナイ	石狩札幌	1905.10.20	明治 38 年 10 月 20 日	
*535	【02259】	ツグミ	石狩札幌	1905.11.10	明治 38 年 11 月 10 日	
536	【02266】	ツグミ	石狩札幌	1905.11.10	明治 38 年 11 月 10 日	
547	【00414】	ヤマガラ	札幌	1905.10.30	明治 38 年 10 月 30 日	
*548	【00415】	ヤマガラ	札幌	1905.11.07	明治 38 年 11 月 7 日	
*561	【02911】	ウソ	石狩札幌	1905.11.27	明治 38 年 11 月 27 日	
562	【02792】	ウソ	石狩札幌	1905.11.27	明治 38 年 11 月 27 日	
*570	【02912】	ウソ	石狩札幌	1905.11.30	明治 38 年 11 月 30 日	
*571	【02916】	ウソ	石狩札幌	1905.05.20	明治 38 年 5 月 20 日	
*628	【00969】	モズ	石狩	1905.10.26	明治 38 年 10 月 26 日	
*638	【02125】	ミソサザイ	石狩札幌	1905.11.10	明治 38 年 11 月 10 日	
*639	【02144】	ミソサザイ	石狩札幌	1905.12.03	明治 38 年 12 月 3 日	
640	【06277】	ヒバリ	石狩札幌	1905.09.16	明治 38 年 9 月 16 日	
*645	【00212】	シジュウカラ	札幌	1905.10.16	明治 38 年 10 月 16 日	
660	【00582】	シマエナガ	札幌	1905.10.30	明治 38 年 10 月 30 日	
661	【00549】	シマエナガ	札幌	1905.10.03	明治 38 年 10 月 30 日	
663	【02006】	ルリビタキ	石狩札幌	1905.11.08	明治 38 年 11 月 8 日	
*664	【00443】	ハシブトガラ	札幌	1905.10.20	明治 38 年 10 月 20 日	
*665	【00452】	ハシブトガラ	札幌	1905.10.20	明治 38 年 10 月 20 日	
*667	【01257】	キビタキ	札幌	1905.10.14	明治 38 年 10 月 14 日	
*668	【01264】	キビタキ	札幌	1905.10.14	明治 38 年 10 月 14 日	
*670	【01248】	キビタキ	札幌	1905.10.29	明治 38 年 10 月 29 日	
671	【01413】	ウグイス	石狩札幌	1905.10.07	明治 38 年 10 月 7 日	
672	【01402】	ウグイス	石狩札幌	1905.10.26	明治 38 年 10 月 26 日	
674	【01698】	ムギマキ	石狩札幌	1905.09.26	明治 38 年 9 月 26 日	
*688	【00581】	シマエナガ	札幌	1905.11.06	明治 38 年 11 月 6 日	
*691	【02567】	ベニマシコ	札幌円山	1905.10.05	明治 38 年 10 月 5 日	
*703	【01989】	ルリビタキ	石狩札幌	1905.11.07	明治 38 年 11 月 7 日	
*705	【00955】	モズ	石狩	1905.10.21	明治 38 年 10 月 21 日	
*707	【06283】	ヒバリ	石狩	1905.10.05	明治 38 年 10 月 5 日	
708	【05100】	ヒバリ	札幌	1903.04.04	明治 37 年 4 月 4 日	> 1904.04.04
*712	【02117】	ミソサザイ	石狩札幌	1905.11.10	明治 38 年 11 月 10 日	
714	【00442】	ハシブトガラ	札幌	1906.04.16	明治 39 年 4 月 16 日	
715	【00483】	ハシブトガラ	札幌	1906.04.10	明治 39 年 4 月 10 日	
717	【00455】	ハシブトガラ	札幌	1906.04.10	明治 39 年 4 月 10 日	
718	【00437】	ハシブトガラ	札幌	1906.04.10	明治 39 年 4 月 10 日	
719	【00274】	シジュウカラ	札幌	1906.04.10	明治 39 年 4 月 10 日	
720	【00313】	シジュウカラ	札幌	1906.04.10	明治 39 年 4 月 10 日	
721	【02844】	ウソ	札幌	1906.04.10	明治 39 年 4 月 10 日	

ラベル記載番号	HUNHM#	標本名	採集地	現行台帳採集日	ラベル記載採集日	修正
722	【02832】	ウソ	札幌	1906.04.10	明治 39 年 4 月 10 日	
724	【00484】	ハシブトガラ	札幌	1906.04.11	明治 39 年 4 月 11 日	
725	【00451】	ハシブトガラ	札幌	1906.04.11	明治 39 年 4 月 11 日	
*726	【00456】	ハシブトガラ	札幌	1906.04.11	明治 39 年 4 月 11 日	
*727	【00499】	ハシブトガラ	札幌	1906.04.11	明治 39 年 4 月 11 日	
735	【00544】	シマエナガ	札幌	1906.04.13	明治 39 年 4 月 13 日	
736	【47896】	シマエナガ	札幌	1906.04.13	明治 39 年 4 月 13 日	
737	【00511】	シマエナガ	札幌	1906.04.13	明治 39 年 4 月 13 日	
*738	【00569】	シマエナガ	札幌	1906.04.13	明治 39 年 4 月 13 日	
739	【00543】	シマエナガ	札幌	1906.04.13	明治 39 年 4 月 13 日	
745	【02811】	ウソ	札幌	1906.04.28	明治 39 年 4 月 28 日	
*746	【02728】	アトリ	札幌	1906.04.27	明治 39 年 4 月 27 日	
*748	【00830】	ゴジュウカラ	札幌	1906.04.27	明治 39 年 4 月 27 日	
756	【04431】	コアカゲラ	石狩厚別	1906.03.11	明治 39 年 3 月 11 日	
761	【02998】	イスカ	札幌	1906.03.07	明治 39 年 3 月 7 日	
*762	【47884】	オオルリ	札幌	1906.08.07	明治 39 年 3 月 7 日	
*763	【02133】	ミソサザイ	石狩札幌	1906.03.07	明治 39 年 3 月 7 日	
*763	【04426】	コアカゲラ	石狩札幌	1906.03.07	明治 39 年 3 月 7 日	
764	【00566】	シマエナガ	札幌	1906.03.07	明治 39 年 3 月 7 日	
*769	【04578】	エゾオオアカゲラ	札幌	1905.12.04	明治 38 年 12 月 4 日	

「ラベル記載番号」欄の数字に「*」を付与したものは、後述する他のラベルに記載されている番号と重複していることを示す。

表 8 ラベル 8 記載番号

ラベル記載番号	ラベル種類	HUNHM#	標本名	採集地	現行台帳採集日	ラベル記載採集日	修正 / 備考
2926	5	【08919】	オオワシ	石狩江別	1.11.30	1.11.30	> 1912.11.30 カ
2927	5	【05946】	シロフクロウ	石狩江別	1879.03.15	12/3/15	> 1912.03.15 カ
2928	5	【04632】	クマガエラ	樺太軍川	0.10.0	/10/	
2932	5	【01213】	アカオカケス	樺太軍川	1910.10.02	43/10/2	
2933	5	【01204】	アカオカケス	樺太軍川	1910.10.02	43/10/2	
2935	5	【00986】	オオモズ	樺太軍川	1892.10.01	25/10/1	> 1912.10.25
2936	5	【00987】	オオモズ	樺太軍川	1892.10.01	25/10/1	> 1912.10.25
2937	5	【02617】	ギンザンマシコ	樺太軍川	1887.12.01	20/12/1	> 1912.12.20
2938	5	【02624】	ギンザンマシコ	樺太軍川	1887.12.01	20/12/1	> 1912.12.20
2940	5	【06055】	ユキホオジロ	樺太軍川村	1912.11.19	19/11/1	
2941	5	【06048】	ユキホオジロ	樺太軍川村	1912.11.19	19/11/1	
2942	5	【06059】	ユキホオジロ	樺太軍川村	1912.11.10	10/11/1	
2944	5	【06009】	オナガフクロウ	樺太軍川	1911.06.30	44.6.30	
2952	7	【13170】	ケーブペンギン	南極	1913.12.05	大正二年十二月五日	
2960	7	【09205】	エゾライチョウ	札幌	1914.02.12	大正三年二月十二日	
*2964	5	【02907】	ウソ	札幌	1914.01.23	大 3.1.23	
*2964	7 <抹消>	【06600】	マガモ	札幌	1913.05.01	大正二年五月一日	
2965	7 <抹消>	【06596】	アカツクシガモ	札幌	1913.05.01	大正二年五月一日	
2966	7 <抹消>	【06605】	マガモ	札幌	1913.05.01	大正二年五月一日	
2967	7 <抹消>	【06599】	マガモ	札幌	1913.05.01	大正二年五月一日	
2968	5	【02894】	ウソ	札幌	1914.01.23	大 3.1.23	
2970	5	【02831】	ウソ	札幌	1914.01.23	大 3.1.23	
2971	5	【02879】	ウソ	札幌	1913.12.01	大 2.12.1	
2972	5	【02882】	ウソ	札幌	1914.01.30	大 3.1.30	
2973	5	【02866】	ウソ	札幌	2.12.26	212.26	> 1913.12.26
2974	5	【02809】	ウソ	札幌	1914.02.10	大 3.2.10	
2975	5	【06437】	オオマシコ	札幌	1914.03.13	大 3.3.13	
2976	5	【06441】	オオマシコ	札幌	1914.04.20	大 3.3.13	
2977	5	【02528】	マヒワ	札幌	1914.02.02	大 3.2.2	
2978	5	【02436】	マヒワ	札幌	1914.04.26	大 3.4.26	
2979	5	【02441】	マヒワ	札幌	1914.02.02	大 3.2.2	
2980	5	【02447】	マヒワ	札幌	1914.12.03	大 3.12.3	
2981	5	【02453】	マヒワ	札幌	1913.11.08	2.11.8	
2982	5	【02538】	マヒワ	札幌	1914.12.03	大 3.12.3	
2983	5	【01785】	バン	札幌	3.2.16	3.2.16< 抹消 >	> 削除
2985	5	【01404】	ウグイス	札幌	1.6.10	1.6.10	> 1912.06.10
2986	5	【00252】	シジュウカラ	札幌	1914.01.23	大 3.1.23	
2987	5	【00498】	ハシブトガラ	札幌	1912.02.03	大 3.1.23	> 1914.01.23 (大 3 を大正と誤読)
2988	8 類似	【00551】	シマエナガ	札幌	1914.03.16	大正 3 3.16	
2989	5	【01244】	キビタキ	札幌	2/10/9	2/10/9	> 1913.10.09
2990	5	【00798】	ゴジュウカラ	札幌	2 1/5.	2115	> 1913.11.05 or 1913.01.15 カ
2991	5	【01260】	キビタキ	札幌	1912.10.02	2/10/1	
2992	5	【00826】	ゴジュウカラ	札幌	2114	211 4	> 1913.11.04 or 1913.01.14 カ
2993	8 類似	【01380】	エゾムシクイ	札幌	1914.01.02	大 3.1.2	

ラベル記載番号	ラベル種類	HUNHM#	標本名	採集地	現行台帳採集日	ラベル記載採集日	修正 / 備考
2994	5	【00214】	シジュウカラ	札幌	1914.01.23	大 3 123	
2995	5	【00264】	シジュウカラ	札幌	1914.02.16	大 3 216	
2997	5	【00694】	セグロセキレイ	札幌	1914.02.12	大 3.212	
2999	5	【00304】	シジュウカラ	札幌	1914.01.23	大 3 1.23	
3000	5	【00282】	シジュウカラ	札幌	1914.02.16	大 3 216	
3002	5	【00834】	ゴジュウカラ	札幌	21126	21126	> 1913.11.26 カ
3003	5	【01942】	ノゴマ	札幌	1913.10.20	大 2/10/20	
3004	5	【01433】	ウグイス	札幌円山	1920.10.02	2/10/9	> 1913.10.09
3006	5	【02147】	ヨタカ	札幌	-	-	
3008	5	【02629】	イカル	札幌	2116?	2116	> 1913.01.16 or 1913.11.06 カ
3009	5	【02653】	シメ	札幌	2.1.23	2.1.23	> 1913.01.23 カ
*3010	5	【02639】	シメ	札幌	2/16?	2116	> 1913.01.16 or 1913.11.06 カ
*3010	7	【04416】	アリスイ	札幌	1914.06.02	大正三年六月二日	
3011	5	【02483】	マヒワ	札幌	1914.02.02	< 大 > 3.2.2	
3012	7	【09261】	ムギマキ	-	1914.09.12	大正三年九月十二日	
3013	5	【02452】	マヒワ	札幌	1914.12.03	< 大 > 3.12.3	
3014	5	【02435】	マヒワ	札幌	1914.02.02	< 大 > 3.2.2	
*3015	5	【02510】	マヒワ	札幌	1914.02.02	< 大 > 3.2.2	
*3015	7	【09393】	ツグミ	-	1914.05.14	大正三 五月十四日	
3016	5	【02527】	マヒワ	札幌	1914.02.02	< 大 > 3.2.2	
3017	8 類似	【02542】	マヒワ	-	1914.02.26	大 3.2.26	
3018	7	【08193】	セグロセキレイ	-	1914.02.26	大正三年二月廿六日	

「ラベル記載番号」欄の数字に「*」を付与したものは、表中で重複する番号が存在していることを示す。「ラベル種類」欄は、当該番号があるラベルの番号を示す。「8 類似」はラベル 8 に似ているが、採集年月日などの印字がない白紙のラベルである。

表 9 ラベル 5 番号欄に 1-2 桁の番号記載を持つ標本一覧（抹消されていないもの）

ラベル記載番号	抹消番号	欄外番号	台帳 1 対応	HUNHM#	標本名	採集地	現行台帳採集日	ラベル記載採集日	修正
1				【01533】	アカハラ	札幌	-	-	
2				【01563】	アカハラ	札幌	-	-	
4		656 /622 (抹消)		【01935】	ノゴマ	札幌	1905.10.10	10/10/38	
5		630		【01991】	ルリビタキ	札幌	1905.10.23	23/10/38	
7				【02206】	ノビタキ	札幌	1907.07.10	10/7/40	
8				【01286】	キビタキ	札幌	1907.06.20	20/6/40	
9				【01026】	コムクドリ	-	-	-	
9		629		【01282】	キビタキ	札幌	1896.10.28	28/10/29	
10				【01707】	ムギマキ	札幌	1897.10.10	10/10/30	
12				【06118】	アオジ	-	-	-	
14				【01047】	コムクドリ	-	-	-	
14				【01743】	コヨシキリ	札幌	1907.07.10	10/7/40	
16				【02085】	アマツバメ	-	-	-	
19				【00312】	シジュウカラ	札幌	1909.04.07	7/4/42	
23				【47942】	ムクドリ	札幌	1907.08.10	10/8/40	
24				【47945】	コムクドリ	札幌	-	-	
25				【01051】	コムクドリ	札幌	-	-	
34				【04564】	エゾオオアカゲラ	札幌	1907.11.10	10/11/40	
38				【04443】	コアカゲラ	札幌	-	-	
39				【04417】	アリスイ	札幌	1907.07.16	16/7/40	
40		643		【05207】	カッコー	札幌	1906.06.20	20/6/39	
43		639		【05985】	オオコノハズク	札幌	1907.11.18	18/11/40	
44				【05961】	トラフズク	札幌	-	-	
45	44 抹消	645		【05736】	ウミネコ	銭函村	7/10/39	7/10/39	> 1906.10.07
46	45 抹消	628		【05871】	ウミスズメ	札幌	17/1/40	17/1/40	> 1907.01.17
49				【01842】	エゾライチョウ	札幌	-	-	
50				【01848】	エゾライチョウ	札幌	-	-	
54	26 抹消		54	【00600】	キレンジャク	札幌	10/2/15	10/2/15	> 1882.02.10

「抹消」欄の数字は、その番号が抹消された上で「ラベル記載番号」が記載されているもの。「欄外番号」は「ラベル記載番号」とは別に記載されたものである。「台帳 1」欄は、記載番号が台帳 1 の管理番号と対応することを示し、台帳 1 の管理番号を記載した。

表 10 ラベル 5 番号欄に 1-2 桁の番号記載を持つ標本一覧（抹消されているもの）

ラベル記載番号	追記番号	欄外番号	台帳 1 対応	HUNHM#	標本名	採集地	現行台帳採集日	ラベル記載採集日	修正
3			2257	【01619】	クロツグミ	札幌	1906.09.30	30/9/39	
11	865		865	【01356】	エゾムシクイ	札幌	1890.05.08	8/5/23	
13	808			【47875】	オオヨシキリ	札幌	4.6.40	4/6/40	> 1907.06.04
15	808			【47883】	キクイタダキ	札幌	10.11.21	10/11/21 < 41 カ >	> 1908.11.10 カ
18	804			【47893】	ヒガラ	札幌	1908.11.04	4/11/41	
20			608	【00891】	ゴジュウカラ	札幌	1889.10.07	7/10/22	
21			569	【02127】	ミソサザイ	札幌	1889.03.19	19/3/22	
26	54		54	【00600】	キレンジャク	札幌	10/2/15	10/2/15	> 1882.02.10
27			1580	【00912】	ヒレンジャク	札幌	21/5/31	21/5/31	> 1898.05.21
29	826			【43843】	ビンズイ	札幌	-	-	
30			2122	【06285】	ヒバリ	札幌	10/5/28	10/5/28	> 1895.05.10
31	1823		1623 カ	【02062】	ハリオアマツバメ	札幌	-	-	> 1899.06.28 カ
32	578		576 カ	【04529】	エゾアカゲラ	札幌	28/4/22	28/4/22	> 1889.04.28 カ
33			1712	【04539】	エゾアカゲラ	札幌	1900.04.27	27/4/33	
36		663		【04622】	クマガゲラ	札幌	-	-	
41	1599 <抹消>	158	2599 カ	【01944】	ノゴマ	札幌	1909.10.05	42/10/5	
44	45	645		【05736】	ウミネコ	銭函村	7/10/39	7/10/39	> 1906.10.07
45	46	628		【05871】	ウミスズメ	札幌	17/1/40	17/1/40	> 1907.01.17

「追記番号」欄の数字は、「ラベル記載番号」欄の数字を抹消した上で記載している番号を示す。「欄外番号」は「ラベル記載番号」とは別に記載されたものである。「台帳 1」欄は、当該標本が台帳 1 に登録されている可能性のある標本である場合に対応する台帳 1 の管理番号を示した。

表 11 ラベル 5 欄外の番号が抹消されている標本一覧

欄外抹消番号	追記番号	HUNHM#	標本名	採集地	現行台帳採集日	ラベル記載採集日	修正 / 備考
26	553	【02596】	ハギマシコ	琴似	1910.02.06	43/2/6	
45	538	【02588】	ハギマシコ	札幌琴似	1910.02.06	43/2/6	
75	81	【01617】	クロツグミ	札幌	1909.09.26	26.9.1910 < 42 追記 >	要検討
89	193	【00283】	シジュウカラ	-	1910.09.26	26.9.1910	要検討
92	240	【00248】	シジュウカラ	札幌	1911.09.26	26.9.1910 < 42 追記 >	要検討
237	183	【02150】	ヨタカ	札幌	1911.09.26	26.9.44	
238	179	【05525】	ハマシギ	銭函村	1911.09.27	27.9.44	
240	160	【00619】	ビンズイ	札幌	25.9.44	25.9.44	> 1911.09.25
243	177	【05636】	ヘラシギ	石狩	1915.10.11	4.10.11	> 1911.10.04 カ
244	182	【05634】	ヘラシギ	石狩	1915.10.11	4.10.11	> 1911.10.04 カ
245	522	【05311】	ダイゼン	石狩	4.10.11	4.10.11	> 1911.10.04 カ
247	180	【05373】	シロチドリ	石狩	1911.10.04	4.10.44	
266	169	【01434】	ウグイス	札幌円山	1922.10.05	5.10.11	> 1911.10.05 カ
268	296	【00387】	ヤマガラ	札幌円山	5.10.44	5.10.44	> 1911.10.05 カ
268	168	【01464】	メボソムシクイ	札幌円山	1911.10.05	5.10.44	
269	166	【01338】	メボソムシクイ	札幌	1911.10.05	5.10.44	
270	781	【06456】	シマアオジ	札幌	1907.10.05	5.10.40	> 1911.10.05 カ
273	345	【01759】	コヨシキリ	札幌	1916.10.14	5.10.44	> 1911.10.05 カ
274	167	【01333】	メボソムシクイ	札幌	1911.10.05	5/10/44	
277	781	【05641】	ヘラシギ	石狩	1915.10.11	4.10.11	> 1911.10.05 カ
293	730	【04483】	エゾコゲラ	札幌	1911.10.27	44.10.27	
296	577	【01396】	ウグイス	札幌	1911.10.27	44.10.27	
307	578	【01409】	ウグイス	札幌	1911.10.30	44.10.30	
308	569	【01393】	ウグイス	札幌	1911.10.01	44.10.1	
516	626	【01932】	ノゴマ	千島紗那	1911.06.10	10/6/44	
622	656	【01935】	ノゴマ	札幌	1905.10.10	10/10/38	

「追記番号」欄の数字は、「欄外抹消番号」欄の数字と同様に欄外に記載されている番号である。「ラベル記載採集日」のうち、< 42 追記 > とあるものは、記載採集日の「1910」を抹消し、「42」が記載されている。「1910 年」を「明治 42 = 1909 年」と修正している標本は他にも多数確認されるが、シジュウカラ【00283】のように、必ずしもすべて修正しているわけでもなくいずれが正しいのか判断としない。また、修正すべきものが修正されていない可能性もあるため、本稿ではこれらの採集日は「要検討」として保留扱いにする。

表 12 ラベル 5 欄外に 2-3 桁の番号を持つ標本一覧（明治期採集と評価されるもの）

欄外番号	記載備考	HUNHM#	標本名	採集地	現行台帳採集日	ラベル記載採集日	修正 / 備考	台帳 1 対応
34		【02610】	ハギマシコ	琴似	1910.02.06	43.2.6		
37		【04425】	コアカゲラ	石狩札幌	1908.10.12	12/10/41		
38		【06280】	ヒバリ	軽川	1909.05.16	16.5.1909		
45		【01573】	クロツグミ	札幌	1910.10.09	9/10/43		
46		【01594】	クロツグミ	札幌	1910.09.20	20/9/43		
47		【01546】	アカハラ	札幌	1910.09.20	20/9/43		
48		【02589】	ハギマシコ	札幌琴似	1910.02.06	43/2/6		
50		【01575】	クロツグミ	札幌	1911.10.20	10/10/44		
51		【01610】	クロツグミ	札幌	1911.10.20	20/10/44		
53		【01608】	クロツグミ	札幌	1911.10.15	15/10/44		
54		【01580】	クロツグミ	札幌	1911.10.15	15/10/44		
55		【02224】	マミチャジナイ	札幌	1911.10.10	10/10/44		
56		【02227】	マミチャジナイ	札幌	1911.10.10	10/10/44		
57		【01620】	クロツグミ	札幌	1911.10.10	10/10/44		
58		【01605】	クロツグミ	札幌	1911.10.10	10/10/44		
*75		【01586】	クロツグミ	札幌	1909.09.24	24.9.42		
*81	75 <抹消>	【01617】	クロツグミ	札幌	1909.09.26	26.9.1910 < 42 追記>	要検討	
*82		【00235】	シジュウカラ	札幌	1910.09.24	24.9.1910		
*83		【01651】	オオルリ	札幌	1910.09.24	24.9.1910		
*84		【05086】	ヤマガラ	札幌	1910.09.24	24.9.1910		
*85		【05088】	ヤマガラ	札幌	1910.09.24	24.9.1910		
*87		【05098】	ホオジロ	札幌	1910.09.24	24.9.1910		
88		【05078】	ヒクイナ	札幌	1910.09.26	26.9.1910		
90		【01927】	ノゴマ	根室	1909.06.10	42.6.10		2693
90		【05105】	シジュウカラ	札幌	1910.09.26	26.9.1910		
*91		【05103】	シジュウカラ	札幌	1910.09.26	26.9.1910		
*93		【05102】	シジュウカラ	札幌	1910.09.26	26.9.1910		
*94		【05104】	シジュウカラ	札幌	1910.09.26	26.9.1910		
*95		【05082】	モズ	札幌	1910.10.05	5.10.1910		
*97		【05096】	アオジ	-	1910.09.07	7.9.1910		
*101		【05185】	アカショウビン	尻矢崎	1909.00.00	31.00.1909		
*102		【01532】	アカハラ	尻矢崎	1910.05.31	31.5.1909 < 43 追記>	要検討	
145		【02838】	ウソ	札幌	1911.03.04	4/3/44		
146		【06354】	カシラダカ	札幌	1911.10.10	10/10/44		
147		【06335】	カシラダカ	札幌	1911.10.10	10/10/44		
148		【06327】	カシラダカ	札幌	1911.10.20	20/10/44		
150		【06334】	カシラダカ	札幌	1911.10.20	20/10/44		
151		【06341】	カシラダカ	札幌	1911.10.20	20/10/44		
152		【06350】	カシラダカ	札幌	1911.10.20	20/10/44		
154		【02068】	ハリオアマツバメ	石狩札幌	1910.08.15	15/8/43		
155		【02729】	アトリ	札幌	1909.12.30	30.12.1909		2664
156		【02700】	アトリ	札幌	1909.12.30	30.12.1909		
158	(1)	【01944】	ノゴマ	札幌	1909.10.05	42/10/5		
160	240 <抹消>	【00619】	ビンズイ	札幌	25.9.44	25.9.44	> 1911.09.25	
161		【01426】	ウグイス	札幌円山	1907.10.05	5.10.41 < 40 追記>	要検討	
165		【01448】	メボソムシクイ	札幌	1911.10.05	5/10/44		
166	269 <抹消>	【01338】	メボソムシクイ	札幌	1911.10.05	5.10.44		
167	274 <抹消>	【01333】	メボソムシクイ	札幌	1911.10.05	5/10/44		
168	268 <抹消>	【01464】	メボソムシクイ	札幌円山	1911.10.05	5.10.44		
169	266 <抹消>	【01434】	ウグイス	札幌円山	1922.10.05	5.10.11	> 1911.10.05 カ	
170		【01469】	メボソムシクイ	札幌	1911.10.05	5.10.44		
171		【01435】	ウグイス	札幌	1911.10.05	5/10/44		
172		【06465】	シマアオジ	札幌	1911.10.05	5/10/44		
173		【01712】	ムギマキ	札幌	1911.10.05	5.10.44		
175		【01708】	ムギマキ	札幌	1911.10.05	5/10/44		
176		【01710】	ムギマキ	札幌	1911.10.05	5/10/44		
177	243 <抹消>	【05636】	ヘラシギ	石狩	1915.10.11	4.10.11	> 1911.10.04 カ	
178		【05646】	ヘラシギ	石狩	1911.10.04	4/10/44		
179	238 <抹消>	【05525】	ハマシギ	銭函村	1911.09.27	27.9.44		
180	247 <抹消>	【05373】	シロチドリ	石狩	1911.10.04	4.10.44		
182	244 <抹消>	【05634】	ヘラシギ	石狩	1915.10.11	4.10.11	> 1911.10.04 カ	
183	237 <抹消>	【02150】	ヨタカ	札幌	1911.09.26	26.9.44		
186		【08981】	ハイタカ	札幌	6/9/40	6/9/40	> 1907.09.06	
187		【05206】	カッコウ	札幌	1907.09.10	10/9/40		
188		【02308】	ヤマヒバリ	札幌	1905.12.01	1/12/38		
189		【02309】	ヤマヒバリ	札幌	1905.12.01	1.12.38		
191		【01462】	メボソムシクイ	札幌	1909.09.26	42/9/26		
192		【01463】	メボソムシクイ	札幌	1909.09.10	10/9/42		
193	89 <抹消>	【00283】	シジュウカラ	-	1910.09.26	26.9.1910		

欄外番号	記載備考	HUNHM#	標本名	採集地	現行台帳採集日	ラベル記載採集日	修正 / 備考	台帳 1 対応
196		【02683】	シメ	札幌	3/10/41	3/10/41	> 1908.10.03	
200		【01129】	ミヤマカケス	札幌	1911.10.04	4/10/44		
201		【05183】	アカショウビン	歌志内	1909.06.23	23/6/1909		
202		【05184】	アカショウビン	札幌	1909.06.18	18/6/42		
204		【04617】	クマゲラ	札幌	1911.10.02	2/10/44		
240	92 <抹消>	【00248】	シジュウカラ	札幌	1911.09.26	26.9.44		
244		【06046】	ユキホオジロ	北見	1906.03.04	4/3/39		
246		【02709】	アトリ	札幌	1909.12.30	30.12.1909		
246		【05655】	ミユビシギ	石狩	1911.10.04	4.10.44		
248		【01453】	メボソムシクイ	札幌	1909.09.26	42/9/26		
250		【01754】	コヨシキリ	札幌	1916.10.11	5.10.11	> 1911.10.05 カ	
252		【02137】	ミソサザイ	札幌	1910.11.20	20/11/43		
256		【01269】	キビタキ	札幌	1910.05.13	13/5/43		
257		【47849】	コルリ	札幌	20.10.42	20/10/42	> 1909.10.20	
258		【01240】	キビタキ	札幌	1910.10.18	18/10/43		
259		【01506】	オオヨシキリ	札幌	1908.06.20	20/6/41		
260		【01983】	ルリビタキ	札幌	1888.10.11	21.10.11	> 1911.10.21 or 1908.10.11 カ	
261		【02037】	ルリビタキ	札幌	1908.10.11	11/10/41		
262		【02015】	ルリビタキ	札幌	1908.10.11	11/10/41		
263		【02040】	ルリビタキ	札幌	1888.10.11	21.10.11	> 1911.10.21 or 1908.10.11 カ	
264		【01432】	ウグイス	札幌円山	1911.10.05	5.10.44		
267		【01987】	ルリビタキ	札幌	1910.10.27	27/10/43		
269		【05601】	キアシシギ	札幌	1910.09.18	18/9/43		
278		【05989】	オオコノハズク	石狩野幌	1908.10.10	10/X/1908		
282		【00397】	ヤマガラ	札幌	44.11/2	44.11/2	> 1911.11.02	
283		【00412】	ヤマガラ	札幌	44/11/2	44/11/2	> 1911.11.02	
284		【00413】	ヤマガラ	札幌	44/11/2	44/11/2	> 1911.11.02	
285	(2)	【04347】	ヤマゲラ	札幌	1909.03.09	44.10.21 <抹消「42.3.9」追記>		(3)
286		【00580】	シマエナガ	札幌	20/10/43	20/10/43	> 1910.10.20	
290		【00399】	ヤマガラ	札幌	44/11/10	44/11/10	> 1911.11.10	
291		【00386】	ヤマガラ	札幌	44/11/10	44/11/10	> 1911.11.10	
294		【05092】	カワラヒワ		44.10.27	44.10.27	> 1911.10.27	
295		【05362】	シロチドリ	石狩	1911.09.04	4/9/44		
296	268 <抹消>	【00387】	ヤマガラ	札幌円山	5.10.44	5.10.44	> 1911.10.05	
296		【05093】	カワラヒワ	札幌	1911.10.27	44.10.27		
297		【00410】	ヤマガラ	札幌	44.11.12	44.11.12	> 1911.11.12	
300		【08966】	ツミ	札幌円山	1909.10.22	22.10.1909		
306		【01401】	ウグイス		44.10.30	44.10.30	> 1911.10.30	
329		【01988】	ルリビタキ	札幌	1910.10.09	9/10/43		
330		【02007】	ルリビタキ	札幌	1910.10.09	9/10/43		
331		【02047】	ルリビタキ	札幌	1910.10.09	9/10/43		
332		【02039】	ルリビタキ	札幌	1910.10.09	9/10/43		
337		【04370】	ヤマゲラ	厚別	1909.10.09	9/10/42		
345	273 <抹消>	【01759】	コヨシキリ	札幌	1916.10.14	5.10.44		
461		【01972】	コルリ	札幌	1906.10.18	18/10/39		
462		【43807】	コルリ	石狩札幌	1905.09.17	17/9/38		
465		【05345】	オオジシギ	石狩軽川	1910.09.00	43/9/		
467		【01547】	アカハラ	札幌	1906.09.02	2/9/39		
468		【01574】	クロツグミ	札幌	1909.09.26	42/9/26		
471		【01539】	アカハラ	札幌	10/9/39	10/9/39	> 1906.09.10	
491		【00591】	キレンジャク	真駒内	43.02.21	43.2.21	> 1910.02.21	
511		【05848】	カイツブリ	石狩江別	1911.09.13	44.9.13		2775
514		【06575】	コオリガモ	室蘭	1907.03.02	2/3/40		
517	242 <抹消>	【05313】	ダイゼン	石狩	1915.10.11	4.10.11	> 1911.10.04 カ	
518		【05625】	ツルシギ	札幌郡茨戸	1911.10.11	44.10.11		
520		【05623】	ツルシギ	札幌郡茨戸	1911.10.11	44.10.11		
522	245 <抹消>	【05311】	ダイゼン	石狩	4.10.11	4.10.11	> 1911.10.04 カ	
528		【06191】	オオジュリン	円山村	1908.02.10	2/10/41		
531		【02819】	ウソ	札幌	1911.05.09	9/5/44		
538	45 <抹消>	【02588】	ハギマシコ	札幌琴似	1910.02.06	43/2/6		
540		【02650】	シメ	円山村	28/11/41	28/11/41	> 1908.11.28	
541		【02648】	シメ	札幌	10/10/43	10/10/43	> 1910.10.10	
548		【02566】	ベニマシコ	札幌円山	1909.09.26	26/9/42		
550		【02431】	マヒワ	札幌	29/10/44	29/10/44	> 1911.10.29	
551		【02480】	マヒワ	札幌	1911.10.29	29/10/44		
552		【02433】	マヒワ	札幌	12/10/44	12/10/44	> 1911.10.12	
553	26 <抹消>	【02596】	ハギマシコ	琴似	1910.02.06	43/2/6		
555		【02546】	マヒワ	札幌	1911.10.05	5/10/44		
556		【02517】	マヒワ	札幌	1911.10.05	5/10/44		
557		【06103】	アオジ	札幌	1909.09.26	26/9/42		

欄外番号	記載備考	HUNHM#	標本名	採集地	現行台帳採集日	ラベル記載採集日	修正 / 備考	台帳 1 対応
559		【06143】	アオジ	札幌	1911.05.09	9/5/44		
568		【03729】	ウソ	札幌	15/11/43	15/11/43	> 1910.11.15	
569	308 <抹消>	【01393】	ウグイス	札幌	1911.10.01	44.10.1		
570		【01412】	ウグイス	札幌	1911.10.01	1/10/44		
571		【01414】	ウグイス	札幌	1915.11.11	<「大」追記> 4.11.11	> 1911.11.04 or 1915.11.11 カ	
574		【01399】	ウグイス	札幌	1908.11.02	2/11/41		
576		【01391】	ウグイス	札幌	1915.11.11	4.11.11	> 1911.11.04 カ	
577	296 <抹消>	【01396】	ウグイス	札幌	1911.10.27	44.10.27		
578	307 <抹消>	【01409】	ウグイス	札幌	1911.10.30	44.10.30		
579		【01415】	ウグイス	札幌	1911.10.18	18/10/44		
584		【01427】	ウグイス	札幌円山	1908.10.08	8/10/41		
586		【02028】	ルリビタキ	札幌	1911.10.29	44.10.29		
590		【06402】	キバシリ	札幌	22.10.11	22.10.11	> 1911.10.22 カ	
593		【00892】	ゴジュウカラ	札幌	15/10/44	15/10/44	> 1911.10.15	
598		【02128】	ミソサザイ	札幌	1911.10.27	27/10/44		
599		【02143】	ミソサザイ	札幌	1911.10.27	27/10/44		
616		【00371】	ヒガラ	札幌	1911.10.09	44.10.9		
622		【00802】	ゴジュウカラ	札幌	12/5/44	12/5/44	> 1911.05.12	
624		【00860】	ゴジュウカラ	札幌	9/3/44	9/3/44	> 1911.03.09	
626	516 <抹消>	【01932】	ノゴマ	千島紗那	1911.06.10	10/6/44		
627	(4)	【00385】	ヤマガラ	札幌	30/9/38	30/9/38	> 1905.09.30	
628	(5)	【05871】	ウミスズメ	札幌	17/1/40	17/1/40	> 1907.01.17	
629	(6)	【01282】	キビタキ	札幌	1896.10.28	28/10/29		
630	(7)	【01991】	ルリビタキ	札幌	1905.10.23	23/10/38		
632		【01460】	メボソムシクイ	石狩札幌	1912.05.21	44.5.21	> 1911.05.21	2765
637	(8)	【00978】	モズ	札幌	1905.09.07	7/9/38		
638		【00984】	オオモズ	石狩札幌	1906.09.09	9/9/39		
639	(9)	【05985】	オオコノハズク	札幌	1907.11.18	18/11/40		
643	(10)	【05207】	カッコウ	札幌	1906.06.20	20/6/39		
645		【01105】	ドバト	札幌	-	-		
645	45 <抹消>	【05736】	ウミネコ	銭函村	7/10/39	7/10/39	> 1906.10.07	
646		【01103】	ドバト	札幌	-	-		
648	(11)	【00224】	シジュウカラ	忍路	1910.09.00	43 年 9 月日		
649	(11)	【02410】	カワラヒワ	忍路	1910.09.00	43 年 9 月日		
650	(11)	【02414】	カワラヒワ	忍路	1910.09.00	43 年 9 月日		
651	(11)	【45840】	スズメ	忍路	1910.09.00	43 年 9 月日		
652	(11)	【45841】	スズメ	忍路	1910.09.00	43 年 9 月日		
653	(11)	【04384】	ヤマゲラ		1898.11.22	三十一年十一月廿二日		
656		【01853】	エゾライチョウ	札幌	-	-		
656	622 <抹消>	【01935】	ノゴマ	札幌	1905.10.10	14/10/38		
662		【06565】	コオリガモ	室蘭	1910.02.16	16/2/43		
663	(12)	【04622】	クマガラ	札幌	-	-		
664		【01158】	ミヤマカケス	石狩札幌	1909.10.01	1.10.42		
678		【02640】	シメ	札幌	-	-		
681		【02021】	ルリビタキ	札幌	-	-		
682		【02033】	ルリビタキ	札幌	-	-		
730	293 <抹消>	【04483】	エゾコゲラ	札幌	1911.10.27	44.10.27		
731		【04456】	エゾコゲラ	札幌	1911.10.27	27/10/44		
742		【05957】	コミミズク		42.11.14	42.11.14	> 1909.11.14	
746		【02787】	ウソ	札幌	1910.11.19	19.11.1909 < 43 追記>	要検討	
748		【00213】	シジュウカラ	札幌	2/8/44	2/8/44	> 1911.08.02	
750		【02887】	ウソ	札幌	1911.10.10	10/10/44		
752		【00404】	ヤマガラ	札幌	5/10/44	5/10/44	> 1911.10.05	
760		【02534】	マヒワ	札幌	1911.10.03	<大（抹消）> 3/10/44		
762		【02476】	マヒワ	札幌	1911.10.03	3/10/44		
766		【01528】	エゾセンニュウ	札幌	14.9.1909	14.9.1909 <抹消>	要検討	
769		【47991】	ツツドリ	札幌	1910.08.07	7 8 43		
770		【07776】	カッコウ	札幌	7/8/43	7/8/43	> 1910.08.07	
773		【02489】	マヒワ	札幌円山	1910.10.13	13.10.1909 < 43 追記>	要検討	2613
774		【02577】	ベニマシコ	札幌	23.10.199（ママ）	23.10.199	要検討	2629
775		【02516】	マヒワ	札幌	1910.10.26	26.10.1909 < 43 追記>	要検討	2645
776		【02543】	マヒワ	札幌円山	1910.10.23	23.10.1909 < 43 追記>	要検討	2622
778		【06436】	オオマシコ	札幌円山	1909.10.23	23.10.1909		2628
781	277 <抹消>	【05641】	ヘラシギ	石狩	1915.10.11	4.10.11	> 1911.10.04 カ	
781	270 <抹消>	【06456】	シマアオジ	札幌	1907.10.05	5.10.40		
790	(11)、(13)	【02557】	ベニマシコ	北海道	-	-		
804	(11)、(14)	【47893】	ヒガラ	札幌	1908.11.04	4/11/41		
808	(11)、(15)	【47875】	オオヨシキリ	札幌	4.6.40	4/6/40	> 1907.06.04	
825	(11)	【47884】	オオルリ	札幌	1906.08.07	明治 39 年 3 月 7 日		
826	(11)、(16)	【43843】	ビンズイ	札幌	-	-		

「欄外番号」に「*」が付いているものは表 13 に示した大正期採集標本の欄外番号と重複していることを示す。

表 12 注

- (1)：番号欄に「41」、「1599」の記載があり、いずれも抹消されている。
- (2)：番号欄に「950」の記載がある。
- (3)：「950」は台帳 1 のヤマゲラ「1891 年 3 月 9 日」採集に合致する可能性がある。ヤマゲラ【04352】に付属するラベル 3 には「950」の記載があるが、抹消されている。
- (4)：番号欄に「16」の記載がある。
- (5)：番号欄に「46」の記載がある。
- (6)：番号欄に「9」の記載がある。
- (7)：番号欄に「5」の記載がある。
- (8)：番号欄に「48」の記載がある。
- (9)：番号欄に「43」の記載がある。
- (10)：番号欄に「40」の記載がある。
- (11)：番号欄に記載されている番号である。
- (12)：番号欄に「36」の記載があるが抹消してある。
- (13)：番号欄に「135」の記載があるが抹消してある。
- (14)：番号欄に「18」の記載があるが抹消してある。
- (15)：番号欄に「13」の記載があるが抹消してある。
- (16)：番号欄に「29」の記載があるが抹消してある。

表 13 ラベル 5 欄外に 2-3 桁の番号を持つ標本一覧（大正期採集と評価されるもの）

欄外番号	記載備考	HUNHM#	標本名	採集地	現行台帳採集日	ラベル記載採集日	修正 / 備考
35	(1)	【01302】	キビタキ	札幌	1912.10.02	2/10/1	
39		【02497】	マヒワ	札幌	1914.04.06	-	
40		【45842】	スズメ	札幌	1912.01.28	45.1.28	
59		【01578】	クロツグミ	札幌	1915.10.01	4/10/1	> 1912.10.04
61		【01606】	クロツグミ	札幌	4/10/1	4/10/1	> 1912.10.04
65		【01609】	クロツグミ	札幌	4/10/1	4/10/1	> 1912.10.04
67		【00942】	モズ	石狩札幌	1/9/30	1/9/30	> 1912.09.30
68		【05167】	カワセミ	札幌	1912.08.05	元年 8.8	
69		【05141】	カワセミ	札幌	1912.08.08	大正元年 8.8	
70		【05168】	カワセミ	札幌	1912.08.08	大正元年 8.8	
71		【45852】	スズメ	石狩札幌	1/8/10	1/8/10	> 1912.08.10
72		【00734】	キセキレイ	石狩札幌	1/8/20	1/8/20	> 1912.08.20
73		【00771】	キセキレイ	石狩札幌	1/9/10	1/9/10	> 1912.09.10
*75		【00757】	キセキレイ	石狩札幌	1/8/15	1/8/15	> 1912.08.15
76		【00718】	キセキレイ	石狩札幌	1/8/20	1/8/20	> 1912.08.20
77		【00765】	キセキレイ	石狩札幌	1/8/15	1/8/15	> 1912.08.15
77		【00766】	キセキレイ	石狩札幌	1/8/20	1/8/20	> 1912.08.20
78		【00772】	キセキレイ	石狩札幌	1/8/10	1/8/10	> 1912.08.10
79		【00774】	キセキレイ	石狩札幌	1/8/15	1/8/15	> 1912.08.15
80		【00760】	キセキレイ	石狩札幌	1/8/10	1/8/10	> 1912.08.10
*81		【00725】	キセキレイ	石狩札幌	1/8/10	1/8/10	> 1912.08.10
*82		【00731】	キセキレイ	石狩札幌	1/9/10	1/9/10	> 1912.09.10
*83		【00726】	キセキレイ	石狩札幌	1/8/10	1/8/10	> 1912.08.10
*84		【00754】	キセキレイ	石狩札幌	1/8/10	1/8/10	> 1912.08.10
*85		【00755】	キセキレイ	石狩札幌	1/9/10	1/9/10	> 1912.09.10
86		【00720】	キセキレイ	札幌	01.08.00	元年 8 月	> 1912.08.00
*87		【00722】	キセキレイ	札幌	01.08.00	元年 8 月	> 1912.08.00
*91		【01281】	キビタキ	札幌	1892.09.01	1/9/25	> 1912.09.25
*93		【01938】	ノゴマ	石狩札幌	1912.09.10	< 「大」 追記 > 1/9/10	
*94		【01939】	ノゴマ	札幌	1912.09.10	10/9/1 < 「大」 追記 >	
*95		【01920】	ノゴマ	札幌	1912.09.29	29/9/1 < 「大」 追記 >	
96		【01930】	ノゴマ	札幌	1912.09.29	29/9/1 < 「大」 追記 >	
*97		【01931】	ノゴマ	石狩札幌	1912.09.25	< 「大」 追記 > 1/9/25	
98		【01963】	ノゴマ	石狩札幌	1912.09.25	1/9/25	
99		【01929】	ノゴマ	札幌	1912.09.25	25/9/1	
100		【01653】	オオルリ	石狩札幌	1912.09.25	< 「大」 追記 > 1/9/25	
*101		【01951】	ノゴマ	石狩札幌	1912.09.10	< 「大」 追記 > 1/9/10	
*102		【01959】	ノゴマ	石狩札幌	1912.09.20	< 「大」 追記 > 1/9/20	
103		【06290】	ヒバリ	後志銭函	1/9/10	1/9/10	> 1912.09.10
104		【01813】	リュウキュウオオクイナ	石狩札幌	1912.09.25	1/9/25	
105		【07415】	ミフウズラ	石狩札幌	1912.09.05	1/9/5	
106		【06231】	ホオジロ	石狩札幌	1912.09.15	1/9/15	
107		【47903】	ホオジロ	石狩札幌	1.9.15	1/9/15	> 1912.09.15
108		【06233】	ホオジロ	石狩札幌	1912.09.15	1/9/15	
114		【00606】	ビンズイ	札幌	1/9/15	1/9/15	> 1912.09.15
115		【01955】	ノゴマ	石狩札幌	1/9/10	1/9/10	> 1912.09.10
116		【01936】	ノゴマ	石狩札幌	1921.09.01	1/9/10	> 1912.09.10
117		【02014】	ルリビタキ	札幌	7/11/	7/11/ ■ (1?)	> 1912.11.07 カ
118		【02027】	ルリビタキ	札幌	1918.11.01	7/11/1	> 1912.11.07
119		【00568】	シマエナガ	札幌	10/11/1	10/11/1	> 1912.11.10
120		【00573】	シマエナガ	札幌	10/11/1	10/11/1	> 1912.11.10
121		【00572】	シマエナガ	札幌	10/11/1	10/11/1	> 1912.11.10
122		【01823】	ウズラ	石狩札幌	1912.09.10	< 「大」 追記 > 1/9/10	
123		【06349】	カシラダカ	札幌	1926.09.01	1/9/15	> 1912.09.15

欄外番号	記載備考	HUNHM#	標本名	採集地	現行台帳採集日	ラベル記載採集日	修正 / 備考
124		【06348】	カシラダカ	札幌	1912.09.15	15/9/1	
125		【06340】	カシラダカ	札幌	1926.09.01	1/9/15	> 1912.09.15
126		【06347】	カシラダカ	札幌	1912.11.04	4/11/1	
127		【06331】	カシラダカ	札幌	4/11/1	4/11/1	> 1912.11.04
128		【00824】	ゴジュウカラ	札幌	15/11/1	15/11/1	> 1912.11.15
129		【00805】	ゴジュウカラ	札幌	15/11/1	15/11/1	> 1912.11.15
130		【00819】	ゴジュウカラ	札幌	15/11/1	15/11/1	> 1912.11.15
131		【00855】	ゴジュウカラ	石狩札幌	1/9/20	1/9/20	> 1912.09.20
132		【00870】	ゴジュウカラ	札幌	20/9/1	20/9/1	> 1912.09.20
133		【00836】	ゴジュウカラ	札幌	20/9/1	20/9/1	> 1912.09.20
134		【00797】	ゴジュウカラ	札幌	20/9/1	20/9/1	> 1912.09.20
136		【02576】	ベニマシコ	札幌	18/11/1	18/11/1	> 1912.11.18
137		【02581】	ベニマシコ	札幌	18/11/1	18/11/1	> 1912.11.18
138		【06265】	ホオアカ	札幌	1885.11.01	18/11/1	> 1912.11.18
139		【06156】	アオジ	札幌	1912.11.18	18/11/1 < 「大」 追記 >	> 1912.11.18
140		【00840】	ゴジュウカラ	札幌	20/10/1	20/10/1	> 1912.10.20
141		【00862】	ゴジュウカラ	札幌	20/10/1	20/10/1	> 1912.10.20
142		【00816】	ゴジュウカラ	札幌	20/10/1	20/10/1	> 1912.10.20
206		【00217】	シジュウカラ	札幌	1/10/2	1/10/2	> 1912.10.02 カ
207		【00300】	シジュウカラ	札幌	10/9/1	10/9/1	> 1912.09.10
208		【00280】	シジュウカラ	札幌	10/9/1	1/9/10 < 10/9/1 >	> 1912.09.10
209		【00221】	シジュウカラ	札幌	1912.09.20	20/9/1	
210		【00272】	シジュウカラ	札幌	11/9/1	1.9.11 < 11/9/1 >	> 1912.09.11
211		【00267】	シジュウカラ	札幌	13/10/1	1/10/13 < 13/10/1 >	> 1912.10.13
212		【00303】	シジュウカラ	札幌	10/9/1	1/9/10 < 10/9/1 >	> 1912.09.10
213		【00268】	シジュウカラ	札幌	10/9/1	1/9/10 < 10/9/1 >	> 1912.09.10
214		【00263】	シジュウカラ	札幌	1/9/20	1/9/20	> 1912.09.20
215		【00247】	シジュウカラ	札幌	1/9/10	1/9/10	> 1912.09.10
216		【00261】	シジュウカラ	石狩札幌	1/10/10	1/10/10	> 1912.10.10
217		【00258】	シジュウカラ	石狩札幌	1/10/12	1/10/12	> 1912.10.12
218		【00266】	シジュウカラ	札幌	1/9/10	1/9/10	> 1912.09.10
219		【00201】	シジュウカラ	札幌	1/9/20	1/9/20	> 1912.09.20
220		【00230】	シジュウカラ	札幌	1/9/20	1/9/20	> 1912.09.20
221		【00308】	シジュウカラ	札幌	1/9/10	1/9/10	> 1912.09.10
222		【00239】	シジュウカラ	札幌	1/9/10	1/9/10	> 1912.09.10
223		【00298】	シジュウカラ	札幌	1/9/20	1/9/20	> 1912.09.20
224		【00279】	シジュウカラ	札幌	1/10/2	1/10/2	> 1912.10.02 カ
225		【00290】	シジュウカラ	札幌	1/9/20	1/9/20	> 1912.09.20
226		【00242】	シジュウカラ	札幌	10/9/1	10/9/1	> 1912.09.10
227		【00305】	シジュウカラ	札幌	1/9/20	1/9/20	> 1912.09.20
228		【00262】	シジュウカラ	札幌	5/10/1	5/10/1	> 1912.10.05
229		【00281】	シジュウカラ	札幌	5/10/1	5/10/1	> 1912.10.05
230		【00288】	シジュウカラ	札幌	5/10/1	5/10/1	> 1912.10.05
230	(2)	【05955】	コミミズク	石狩千歳	24/2/2	24/2/2	> 1913.02.24
232		【00301】	シジュウカラ	札幌	1/9/10	1/9/10	> 1912.09.10
233		【00302】	シジュウカラ	札幌	8/10/1	8/10/1	> 1912.10.08
234		【00254】	シジュウカラ	札幌	8/10/1	8/10/1	> 1912.10.08
236		【00259】	シジュウカラ	札幌	7/10/1	7/10/1	> 1912.10.07
237		【00284】	シジュウカラ	札幌	1/9/10	1/9/10	> 1912.09.10
238		【00220】	シジュウカラ	札幌	1912.09.10	10/9/1	
239		【01481】	ヤブサメ	札幌	1923.09.01	12/9/1	> 1912.09.12
241		【00292】	シジュウカラ	札幌	1.9.11	1.9.11	> 1912.09.11
243		【00233】	シジュウカラ	札幌	13/9/1	13/9/1	> 1912.09.13
245		【00381】	ヒガラ	札幌	18/11/1	18/11/1	> 1912.11.18
281		【00434】	ヤマガラ	札幌	1/9/25	1/9/25	> 1912.09.25
288		【05958】	コミミズク	石狩千歳	24/2/2	24/2/2	> 1913.02.24
289		【00409】	ヤマガラ	札幌	1/9/25	1/9/25	> 1912.09.25
289		【05956】	コミミズク	石狩千歳	24/2/2	24/2/2	> 1913.02.24
302		【06150】	アオジ	石狩札幌	1916.10.01	< 「大」 追記 > 1/10/5	> 1912.10.05
305		【01348】	センダイムシクイ	石狩札幌	1912.09.25	1/9/25	
*306		【47870】	メボソムシクイ	石狩札幌	1.9.25	1/9/25	> 1912.09.25
307		【01446】	メボソムシクイ	石狩札幌	1912.09.16	1/9/16	
308		【06423】	キバシリ	札幌	12/9/2	12/9/2	> 1913.09.12
313		【06099】	アオジ	札幌	1/10/5	1/10/5	> 1912.10.05
317		【01386】	ウグイス	札幌	1912.09.20	20/9/1 < 「大」 追記 >	
318		【01466】	メボソムシクイ	石狩札幌	1912.05.25	1/9/25	
321		【06119】	アオジ	札幌	1/9/30	1/9/30	> 1912.09.30
324		【06089】	アオジ	石狩札幌	1/9/30	1/9/30	> 1912.09.30
325		【01407】	ウグイス	札幌	1912.09.21	21/9/1	
326		【01398】	ウグイス	札幌	1912.09.21	21/9/1	
327		【01410】	ウグイス	札幌	1912.09.21	21/9/1 < 「大」 追記 >	
328		【01411】	ウグイス	札幌	1912.05.10	10/5/1	
333		【01455】	メボソムシクイ	石狩札幌	1912.09.25	1/9/25	

欄外番号	記載備考	HUNHM#	標本名	採集地	現行台帳採集日	ラベル記載採集日	修正 / 備考
334		【05457】	トウネン	後志銭函	1.9.10	1/9/10 < 1.9.10 >	> 1912.09.10
335		【05589】	キアシシギ	後志銭函	1/9/10	1/9/10	> 1912.09.10
349		【00347】	キクイタダキ	札幌	2/3/20	2/3/20	> 1913.03.20
350		【02389】	カワラヒワ	札幌	2/5/1	2/5/1	> 1913.05.01 カ
351		【00675】	ハクセキレイ	札幌	1913.05.01	2/5/1 < 「大」 追記 >	
352		【02680】	シメ	札幌	1913.05.02	2/5/2	
353		【00728】	キセキレイ	札幌	2/5/6	2/5/6	> 1913.05.06
355		【02651】	シメ	札幌	2/5/7	2/5/7	> 1913.05.07
356		【02645】	シメ	札幌	2/5/7	2/5/7	> 1913.05.07
358		【00758】	キセキレイ	札幌	2/5/7	2/5/7	> 1913.05.07
359		【06073】	アオジ	札幌	1913.05.07	< 「大」 追記 > 2/5/7	
360		【00642】	ビンズイ	札幌	2/5/7	2/5/7	> 1913.05.07
361		【00605】	ビンズイ	札幌	2/5/7	2/5/7	> 1913.05.07
362		【02628】	イカル	札幌	2/5/8	2/5/8	> 1913.05.08
363		【01551】	アカハラ	札幌	1919.05.02	2/5/8	> 1913.05.09
365		【02656】	シメ	札幌	2/5/9	2/5/9	> 1913.05.09
367		【06107】	アオジ	札幌	2/5/10	2/5/10	> 1913.05.10
368		【06079】	アオジ	札幌	2/5/10	2/5/10	> 1913.05.10
369		【02642】	シメ	札幌	2/5/11	2/5/11	> 1913.05.11
370		【00618】	ビンズイ	札幌	2/5/11	2/5/11	> 1913.05.11
371		【00761】	キセキレイ	札幌	2/5/12	2/5/12	> 1913.05.12
372		【02349】	カワラヒワ	札幌	2/5/12	2/5/12	> 1913.05.12
373		【47813】	コアカゲラ	札幌	2.5.12	2/5/12	> 1913.05.12
374		【05157】	カワセミ	札幌	1913.05.12	2/5/12	
375		【01058】	コムクドリ	札幌	2/5/12	2/5/12	> 1913.05.12
376		【02373】	カワラヒワ	札幌	2/5/13	2/5/13	> 1913.05.13
377		【02374】	カワラヒワ	札幌	2/5/13	2/5/13	> 1913.05.13
378		【06090】	アオジ	札幌	2/5/14	2/5/14	> 1913.05.14
379		【06127】	アオジ	札幌	1913.05.14	< 「大」 追記 > 2/5/14	
380		【06091】	アオジ	札幌	2/5/14	2/5/14	> 1913.05.14
381		【06154】	アオジ	札幌	1925.05.02	2/5/14	> 1913.05.14
382		【06149】	アオジ	札幌	1925.05.02	< 「大」 追記 > 2/5/14	> 1913.05.14
383		【06139】	アオジ	札幌	2/5/45	2/5/15	> 1913.05.15
384		【01288】	キビタキ	札幌	1926.05.02	2/5/15	> 1913.05.15
385		【00636】	ビンズイ	札幌	2/5/15	2/5/15	> 1913.05.15
386		【00624】	ビンズイ	札幌	2/5/15	2/5/15	> 1913.05.15
387		【06115】	アオジ	札幌	2/5/15	2/5/15	> 1913.05.15
388		【01668】	コサメビタキ	札幌	1913.05.15	< 「大」 追記 > 2/5/15	
390		【01675】	コサメビタキ	札幌	1913.05.15	< 「大」 追記 > 2/5/15	
391		【01686】	コサメビタキ	札幌	1913.05.15	< 「大」 追記 > 2/5/15	
392		【01667】	コサメビタキ	札幌	1913.05.15	2/5/15	
393		【01678】	コサメビタキ	札幌	1913.05.15	2/5/15	
394		【01542】	アカハラ	札幌	1926.05.02	< 「大」 追記 > 2/5/15	> 1913.05.15
397		【02371】	カワラヒワ	札幌	2/5/17	2/5/17	> 1913.05.17
398		【00759】	キセキレイ	札幌	2/5/19	2/5/19	> 1913.05.19
399		【01031】	コムクドリ	札幌	1913.05.19	2/5/19	
400		【01655】	オオルリ	札幌	1913.05.19	2/5/19	
402		【06097】	アオジ	札幌	2/5/7	2/5/7	> 1913.05.07
403		【06072】	アオジ	札幌	2/5/22	2/5/22	> 1913.05.22
406		【05580】	アカエリヒレアシシギ	失尻<尻矢崎カ>	2/5/23	2/5/23	> 1913.05.23
407		【01541】	アカハラ	札幌	1926.05.02	2/5/15	> 1913.05.15
408		【01254】	キビタキ	札幌	1890.05.02	2/5/23	> 1913.05.23
410		【05180】	カワセミ	札幌	1913.05.23	2/5/23	
411		【01656】	オオルリ	札幌	1913.05.24	2/5/24	
413		【00717】	キセキレイ	札幌	2.7.20	2.7.20	> 1913.07.20
414		【01270】	キビタキ	札幌	1894.05.02	2/5/27	> 1913.05.27
415		【01271】	キビタキ	札幌	1894.05.02	2/5/27	> 1913.05.27
416		【01285】	キビタキ	札幌	1890.05.02	2/5/23	> 1913.05.23
417		【01029】	コムクドリ	札幌	1913.05.22	2/5/22	
417		【01055】	コムクドリ	札幌	2/5/27	2/5/27	> 1913.05.27
421		【05170】	カワセミ	札幌	1913.07.20	2.7.20	
422		【05142】	カワセミ	札幌	1913.07.20	2.7.20	
424		【00723】	キセキレイ	札幌	2/7/28	2/7/28	> 1913.07.28
425		【05182】	カワセミ	札幌	1913.07.28	2.7.28	
426		【00733】	キセキレイ	札幌	2/7/31	2/7/31	> 1913.07.31
428		【05158】	カワセミ	札幌	1913.07.25	2/7/25	
429		【05159】	カワセミ	札幌	1913.07.25	2/7/25	
430		【05178】	カワセミ	札幌	1913.07.25	2/7/25	
431		【05174】	カワセミ	札幌	1913.07.26	2/7/26	
432		【00641】	ビンズイ	札幌	2/5/7	2/5/7	> 1913.05.07
434		【06130】	アオジ	札幌	2/5/8	2/5/8	> 1913.05.08
435		【00608】	ビンズイ	札幌	2/5/7	2/5/7	> 1913.05.07
436		【01358】	エゾムシクイ	札幌	1913.05.20	< 「大」 追記 > 2/5/20	

欄外番号	記載備考	HUNHM#	標本名	採集地	現行台帳採集日	ラベル記載採集日	修正 / 備考
437		【01449】	メボソムシクイ	札幌	1913.05.27	2/5/27	
439		【05179】	カワセミ	札幌	1913.07.31	2.7.31	
440		【05160】	カワセミ	札幌	1913.07.31	2.7.31	
441		【07772】	カッコウ	札幌	2/8/14	2/8/14	> 1913.08.14
442		【08900】	ノスリ	札幌	1913.08.14	2/8/14	
444		【00730】	キセキレイ	札幌	2.9.2	2.9.2	> 1913.09.02
446		【02292】	カワガラス	定山溪	1913.09.04	2.9.4	
466		【05316】	ダイゼン	札幌	1913.09.01	2/9/1	
469		【01840】	エゾライチョウ	石狩	2/1/1	2/1/1	> 1913.01.01 or 1912.01.02
506		【00402】	ヤマガラ	札幌	1921.10.01	10/10/1 < 「大」 追記 >	> 1912.10.10
507	(1)	【47845】	ミソサザイ	札幌	13.10.1	13/10/1	> 1912.10.13
508		【02121】	ミソサザイ	札幌	1924.10.01	13/10/1	> 1912.10.13
510		【45858】	スズメ	札幌	1914.03.02	大 2.3.2	
*579		【02495】	マヒワ	札幌	3/10/1	3/10/1 < 「大」 追記 >	> 1912.10.03
634		【02649】	シメ	札幌	2/5/09	2/5/09	> 1913.05.09 カ
636		【00985】	オオモズ	石狩	2/11	2/11	> 1913.01.11 or 1913.11.01
641		【05903】	コウミスズメ	札幌	2/3/2	2/3/2	> 1913.03.02
665		【06416】	キバシリ	札幌	1914.12.01	大 3.12.1	
666		【00801】	ゴジュウカラ	札幌	2/1 3	2/13	> 1913.01.13 or 1913.11.03 カ
667		【00807】	ゴジュウカラ	札幌	1914.03.02	< 「大」 追記 > 3.3.2	> 1913.03.03 カ
668		【00890】	ゴジュウカラ	札幌	2 11 26	2/12 6	> 1913.11.26 カ
670		【00845】	ゴジュウカラ	札幌	214	2/1 4	> 1913.01.14 or 1913.11.04 カ
672		【04531】	エゾアカゲラ	札幌	2.12.5	2 12 5	> 1913.12.05
673		【06431】	メジロ	札幌	2.12.7	2.12.7	> 1913.12.07
674		【00411】	ヤマガラ	札幌	2.11.3	2/ 1 3 < 2.11.3 >	> 1913.01.13 or 1913.11.03 カ
675		【02098】	ショウドウツバメ	札幌	1913.06.20	大 2/6/20	
679		【05189】	アカショウビン	倶知安	1914.05.20	< 「大」 追記 > 3.5.20	
697		【00438】	ハシブトガラ	札幌	1914.09.10	< 「大」 追記 > 3.9.10	
705		【00447】	ハシブトガラ	札幌	1914.09.01	< 「大」 追記 > 3.9.10	
711		【47838】	ヒヨドリ	札幌	1914.00.00	< 「大」 追記 > 3.9.10	
713		【00208】	シジュウカラ	札幌	1914.04.12	< 「大」 追記 > 3.4.12	
726		【04538】	エゾアカゲラ	札幌	10/10/1	10/10/1	> 1912.10.10
727		【04520】	エゾアカゲラ	札幌	10/10/1	10/10/1	> 1912.10.10
738		【05154】	カワセミ	札幌	1913.07.31	2/7/31	
743		【47905】	シマアオジ	札幌	18.9.1	18/9/1	> 1912.09.18
753		【00389】	ヤマガラ	札幌	1923.05.01	12/5/1 < 「大」 追記 >	> 1912.05.12
757		【02814】	ウソ	札幌	3/10/1	3/10/1	> 1912.10.03
758		【02918】	ウソ	札幌	3/10/1	3/10/1	> 1912.10.03
763		【05969】	アオバズク	札幌	12/8/1	12/8/1	> 1912.08.12
798		【47890】	コサメビタキ	札幌	1915.05.05	4/5/5	
801		【47809】	クマガラ	石狩内穂	5.3.18	5.3.18	> 1916.03.18
803		【47814】	コゲラ	札幌	3.9.10	3/9/10	> 1914.09.10
806		【43752】	アカゲラ	札幌	1914.03.11	< 「大」 追記 > 3.3.11	
*808	(1)、(3)	【47883】	キクイタダキ	札幌	10.11.21	10/11/21	> 1908.11.10 カ
810		【47848】	ノゴマ	札幌円山	5.10.21	5/10/21	> 1916.10.21
812		【47811】	オオアカゲラ	札幌	5.10.7	5/10/7	> 1916.10.07
814		【47951】	ミヤマカケス	札幌	1914.10.20	< 「大」 追記 > 3.10.20	
815		【47938】	シメ	札幌	1916.01.20	5/1/20	
816		【47921】	マヒワ	札幌	1914.04.24	3/4/24	
818		【47924】	ベニヒワ	札幌	0.2.26/21.26	2/ 2 6	> 1913.01.26 or 1913.12.06 カ
819		【47862】	ウグイス	札幌	1914.00.00	< 「大」 追記 > 3/5/10	> 1914.05.10
824		【47843】	ヒレンジャク	札幌	0.5.4	5/ 4.	> 1916.01.04 カ
833		【47855】	トラツグミ	札幌	1915.09.18	4/9/18	

「欄外番号」に「*」が付いているものは表 12 に示した明治期採集標本の欄外番号と重複していることを示す。

表 13 注

- (1)：番号欄に記載されている番号である。
- (2)：番号欄に「12」の記載がある。
- (3)：「15」の記載が抹消されている。

表 14 ラベル 4 に 3 桁の番号を持つ標本一覧

記載番号	記載備考	HUNHM#	標本名	採集地	現行台帳採集日	ラベル記載採集日
*102		【06157】	アオジ	札幌	1910.10.11	43.10.11
163		【01337】	メボソムシクイ	襟裳崎	1907.10.07	40 年 10 月 7 日
*168		【06739】	シノリガモ	忍路	1909.01.04	42 年 1 月 4 日
255		【02992】	イスカ	札幌	1897.02.09	30 年 2 月 9 日
304	(1)	【06140】	アオジ	石狩札幌	1912.09.10	<「大」追記> 1 年 9 月 30 日
311		【02984】	イスカ	札幌	1897.02.19	30 年 2 月 19 日
312		【02960】	イスカ	札幌	1897.02.19	30 年 2 月 19 日
451	(1)	【05902】	コウミスズメ	択捉	1910.12.02	四三年十二月二日
505	(1)	【04690】	ツメナガセキレイ	ホリシャ	1909.04.00	42 年 4 月
677		【00659】	ハクセキレイ	忍路	1910.09.07	43 年 9 月 7 日

「記載番号」に「*」が付いているものは表 12、表 13 に示した欄外番号と重複していることを示す。

表 14 注

(1)：欄外の番号記載である。

表 15 ラベル 7 に 2-3 桁の番号を持つ標本一覧

記載番号	HUNHM#	標本名	採集地	現行台帳採集日	ラベル記載採集日
*39	【04475】	コゲラ	台 埔里社	1908.09.10	四一年九月 10 日
41	【00256】	シジュウカラ	札幌	1912.01.28	四十五年一月二八日
255	【02641】	シメ	円山	1908.11.28	四十一年十一月廿八日
293	【06228】	ホオジロ	札幌	1909.09.20	四十二年九月廿日
339	【00349】	キクイタダキ	札幌	1909.11.10	四十二年十一月十日
343	【02370】	カワラヒワ	札幌	1911.05.15	四十四年五月十五日
344	【00663】	ハクセキレイ	札幌	1911.09.20	四十四年九月廿日
346	【02369】	カワラヒワ	札幌	1912.05.10	元年五月十日
347	【02011】	ルリビタキ	札幌	1912.10.06	元年十月六日
348	【00424】	ヤマガラ	札幌	1912.10.10	元年十月十日
*394	【01750】	コヨシキリ	札幌	1910.08.25	四十三年八月廿五日
443	【05342】	オオジシギ	札幌	1913.08.20	大正二年八月二十日
464	【01650】	オオルリ	札幌	1907.05.12	四十年五月十二日
526	【02638】	シメ	円山村	1908.11.28	四十一年十一月廿八日
527	【02692】	シメ	円山	1908.11.28	四十一年十一月廿八日
534	【02913】	ウソ	札幌	1911.03.05	四十四年三月五日
535	【06468】	ニュウナイスズメ	札幌	1908.06.12	四十一年六月十二日
546	【06230】	ホオジロ	札幌	1909.09.26	四十二年九月廿六日
560	【06074】	アオジ	札幌	1911.05.09	四十四年五月九日
561	【06108】	アオジ	札幌	1911.05.09	四十四年五月九日
563	【02805】	ウソ	札幌	1910.11.15	四十三年十一月十五日
564	【02891】	ウソ	札幌	1910.11.15	四十三年十一月十五日
565	【02808】	ウソ	札幌	1910.11.15	四十三年十一月十五日
567	【02881】	ウソ	札幌	1910.11.15	四十三年十一月十五日
587	【01332】	メボソムシクイ	札幌	1910.10.20	四十三年十月二十日
588	【01347】	センダイムシクイ	札幌	1910.10.20	四十三年十月廿日
600	【00369】	ヒガラ	札幌	1909.11.23	四十二年十一月廿三日
609	【06394】	キバシリ	札幌	1911.03.17	四十四年三月十七日
654	【02602】	ハギマシコ	札幌	-	-
655	【02604】	ハギマシコ	札幌	-	-
749	【02810】	ウソ	札幌	1911.09.02	四十四年九月二日
751	【02813】	ウソ	札幌	1911.10.10	四十四年十月十日
754	【02191】	ノビタキ	札幌	1912.05.10	大正元年五月十日
755	【01111】	キジバト	札幌	1912.09.18	元年九月十八日
764	【01805】	ヒクイナ	札幌	1912.08.11	一年八月十一日
765	【01802】	クイナ	札幌	1912.09.25	一年九月廿五日
767	【05872】	マダラウミスズメ	札幌	1909.02.10	四十二年二月十日
768	【00500】	ハシブトガラ	札幌	1909.10.13	四十二年十月十三日
789	【02210】	ノビタキ	札幌	1913.05.07	大正二年五月七日

「記載番号」に「*」が付いているものは表 12、表 13 に示した欄外番号と重複していることを示す。

表 16 ラベル 9 に 3 桁の番号を持つ標本一覧

記載番号	HUNHM#	標本名	採集地	現行台帳採集日	ラベル記載採集日
687	【00495】	ハシブトガラ	札幌	1914.11.09	9 XI 3 <「大」追記>
688	【00453】	ハシブトガラ	札幌	1914.09.01	大正三年九月一日
689	【00454】	ハシブトガラ	札幌	2 XI 3	2 XI 3 (抹消)
691	【00445】	ハシブトガラ	札幌	1914.11.04	4 XI 3
693	【00449】	ハシブトガラ	札幌	1914.10.05	大正 3 年 10 月 5 日
694	【00503】	コガラ	札幌	1914.10.01	大正三年十月一日
695	【00491】	ハシブトガラ	札幌	1914.11.07	7 XI 3
699	【00497】	ハシブトガラ	札幌	1914.11.01	大正三年十一月一日
703	【00505】	コガラ	札幌	1914.10.27	大正三年十月廿七日
704	【00450】	ハシブトガラ	札幌	1914.11.12	12 XI 3
706	【00507】	コガラ	札幌	1914.10.16	大正三年十月十六日
707	【00479】	ハシブトガラ	札幌	1914.10.06	大正三年十月六日
709	【00446】	ハシブトガラ	札幌	1914.10.10	大正三年十月十日
712	【01676】	コサメビタキ	札幌	1914.10.27	大正三年十月廿七日

表 17 採集年次未確定、ペン書きでラベル 5 に採集情報記載を持つ標本一覧

HUNHM#	標本名	採集地	現行台帳採集日	ラベル記載採集日	修正
【05728】	ウミネコ	樺太野田寒カ	6 月	- (1)	-
【06171】	アオジ	札幌	5/9	5/9	-
【05581】	アカエリヒレアシシギ	樺太シスカ沖	39 年	39 年夏季	> 1906.00.00
【09163】	ハイイロミズナギドリ	樺太海馬島	39.8	39.8	> 1906.08.00
【01925】	ノゴマ	陸奥尻矢崎	41.5.	41.5	> 1908.05.00
【05763】	カツオドリ	プラタス島	41.6.	41.6.	> 1908.06.00
【05833】	オオセグロカモメ	後志銭函村	42.3.7	42.3.7	> 1909.03.07
【05188】	アカショウビン	札幌	08.09.10	- (2)	> 1909.09.10
【07391】	フルマカモメ	札幌	42 年 10 月 24 日	42.10.24	> 1909.10.24
【04621】	クマゲラ	札幌郡平岸村	20/2/43	20/2/43	> 1910.02.20
【07561】	キジ	駿河	43 年 5 月 15 日	四十三 . 五 . 一五	> 1910.05.15
【05845】	コシジロウミツバメ	千島色丹	43.7.	43.7.	> 1910.07.00
【05107】	ライチョウ	相模 (寄贈)	44.11.4	四四年十一月四	> 1911.11.04
【05113】	ライチョウ	相模 (寄贈)	44.11.4	四四年十一月四日	> 1911.11.04
【00937】	エソヒヨドリ	札幌	9/2/1	9/2/1	> 1912.02.09
【08895】	ノスリ	石狩花川村	45/4/8	45/4/8	> 1912.04.08
【02321】	カナリア	石狩札幌	1/8/10	1/8/10	> 1912.08.10
【05683】	トウゾクカモメ	カムチャツカ	11/8/1	11/8/1	> 1912.08.11
【00842】	ゴジュウカラ	北名好	1.9.	1.9.	> 1912.09.00
【01881】	カラフトライチョウ	樺太敷香	1.9.0	1.9.	> 1912.09.00
【00276】	シジュウカラ	石狩札幌	1/9/10	1/9/10	> 1912.09.10
【05453】	トウネン	銭函	1.9.10	1.9.10 < 1/9/10 抹消>	> 1912.09.10
【06092】	アオジ	石狩札幌	1/9/25	1/9/25	> 1912.09.25
【01188】	ミヤマカケス	石狩札幌	1.11.	1.11.	> 1912.11.00
【06926】	ハシブトガラス	石狩札幌	1.11.	1.11.	> 1912.11.00
【08985】	ハイタカ	札幌	8/11/1	8/11/1	> 1912.11.08
【08919】	オオワシ	石狩江別	1.11.30	1.11.30	> 1912.11.30
【04551】	エゾオオアカゲラ	千歳	25/12/1	25/12/1	> 1912.12.25
【04620】	クマゲラ	樺太軍川	25/12/1	25/12/1	> 1912.12.25
【01844】	エゾライチョウ	石狩	2/11	2111	> 1913.01.11 or 1913.11.01 カ
【00874】	ゴジュウカラ	札幌	2/1 3	2113	> 1913.01.13 or 1913.11.03 カ
【00821】	ゴジュウカラ	札幌	2116	2116	> 1913.01.16 or 1913.11.06 カ
【02477】	マヒワ	札幌	2117	2117	> 1913.01.17 or 1913.11.07 カ
【05982】	オオコノハズク	札幌	10/2/2	10/2/2	> 1913.02.10
【47928】	ギンザンマシコ	石狩千歳	14.2.2	14/2/2	> 1913.02.14
【05865】	マダラウミスズメ	千歳	2/8/4?	2/8/4 < 2 の前に「大」の追記があるが抹消>	> 1913.08.04 or 1915.08.02 カ
【02841】	ウソ	北名好	2.9.0	2/9	> 1913.09.00
【00800】	ゴジュウカラ	札幌	2/9/2	2/9/2	> 1913.09.02
【00873】	ゴジュウカラ	札幌	2/9/2	2/9/2	> 1913.09.02
【05273】	チュウシヤクシギ	銭函	2.9.18	2.9.18	> 1913.09.18
【08971】	チゴハヤブサ	丘珠村	22/9/2	22/9/2	> 1913.09.22
【00375】	ヒガラ	札幌	2/10/2	2/10/2	> 1913.10.02
【00341】	キクイタダキ	札幌	2/10/9	2/10/9	> 1913.10.09
【08896】	ノスリ	札幌	2/10/9	2/10/9	> 1913.10.09
【47894】	ヤマガラ	札幌	2.10.9	2/10/9	> 1913.10.09
【08886】	ノスリ	雁来	8/11/2	8/11/2	> 1913.11.08
【45853】	スズメ	札幌	2.11.20	2 11 20	> 1913.11.20
【02464】	マヒワ	札幌	2/122	21122	> 1913.11.22
【02440】	マヒワ	札幌	2.11.26	2.11.26	> 1913.11.26
【00395】	ヤマガラ	札幌	2.12.5	2.12.5	> 1913.12.05
【00822】	ゴジュウカラ	札幌	21210	21210	> 1913.12.10

HUNHM#	標本名	採集地	現行台帳採集日	ラベル記載採集日	修正
【02116】	アナツバメ		4.7.	4.7.	> 1915.07.00 カ
【08954】	チョウゲンボウ	札幌	6/2/5	6/2/5	> 1916.02.06 or 1917.02.05 カ
【05452】	トウネン	銭函	8.9.11	8.9.11	> 1919.09.11
【05271】	チュウシャクシギ	石狩銭函	19/9/8	19/9/8	> 1919.09.19
【01226】	キュウカンチョウ	札幌	8/10/5	8/10/5	> 1919.10.05
【01143】	ミヤマカケス	札幌	8/10/18	8/10/18	> 1919.10.18
【01142】	ミヤマカケス	札幌	8/10/21	8/10/21	> 1919.10.21
【08967】	ツミ	-	8/10/30	8/10/30	> 1919.10.30
【06390】	キバシリ	札幌	8/11/10	8/11/10	> 1919.11.10
【06698】	ウミアイサ	銭函	8/12/3	8/12/3	> 1919.12.03
【02678】	シメ	札幌	8/12/14	8/12/14	> 1919.12.14
【05984】	オオコノハズク	札幌	8/12/14	8/12/14	> 1919.12.14
【00931】	エゾヒヨドリ	札幌	8/12/28	8/12/28	> 1919.12.28
【47837】	ヒヨドリ	札幌	9.1.29	9/1/29	> 1920.01.29
【08957】	コチョウゲンボウ	札幌	9/2/-	9/2/-	> 1920.02.00
【02969】	イスカ	本館飼養	9/2/12	9/2/12	> 1920.02.12
【05981】	オオコノハズク	札幌	9/2/16	9/2/16	> 1920.02.16
【05849】	ミミカイツブリ	張碓	9/2/17	9/2/17	> 1920.02.17
【06051】	ユキホオジロ	千島宇志知	18/2 9	18/2 9	> 1920.02.18
【06278】	ヒバリ	軽川	9/4/9	9/4/9	> 1920.04.09
【00250】	シジュウカラ	札幌	28/4/9	28/4/9	> 1920.04.28
【02919】	イスカ	札幌	30/4/9	30/4/9	> 1920.04.30
【07385】	ハイイロウミツバメ	千島宇志知	8/5 9	8/5 9	> 1920.05.08
【07386】	ハイイロウミツバメ	千島宇志知	8/5 9	8/5 9	> 1920.05.08
【07387】	ハイイロウミツバメ	千島宇志知	8/5 9	8/5 9	> 1920.05.08
【00649】	ビンズイ	札幌	23/5/9	23/5/9	> 1920.05.23
【47820】	ツバメ	札幌	26.5.9	26/5/9	> 1920.05.26
【47889】	コサメビタキ	札幌	26.5.9	26/5/9	> 1920.05.26
【09149】	オオハム	篠路	2/6 9	2/6 9	> 1920.06.02
【01054】	コムクドリ	札幌	18/6 9	18/6 9	> 1920.06.18
【05684】	トウゾクカモメ	千島松輪	18/7 9	18/7 9	> 1920.07.18
【05685】	クロトウゾクカモメ	千島松輪	18/7 9	18/7 9	> 1920.07.18
【05280】	チュウシャクシギ	銭函	29/8 9	29/8 9	> 1920.08.29
【00956】	モズ	植物園内	1/10 9	1/10 9	> 1920.10.01
【00710】	セグロセキレイ	植物園内	5/10 9	5/10 9	> 1920.10.05
【01809】	クイナ	白石	10/10 9	10/10 9	> 1920.10.10
【05476】	ウズラシギ	白石	10/10 9	10/10 9	> 1920.10.10
【05481】	ウズラシギ	白石	10/10 9	10/10 9	> 1920.10.10
【05629】	ツルシギ	白石	10/10 9	10/10 9	> 1920.10.10
【06679】	カルガモ	白石	10/10 9	10/10 9	> 1920.10.10
【05745】	ハクチョウ	沼之端	10/12 9	10/12 9	> 1920.12.10
【05744】	オオハクチョウ	沼之端	12 10	/2 10	> 1921.02.00
【06555】	クロガモ	銭函	15/2 10	15/2 10	> 1921.02.15
【06734】	シノリガモ	銭函	28/2 10	28/2 10	> 1921.02.28
【06551】	ビロードキンクロ	銭函沖	6/4 10	6/4 10	> 1921.04.06
【09150】	アビ	銭函	6/4 10	6/4 10	> 1921.04.06
【00900】	ヒレンジャク	札幌	13/5 10	13/5 10	> 1921.05.13
【08905】	クマタカ	本館飼養	10/6 10	10/6 10	> 1921.06.10
【05659】	ミユビシギ	銭函	14/9 10	14/9 10	> 1921.09.14
【05608】	アオアシシギ	銭函	16/9 10	16/9 10	> 1921.09.16
【05295】	キョウジシギ	銭函	17/9 10	17/9 10	> 1921.09.17
【05198】	ツツドリ	札幌	18/9 10	18/9 10	> 1921.09.18
【05968】	アオバズク	天塩川上	20/9 10	20/9 10	> 1921.09.20
【01899】	オオバン	沼之端	29/9 10	29/9 10	> 1921.09.29
【05536】	ハマシギ	銭函	2/11 10	2/11 10	> 1921.11.02
【05732】	カモメ	銭函	2/11 10	2/11 10	> 1921.11.02
【05733】	カモメ	銭函	2/11 10	2/11 10	> 1921.11.02
【05735】	カモメ	銭函	2/11 10	2/11 10	> 1921.11.02
【01825】	エゾライチョウ	千歳	24/12 10	24/12 10	> 1921.12.24
【01827】	エゾライチョウ	千歳	24/12 10	24/12 10	> 1921.12.24
【01831】	エゾライチョウ	千歳	24/12 10	24/12 10	> 1921.12.24
【01832】	エゾライチョウ	千歳	24/12 10	24/12 10	> 1921.12.24
【01833】	エゾライチョウ	千歳	24/12 10	24/12 10	> 1921.12.24
【01834】	エゾライチョウ	千歳	24/12 10	24/12 10	> 1921.12.24
【01860】	エゾライチョウ	千歳	24/12 10	24/12 10	> 1921.12.24
【01862】	エゾライチョウ	千歳	24/12 10	24/12 10	> 1921.12.24
【01863】	エゾライチョウ	千歳	24/12 10	24/12 10	> 1921.12.24
【01864】	エゾライチョウ	千歳	24/12 10	24/12 10	> 1921.12.24
【01865】	エゾライチョウ	千歳	24/12 10	24/12 10	> 1921.12.24
【01866】	エゾライチョウ	千歳	24/12 10	24/12 10	> 1921.12.24
【08916】	オジロワシ	本館飼養	0.1.11	/1 11	> 1922.01.00
【06735】	シノリガモ	銭函	10/1 11	10/1 11	> 1922.01.10

HUNHM#	標本名	採集地	現行台帳採集日	ラベル記載採集日	修正
【06736】	シノリガモ	銭函	10/1 11	10/1 11	> 1922.01.10
【09161】	コウミスズメ	銭函	3/2 11	3/2 11	> 1922.02.03
【09172】	ハイイロウミツバメ	銭函	13/2 11	13/2 11	> 1922.02.13
【05187】	アカショウビン	札幌	11/6 11	11/6 11	> 1922.06.11
【01797】	オオバン	沼之端	15/9 11	15/9 11	> 1922.09.15
【09006】	アオサギ	茨戸	5/10 11	5/10 11	> 1922.10.05
【00241】	シジュウカラ	札幌	5/11 11	5/11 11	> 1922.11.05
【00320】	シジュウカラ	札幌	5/11 11	5/11 11	> 1922.11.05
【00322】	シジュウカラ	札幌	5/11 11	5/11 11	> 1922.11.05
【00423】	ヤマガラ	札幌	6/11 11	6/11 11	> 1922.11.06
【00583】	シマエナガ	札幌	6/11 11	6/11 11	> 1922.11.06
【02467】	マヒワ	札幌	6/11 11	6/11 11	> 1922.11.06
【02468】	マヒワ	札幌	6/11 11	6/11 11	> 1922.11.06
【05232】	エリグロアジサシ	銭函	13/9 14	13/9 14	> 1925.09.13
【05233】	エリグロアジサシ	銭函	13/9 14	13/9 14	> 1925.09.13
【43764】	クマガエ		9.12.19	9.12.19	> 1934.12.19

表 17 注

- (1)：別ラベルに「6月」の採集日記載がある。
- (2)：ラベル9に「八年九月十日」の採集日記載がある。